

令和5年度  
事業報告

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

# 目 次

1	概況報告	1
2	具体的事業の実施状況	2
3	業務の適正を確保するための体制の整備と運用状況	9
4	事項別報告	

## I 総務企画部

### 【総務経営班・法人運営事業関係】

1	法人運営及び関係機関・団体（会員）との連携強化	11
2	法人運営基盤の強化	15

### 【総務経営班・社会福祉事業従事者福利厚生事業及び表彰事業関係】

1	社会福祉事業従事者の福利厚生事業等への取組	20
---	-----------------------	----

### 【企画班・市町村社協活動支援事業関係】

1	市町村社会福祉協議会の活動支援、地域福祉の推進	24
2	和歌山県民生委員児童委員協議会との連携、民生委員・児童委員活動の支援	35

### 【企画班・施設関係】

1	「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じ、地域を支える社会福祉法人の活動を支援	36
2	社会福祉法人（社会福祉施設）をはじめとする関係団体との連携強化	38

### 【企画班・企画調整関係】

1	新たな福祉課題（分野）への対応と地域福祉推進フォーラムの開催	43
---	--------------------------------	----

## II 地域福祉部

### 【地域福祉班・地域福祉権利擁護事業関係】

1	日常生活自立支援事業の実施	45
2	成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組促進への協力	46
3	問題の深刻化の予防	48
4	事業開始時期	48
5	本事業にかかる一部業務委託	48
6	契約締結審査会の開催状況	52
7	専門員・生活支援員の研修実施状況	53
8	広報・啓発実施状況	54

### 【生活資金班・生活福祉資金等貸付事業関係】

1	特例貸付借受世帯等に対する生活支援及び適正な債権管理	58
2	生活福祉資金等貸付事業の効果的な運営（適正な貸付け・債権管理）	59
3	臨時特例つなぎ資金貸付制度の運用	63

**【生活資金班・福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業関係】**

- 1 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の広報啓発及び適正な貸付の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
- 2 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の適正な債権管理の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
- 3 運営委員会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
- 4 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・70

**【ボランティア振興班・ボランティアセンター事業・災害ボランティアセンター事業関係】**

- 1 広域におけるボランティア活動支援機能の強化・・・・・・・・・・87
- 2 大規模災害における県災害VCの機能・体制を強化・・・・・・・・・・92

**【健康生きがい班・和歌山県いきいき長寿社会センター事業関係】**

- 1 地域活動を行うシニアリーダー養成・・・・・・・・・・97
- 2 高齢者の生きがいづくり・健康増進・・・・・・・・・・101
- 3 社会参加活動を希望する高齢者と企業や団体、学校等を結びつける取組を推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
- 4 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・103

**Ⅲ 福祉人材研修部**

**【福祉人材センター事業関係】**

- 1 福祉人材の確保・定着支援、福祉の魅力発信・・・・・・・・・・105
- 2 福祉人材の育成と定着の促進・・・・・・・・・・118
- 3 社会福祉事業従事者を育成するため、階層別・課題別・資格取得支援研修の充実、強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
- 4 介護支援専門員実務研修受講試験の実施・・・・・・・・・・124
- 5 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・124

**【福祉介護サービス評価センター】**

- 1 受審事業所数の拡大と評価の質の向上・・・・・・・・・・126

**Ⅳ 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会**

**【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会関係】**

- 1 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等・・・・・・・・129
- 2 福祉サービス運営適正化委員会（全体会議）の開催・・・・・・・・130
- 3 福祉サービスに関する苦情への対応・・・・・・・・・・130
- 4 苦情解決システムの機能強化・・・・・・・・・・132
- 5 一資料一苦情解決体制整備のために（第三者委員の設置と結果の公表）を作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・133
- 6 福祉サービス利用援助事業の運営監視・・・・・・・・・・133
- 7 福祉サービス運営適正化委員会全般にかかる事業の実施・・・・・・・・135

# 1 概況報告

令和5年度は、「ともに生きる地域社会（わかやま）の実現をめざして～ふだんのくらしのしあわせをみんなの力でつくります～」を基本理念とする第6次和歌山県社会福祉協議会活動計画の5か年計画の第二年次として、新たに掲げた6つの重点目標を達成するべく、それぞれの事業に取り組みました。

≪6つの重点目標≫							総務企画部	地域福祉部	福祉人材研修部	運営適正化委員会				
具 体 的 事 業	1 社会的孤立への対応													
	2 市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり													
	3 相談支援・生活支援と権利擁護の充実													
	4 多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援													
	5 地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成													
	6 自然災害への対応													
	○	○	○	○	○	○	○							
	○	○	○					○						
	○	○	○					○						
	○	○	○	○		○		○						
	○	○		○	○	○		○						
	○			○				○						
	○	○	○	○	○	○		○						
	○		○	○	○	○		○						
				○					○					
○		○		○			○							
				○					○					
				○			○							
		○		○					○					

「6つの重点目標」に基づく取組の特徴は次のとおりでした。その後、14の具体的事業の実施状況及び「事項別報告」で事業取組の詳細を各部署別に記載しています。

- 「社会的孤立への対応」では、県市町村社協連絡協議会と連携し、特例貸付借受人等生活困窮者への支援をはじめとする4つのテーマで業務課題検討会を開催し、それらの検討内容を踏まえ研修会等の企画・実施に取り組みました。
- 「市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり」では、地域において「個別（相談）支援」「地域づくり支援」を担う人材の育成及び資質向上を目的に、「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会」を開催しました。
- 「相談支援・生活支援と権利擁護の充実」では、令和5年度より成年後見制度利用促進に係る4事業（県協協議会運営、市町村長申立研修会、県域総合相談窓口の設置、アドバイザー派遣）を県から受託し、中核機関設置のサポート体制を強化しました。
- 「多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援」では、(株)オークワ、(株)セブン・イレブン—ジャパンとの協定により寄贈いただいた食品や雑貨等を、市町村社会福祉協議会を通じて地域住民や社会福祉施設等へ配分しました。
- 「地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成」では、求職者と求人事業所との効果的なマッチングを行うため、ハローワークとのさらなる連携強化を図りました。また、出前講座では、体験型の新たなメニューを取り入れて学生が楽しんで参加できるよう工夫しました。
- 「自然災害への対応」では、市町村社協等関係機関実施の研修・訓練に参画し、講義や助言による支援を行ったほか、協力団体との連絡会議開催、メディアでの広報啓発、災害ボランティア活動支援資機材の配備、和歌山大学学生災害ボランティアセンターの運営支援などに取り

組みました。また、「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWA T）」の構築では、関係施設種別協議会のご協力により、令和5年10月に「災害福祉支援チームの派遣に関する基本協定書」を締結し、90名のチーム員登録をいただきました。

## 2 具体的事業の実施状況

### （1）市町村社協活動支援事業（総務企画部 企画班）

地域共生社会の実現に向け、地域において「個別（相談）支援」「地域づくり支援」を担う人材の育成及び資質向上を目的に、市町村社協・社会福祉施設・市町村（行政）職員等を対象とした「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会」を4回シリーズで開催しました。

また、県市町村社協連絡協議会と連携し、特例貸付借受人等生活困窮者への支援をはじめとする4つのテーマで業務課題検討会を開催しました。それらの検討内容を踏まえ研修会等の企画・実施に取り組みました。

企業のCSR（社会貢献活動）との連携では、(株)オークワ、(株)セブン・イレブン-ジャパンとの協定により寄贈いただいた食品や雑貨等を、市町村社協を通じて地域住民や社会福祉施設等へ配分しました。寄贈品をお届けすることを通じて、社会福祉施設等との関係性を構築する契機となっています。

災害対応では、6月の梅雨前線・台風2号の影響による大雨災害で、「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」を適用し、市町村社協職員による応援派遣を実施しました（県内社協職員延べ179人）。また、令和6年1月1日に発災した能登半島地震災害でも同協定を適用し、羽咋市災害ボランティアセンター（石川県）運営支援のため、職員派遣を実施しています（3月末時点、17名）。

災害対応・被災地支援の経験を通じ、今後もさらに、平時からの住民や地域の関係者と大切に、共に地域福祉を推進してまいります。

### （2）生活福祉資金等貸付事業（地域福祉部 生活資金班）

生活福祉資金貸付事業は、社会福祉法第2条第2項第7号に規定されている生計困難者に対して無利子又は低利で資金を融通する事業です。

令和2年3月25日から申請受付を開始した新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付は、令和4年9月末で受付終了となり、32,043件（13,006,989,500円）の貸付決定を行いました。

また、特例貸付については、借受人及び世帯主が住民税非課税世帯に該当すること等により償還免除できるとされており、年度末までに14,220件（5,370,533,971円）の償還免除（次年度非課税免除を含む）決定を行いました。

令和5年1月から多くの債権の償還が開始され、年度末の償還中債権は11,195件、その他は据置期間中債権及び猶予期間中債権となっています。

なお、年度末の貸付中件数は18,573件（貸付中債権額約77億3千万円）で、内訳は通常貸付986件（約6億7千万円）、特例貸付17,587件（約70億6千万円）になりました。

「償還履行者率（本会独自指標）」について、通常貸付の年度平均値は、61.0%（集計開始時・平成19年度末は31.7%）、特例貸付の償還開始以降の平均値は、51.2%でした。

特例貸付においては、膨大な債権数に加え複雑な免除要件など、債権管理が煩雑になっていることに加え、借受人等への必要なフォローアップ支援・相談支援を実施していくことが課題です。

### （3）日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護・成年後見支援）（地域福祉部 地域福祉班）

日常生活自立支援事業の中核である福祉サービス利用援助事業は、判断能力が不十分な高齢者、知的障がい、精神障がいのある方などに対して福祉サービスの利用援助や日常生活上の手続きに関する援助等、福祉サービスの利用のための一連の援助を一体的に行うことにより、地域において自立した生活を送れるように支援する事業で、県内全市町村社会福祉協議会（以下、「社協」という）に委託して実施しました。また、事業従事者の資質向上や事業の普及啓発等に取り組みました。

本年度の新規契約者数は128件、事業開始からの累計は2,373件、本年度末の実利用者は716名で、利用者数は年々増加しており、近年、障がい（知的、精神）のある方の利用割合が増加傾向にあります。

次に、成年後見制度の利用促進に向けた取組では、国が策定した「第二期成年後見制度利用促進基本計画」において、都道府県の機能強化として、市町村支援の強化を図ることが掲げられています。これを受け、県とともに市町村の体制整備（中核機関の設置等）を促進するため、三士会（弁護士・司法書士・社会福祉士）・市町村・市町村社協から成る協議会を設置し、種々の課題について意見交換を図るとともに、研修会を開催し制度の利用促進の必要性等について働きかけました。

また、令和5年度より成年後見制度利用促進に係る4事業（県域協議会運営、市町村長申立研修会、県域総合相談窓口の設置、アドバイザー派遣）を県から受託し、中核機関設置のサポート体制を強化しました。

今後も、生活課題が深刻になる前に支援できる体制構築に取り組み、切れ目のない権利擁護体制を目指します。

#### **（４）民生委員・児童委員協議会活動との連携・協働（総務企画部 企画班）**

少子高齢化や人口減少・過疎化の進行、地域社会や家庭構造の著しい変化により、地域住民の生活課題が複合化・複雑化しており、民生委員・児童委員に求められる役割は広がっています。

本会では、広報紙やホームページを通じて民生委員・児童委員の活動（相談支援・生活支援等）の周知を図るとともに、県民生委員児童委員協議会が実施する新任民生委員・児童委員研修会で社協関連事業の説明を行う等、その活動支援に取り組みました。今後も、民生委員活動の情報収集・把握、広報啓発を行い、その「なり手」が広がるように、情報発信に取り組みます。

#### **（５）ボランティアセンター事業（地域福祉部 ボランティア振興班）**

新型コロナウイルス感染症に対する向き合い方は新しい段階（with コロナ、after コロナなど）を迎えたなか、広報ツールの活用やハイブリッド会議・交流会の開催等によりボランティア活動の魅力や価値を発信し、市町村社協ボランティア・市民活動センター並びにボランティア連絡協議会と連携しながら活動体験機会と情報の収集・提供に取り組みました。

社会福祉のためにと寄せられた善意の金員や関心を、実際の活動へとつなげることを目的としたボランティア活動交流普及事業では、4団体5事業に助成支援を行いました。

また、市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議では、社協ボランティアセンター推進方策検討委員会（全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会に設置）発出の「市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター強化方策2023」を共有し、各社協ボランティアセンターがそれぞれの実態に合った形で取り組みができるよう強化方策の活用を促進しました。さらに、全国福祉教育推進員研修への参加を促進し、修了者等実践者の学びの場づくりを行い県内のより良いプラットフォームの在り方について意見交換するなど、市町村社協における福祉教育実

践の支援を図りました。

今後、地域共生社会の実現に向けて、一人ひとりのボランティアな活動を応援し、幅広い層に対しボランティア活動をしたいと思える環境づくりをすすめ、広域的なボランティア活動の振興を図ります。

#### **(6) 災害ボランティアセンター事業（地域福祉部 ボランティア振興班）**

6月、梅雨前線及び台風第2号の影響により大雨災害が発生し、5市町社協に災害ボランティアセンターが設置されました。コーディネーターやスタッフとして運営支援にあたり、延べ3千人を超えるボランティアと共に、被災者の生活再建のための活動に取り組んだほか、県内配備の災害ボランティア活動支援資機材・ストックヤードを活用するなど平時の取組や備えを活かしました。また、随時必要に応じて、現状報告会や振り返り会を実施しました。

広域被災を想定し、県内支援者が合同実践する場として「広域・同時多発災害対応訓練（12月3日、参加予定280名）」を紀南エリア・新宮市、太地町で実施準備しましたが、フィリピン付近で発生した地震に伴う津波注意報発令のため、当日中止としました。

また、県市町村社協連絡協議会と連携し、災害時の社協活動について課題を検討しました。年間を通じて、市町村社協等関係機関実施の研修・訓練に参画し、講義や助言による支援を行ったほか、協力団体との連絡会議開催、メディアでの広報啓発、災害ボランティア活動支援資機材の配備、和歌山大学学生災害ボランティアセンターの運営支援などに取り組みました。

さらに、令和6年能登半島地震における被災地支援としてボランティアバスを運行しました。

発生の切迫性が高まる南海トラフ巨大地震等に備え、様々な主体と連携し、「広域支援機能の強化」や「県内支援者の育成」に取り組み、災害時にも支え合える関係構築を促進します。

#### **(7) いきいき長寿社会センター事業（地域福祉部 健康生きがい班）**

人生を前向きに考え、地域活動や趣味活動などに参加している人は、健康で長生きすると言われていますが、その「健康長寿」に寄与するため、シニアのスポーツや文化活動、社会や地域に貢献する活動などを支援し、シニアが生きがいを持ち豊かな経験を活かして積極的に社会に参加することを目指し、各事業を進めてまいりました。

地域の日常的な支え合い活動を担うための人材養成を目的とした、いきいきシニアリーダーカレッジ（和歌山校、橋本校、田辺校）「シニアの住みよいまちづくり実践学科」を開講しました。各カレッジにおけるカリキュラムは、それぞれの地域のニーズにあった人材を養成するために各校と協議し、設定しました。

また、カレッジの受講者や修了者による活動を進めるため、アドバイザーの派遣等を行う「仲間づくり支援事業」に取り組み、地域活動の指導者等として活動していただきました。

次に和歌山県から委託を受け運営している「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」については、新たな活動分野を開拓するとともに、ホームページを充実させバンク登録者の公開や、Web上での登録や活用がスムーズに行えるよう改良を行い、幅広く利用していただけるよう広報を行いました。

次に、高齢者の生きがいと健康づくりを推進する事業としては、「紀の国いきいき健康長寿祭」の名称で、スポーツ交流大会及び文化交流大会を開催しました。

スポーツ交流大会は、卓球、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、パークゴルフの5種目を開催し、延べ1,017名の参加を得ました。

このほか、文化交流大会では、囲碁・将棋大会、健康マージャン大会、シルバー美術展を開催し

ました。

なお、紀の国いきいき健康長寿祭は、全国健康福祉祭（ねんりんピック）に出場する県代表選手（作品）の選考会を兼ねています。

第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）に、21種目、監督・選手142名を派遣しました。

また、高齢者の生きがいとふれあい交流を目的とした「ふれあい作品展」を開催し、県内の老人福祉施設及び介護保険施設等の利用者が制作した手芸、工芸などの作品を展示しました。

今後、一層高齢化が進展するなかで、「健康な高齢者」を増やすために、いきいきシニアリーダーカレッジについては、参加者を増やすため今以上に魅力的なカリキュラムづくりに取り組むとともに、県内全域でスポーツ・文化交流大会を開催し、高齢者ニーズの高いニュースポーツを取り入れ、内容を充実してまいります。

## （8）制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト

### （総務企画部 企画班）

社会福祉法人制度改革により「地域における公益的な取組」が責務化され、さらには国が推進する「地域共生社会」の実現に向けて社会福祉法人がその一翼を担うことが求められている現状を踏まえ、平成29年度から本プロジェクト推進委員会を県社協に設置。制度の狭間にある様々な課題に対し、社会福祉法人（社会福祉施設）の力を結集した取組を推進しています。

令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型の委員会活動や地域に出向いての活動が実施しづらい状況が続いていましたが、令和5年度は下記のモデル（助成）事業や意識醸成・啓発活動等に取り組みました。

モデル（助成）事業	3法人：助成総額900,000円 （寿敬会、白浜コスモス福祉会、一麦会）
意識醸成・広報啓発 （活動の見える化）	ふくしフォトコンテスト2023の開催 （150作品の応募）
幹事会・総会開催	幹事会（2回）、総会（1回） ※書面開催

令和4年度に引き続き、県経営協、県経営協青年会との連携で取り組んだ「ふくしフォトコンテスト2023」は、「福祉」・「地域福祉」の県民への啓発と、「福祉職場の素晴らしさ」、「福祉のイメージUP」を目的として実施し、令和4年度を大幅に上回る150作品の応募がありました。

令和6年度も、多様な生活課題に対応するため、本プロジェクトを通じて「地域を支える社会福祉法人」の活動強化を図ります。

## （9）社会福祉施設・団体との連携強化及び支援事業（総務企画部 企画班）

社会福祉事業の主たる担い手である社会福祉施設や、関係団体の活動支援のため、各種事業に取り組みました。事務局業務の受任では、県社会福祉法人経営者協議会、県保育連合会、県児童館連絡協議会、県訪問介護事業所協議会の業務を受任し、研修会等を開催すること等によりその活動支援に取り組みました。

「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWA T）」の構築では、関係施設種別協議会のご協力により、令和5年10月に「災害福祉支援チームの派遣に関する基本協定書」を締結。県との共同事務局により体制構築を図るなか、90名のチーム員登録をいただくとともに、令和6年能登半島地震災害支援では12名のチーム員を石川県に派遣、1.5次避難所（金沢市）で避難所



の運営支援及び避難者の生活支援にご尽力いただきました。

#### (10) 福祉人材センター事業（福祉人材研修部 人材班・研修班）

社会福祉法第 93 条に基づく県指定の「福祉人材センター」として、慢性的に不足している福祉現場における人材確保事業及び人材の育成と定着を支援するための研修事業を実施しました。

人材確保については、中学生・高校生やその保護者、教員等を対象とした介護職の魅力を紹介する冊子の作成、中学校・高校や初任者研修実施先への出前講座の開催等、関係機関との連携に取り組むとともに、無料職業紹介事業を中心に、就職フェアや職場体験、出張相談等のきめ細かなマッチング支援に引き続き取り組みました。

これらの事業を通じて令和 5 年度は、147 人（無料職業紹介 79 人、就職フェア 22 人、職場体験 10 人、その他 36 人）が新たに就職に結びついています。

また、多様な人材の参入促進として、介護職の外国人材拡大について研修会を開催し、受入事業所の支援に取り組みました。

研修事業としては、最新の専門知識や技術を習得できる研修会を開催し、現場の職員一人ひとりが福祉介護のプロとして自信を持って働けるよう支援するため、階層別・課題別・資格取得を目的とした 29 研修を計画し、内 28 研修（28 回、31 日間）を実施した結果、受講者数は延べ 761 名でした。なお、コロナ禍に対応した福祉事業所の人材育成支援として、28 研修中 1 研修をオンラインで、4 研修を対面とオンラインの併用で、1 研修をオンデマンド配信で実施しました。

併せて、社会福祉事業従事者が求める研修ニーズ把握のため、県内各施設にアンケート調査を行うとともに、県の指定機関として、介護支援専門員実務研修受講試験を実施しました。

今後、少子高齢化が進行する中、福祉・介護サービスを提供する人材の確保や定着、質の向上が喫緊の課題であるとともに、受講者にとってより参加しやすく学びやすい研修の機会を提供し、福祉職場で働く人材の育成支援などに総合的に取り組んでいく必要があります。

#### (11) 福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業（地域福祉部 生活資金班）

福祉人材確保及び自立支援のための「返還免除付き貸付」の状況は、次のようになりました。

	人材確保		自立支援	
	介護福祉士等	保育士	ひとり親家庭	児童養護施設退所者
貸付件数累計	1,400 件	636 件	136 件	67 件
貸付額累計	633,710,826 円	847,265,134 円	49,846,544 円	45,712,200 円
償還免除件数累計 (当然免除・裁量免除)	251 件	55 件	5 件	18 件
償還免除額累計 (当然免除・裁量免除)	53,624,928 円	72,075,914 円	1,578,280 円	5,139,820 円

貸付は平成 28 年度開始当初は令和元年度までの予定でしたが、さらに原資が追加され、貸付中（債権管理）件数の増加とともに、債権管理事務の増大が課題です。

#### (12) 福祉介護サービス評価センター（福祉介護サービス評価センター）

福祉サービスを提供する事業者のサービスの質について、社会福祉法 78 条「福祉サービスの質の向上のための措置等」に基づき、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みが福祉サービス第三者評価・外部評価です。

福祉サービス第三者評価事業については、県福祉サービス第三者評価事業推進組織より平成 18 年から評価機関の認証を受けるとともに、3 年毎の受審が義務付けられた社会的養護関係施設の第

三者評価についても、全国社会福祉協議会より平成 24 年から評価機関としての認証を受け、それぞれ取り組んでいます。

本年度は、福祉サービス施設 2 か所、社会的養護関係施設 7 か所の第三者評価を実施するとともに、受審後の継続的な事業所支援にも努めました。

地域密着型サービス外部評価事業については、県より平成 18 年に評価機関としての選定を受け取り組んでおり、本年度は、35 事業所の外部評価を実施しました。

今後、受審申込が少ない福祉サービス関係施設に対し周知に努めていくとともに、調査員の高齢化等により人材不足が懸念されることから、調査員の養成を図っていきます。

### **(13) 民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生センター等受託事業（総務企画部 総務経営班）**

民間社会福祉事業従事者共済事業については、加入施設数 284 か所（前年度比 2 か所減）、会員数 8,314 人（前年度比 175 人減）となり、1,338 人の会員に対し退職金及び慶弔金給付を行いました。また、資産運用に関する基本方針に基づく運用を実施し、退職金充足率は 140.37%（前年度 130.01%）となりました。

福利厚生センター和歌山事務局では、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の 5 類へと移行したことを受け、コロナ以前の事業実施に戻すべく、バスツアー等の会員交流事業を企画し実施しました。

今後は、民間社会福祉事業従事者共済事業のより安定的な資産運用を目指して協議を重ねていきます。また、福利厚生センター事業では未加入法人への加入勧奨を継続するとともに、加入者が参加、利用しやすい会員交流事業の充実に取り組みます。

### **(14) 福祉サービス運営適正化委員会事業（福祉サービス運営適正化委員会）**

和歌山県福祉サービス運営適正化委員会は、社会福祉法第 83 条の規定に基づき、県社会福祉協議会に設置され、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者からの苦情を適切に解決することを目的とし、公正・中立に対応するため外部の有識者（委員）で構成され、県社会福祉協議会の他の活動から独立して運営されています。なお、苦情については、社会福祉法第 82 条に「社会福祉事業の経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならない」と規定されています。

この委員会の委員（12 名）は、別に設置された選考委員会の同意を得て選任され、2 つの合議体に分かれ事務を分担しています。

#### **① 福祉サービス利用援助事業に関する合議体（運営監視合議体、委員 7 名）**

福祉サービス利用援助事業の実施主体からの報告を受け、事業委託先から抽出した 9 市町社協について現地調査を行いました。現地調査では、預かり品の確認のため、金融機関に出向き貸金庫での保管状況についても確認しました。

#### **② 福祉サービスの苦情解決に関する合議体（苦情解決合議体、委員 5 名）**

苦情及び相談の受付件数は、110 件でした。

内、6 件は合議体に諮り審議し、対処しました。残る 104 件の相談については、事務局で対処するとともに合議体に報告しました。

苦情・相談の受付方法は電話が最も多く 84 件（76.4%）でした。申出人は利用者が最も多く

54人（49.1％）でした。その利用者の内36人（66.7％）は障害者でした。

なお、合議体で諮った苦情は、事業開始時から通算して661件になりました。

この事業の周知を図るため広報活動（インターネット掲載、広報紙掲載、ポスター配布）に努めました。

社会福祉事業の経営者における適切な苦情解決への取組強化を促進するため、研修会の開催、出前講座実施、巡回訪問及び苦情解決取組状況調査を行いました。

## （15）災害への対応

### （総務企画部総務経営班・企画班、地域福祉部ボランティア振興班・生活資金班）

#### ① 令和5年6月梅雨前線・台風2号の影響による大雨災害

令和5年6月梅雨前線・台風2号の影響により、県内では紀北エリアを中心に大きな被害をもたらしました。本会では、この災害に次のとおり取組を行いました。

○被災地においては、各々被災の状況確認や災害ボランティアセンター設置準備を行い、6月3日～9月15日にかけて5市町（海南市、橋本市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町）で災害ボランティアセンターが設置され、その設置・運営を支援しました。

#### 【被災地災害ボランティアセンターの活動状況】

災害ボランティアセンター名	設置日	閉所日	ボランティア (延べ人数)	活動件数
海南市災害ボランティアセンター	6月3日	7月31日	1,870名	367件
橋本市災害ボランティアセンター	6月5日	6月12日	55名	10件
紀の川市災害ボランティアセンター	6月3日	6月23日	148名	66件
紀美野町災害ボランティアセンター	6月5日	7月20日	404名	74件
かつらぎ町災害ボランティアセンター	6月5日	9月15日	634名	57件

○「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」に基づき、市町村社協職員による応援派遣を実施、海南市災害ボランティアセンターへ県内社協職員派遣を行いました（令和5年6月3日～7月22日、12クール延べ179人）。

#### ② 令和6年能登半島地震災害

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震災害に対して、本会では次の取組を行いました。

○「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、(社福)全国社会福祉協議会（近畿ブロック幹事・(社福)兵庫県社会福祉協議会経由）から職員派遣要請を受けました。和歌山県内からは、「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」に基づき、1月25日から3月31日までの間、17名（県内14市町村社協14名、県社協3名）の社会福祉協議会職員を羽咋市災害ボランティアセンター（石川県）へ派遣し、被災地ニーズに対応した災害ボランティアセンターにおけるコーディネートを支援しました。

○和歌山県との合同により石川県七尾市へボランティアバスを3月に2回運行（延べ40人参加）し、ボランティアによる支援活動を行いました。

○国及び全社協（災害福祉支援ネットワーク中央センター）の調整に基づき、3月の第5クール以降の1.5次避難所運営支援（金沢市）を和歌山 DWAT が担当。計12名を派遣しました。

○被災世帯への生活福祉資金特例貸付を行うにあたり、全社協からの要請に基づき、1月26日から30日までの間、輪島市社協（石川県）へ貸付業務の応援として1名職員派遣を行いました。

### **3 業務の適正を確保するための体制の整備と運用状況**

業務の適正を確保するための体制（社会福祉法第45条の13第4項第5号）として、本会全体で「内部管理体制の基本方針」（平成30年5月28日理事会議決）に基づき、内部管理体制を運用しました。



～事項別報告～

# I 総務企画部



《総務企画部・総務経営班・法人運営事業関係》

1 法人運営及び関係機関・団体（会員）との連携強化

(1) 法人経営体制の充実と強化

① 理事会、評議員会の定期的な開催及び必要な情報提供

ア 理事会の開催（計4回）

期日	会場	議題
6月7日	ビッグ愛	① 令和4年度事業報告の承認 ② 令和4年度計算書類の承認 ③ 定款の一部改正 ④ 次期理事・監事候補者の提案 ⑤ 令和5年度定時評議員会の開催
6月30日	ビッグ愛	① 会長の選定 ② 副会長の選定 ③ 常務理事の選定 ④ 「評議員選任・解任委員会」委員の選任 【報告事項】 ① 会長及び業務執行理事の職務執行状況
9月8日	— (決議の省略)	① 評議員の補欠選任候補者の推薦
3月26日	ビッグ愛	① 就業規則の一部改正 ② 役員報酬等規程の一部改正 ③ 令和5年度補正予算の承認 ④ 令和6年度事業計画の承認 ⑤ 令和6年度予算の承認 ⑥ 会長による利益相反取引の承認 ⑦ 会計監査人の報酬 ⑧ 役員等賠償責任保険契約 ⑨ 理事の補欠選任候補者の提案 ⑩ 重要な役割を担う職員の選任 ⑪ 「評議員選任・解任委員会」委員の欠員に伴う後任者の選任 ⑫ 臨時評議員会の開催 【報告事項】 ① 会長及び業務執行理事の職務執行状況

イ 定時評議員会の開催

期日	会場	議題
6月26日	ビッグ愛	① 令和4年度事業報告の承認 ② 令和4年度計算書類の承認 ③ 定款の一部改正 ④ 林保行氏を理事として選任



期日	会場	議題
		⑤ 松下明氏を理事として選任 ⑥ 森田昌伸氏を理事として選任 ⑦ 竹中昭美氏を理事として選任 ⑧ 土井邦夫氏を理事として選任 ⑨ 原嘉子氏を理事として選任 ⑩ 西井幸男氏を理事として選任 ⑪ 佐本綾子氏を理事として選任 ⑫ 今西宏行氏を理事として選任 ⑬ 岸本周平氏を理事として選任 ⑭ 南木芳亮氏を理事として選任 ⑮ 前田恵美氏を監事として選任 ⑯ 瀧口幹二氏を監事として選任 ⑰ 林龍太郎氏を監事として選任

ウ 臨時評議員会の開催（計2回）

決議があったものとみなされた日	議題
4月27日	① 今西宏行氏を理事として選任
3月31日	① 役員報酬等規程の一部改正 ② 中村茂氏を理事として選任

エ 評議員選任・解任委員会の開催（計1回）

決議があったものとみなされた日	議題
10月4日	① 有本芳子氏を評議員として選任

オ 監事会の開催（計1回）

期日	会場	議題
5月24日	ビッグ愛	① 令和4年度事業概況報告、決算報告 ② 会計監査人による令和4年度会計監査結果報告 ③ 監事監査要領に基づく令和4年度事業、決算に関する監査

② 会計監査人による適切な会計監査の実施

7月13日に稲田旭彦公認会計士事務所 稲田旭彦氏と令和5年度にかかる監査契約を締結した。

(2) 会員制度の充実・強化

① 正会員・賛助会員の加入促進

ア 一般会費の納入依頼

会員規程により、新施設への加入依頼を含め、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉事業経営者（法人単位）、社会福祉に関する活動を行う団体に会費の納入依頼を行った。

【会費納入依頼先数】

①市町村社協会費	30 市町村社協
②民生委員・児童委員会費	30 市町村民児協 2,693 名
③社会福祉事業経営者会費	法人・施設及び市町村 320 ヶ所
④社会福祉に関する活動を行う団体	29 団体及び35 郡市町村老人クラブ連 合会

イ 賛助会員の募集

令和5年度賛助会員の募集を行い、企業、団体等より63口のご協力をいただいた。

(3) 全国・近畿ブロック社協及び行政機関、関係団体との連携強化

① 全国・近畿ブロック等会議への参加

会議名	期日		場所等	参加者
全国社会福祉協議会評議員会	第1回	6月19日	東京都	1名
	第2回	3月22日		
全国社会福祉団体職員 退職手当積立基金常任委員会	第1回	7月14日	東京都	1名
	第2回	1月16日		
近畿ブロック府県社協 常務理事・事務局長会議	第1回	8月21日	神戸市	2名
全国社会福祉協議会福祉懇談会	10月12日		東京都	1名
福祉ビジョン21世紀セミナー	10月13日		東京都	1名
全国社会福祉団体職員 退職手当積立基金運営委員会	第1回	1月26日	東京都	1名

② 県内関係団体会議への参加

会議名	期日		場所	参加者
令和5年度介護給付費等審査会	4月26日、5月29日、 6月28日、8月29日、 10月27日、11月29 日、12月26日、 2月28日、3月27日		和歌山市	1名
和歌山県済生会理事会	第1回	5月18日	和歌山市	1名
	第2回	2月1日		
紀の国チャレンジド賞選考等委員会	9月13日		和歌山市	1名
白梅賞選考委員会 白梅賞受賞者表彰式	8月10日 11月10日		和歌山市	1名
市町村単位老人クラブリーダー研修会	紀南	11月28日	田辺市	1名
	紀北	11月30日	和歌山市	
和歌山県ナースセンター事業運営に関する懇話会	2月8日		和歌山市	1名

和歌山県長寿社会対策推進会議	8月24日、12月19日	和歌山市	1名
「わかやま長寿プラン 2024」策定支援等業務委託に係るプロポーザル審査会	7月3日	和歌山市	1名
生活困窮者自立支援プロポーザル	3月25日	和歌山市	1名

#### (4) 共同募金会との連携

- ① 社会福祉法第119条に基づく意見の提出及び赤い羽根共同募金街頭募金等への協力

ア 共同募金に関する意見書の提出

イ 令和5年度「赤い羽根共同募金運動」街頭募金

期日	内容	本会参加者
10月6日	「赤い羽根共同募金運動」キックオフセレモニーへの協力	6名
10月11日	街頭募金への協力	1名

ウ 自販機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置・普及協力

- ② 共同募金の周知及び理解促進

ア 広報誌による共同募金の普及啓発の促進

#### (5) 災害時の福祉救援活動への取組

- ① 近畿ブロック府県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定に基づく会議に出席し、情報交換を行った。

期日	内容	会場等
9月1日	・各府縣市社協による災害支援体制の状況 ・各府縣市社協からの協議題	大阪市

- ② 令和5年6月梅雨前線・台風2号の影響による大雨災害

「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき（令和5年6月16日付け文書）、近畿ブロック幹事（（社福）大阪府社会福祉協議会）に対し、海南市災害ボランティアセンターの運営支援にかかる応援職員の派遣調整を依頼した。

これにより、6月21日に近畿ブロック府県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定に基づく緊急担当者会議（オンライン会議）が開催され、6月22日から7月22日までの間、大阪府内社協より2名の職員を派遣いただいた。

- ③ 令和6年能登半島地震災害

「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき（令和6年1月24日付け文書）、（社福）全国社会福祉協議会（近畿ブロック幹事・（社福）兵庫県社会福祉協議会経由）からの職員派遣要請を受けた。

和歌山県内からは、「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」に基づき、令和6年1月25日（木）から3月31日（日）までの間、17名（県内14市町村社協14名）の社会福祉協議会職員を派遣した。

派遣職員は、被災地社協災害ボランティアセンターのスタッフとして、被災地ニーズに対応した災害ボランティアセンターにおけるコーディネートを支援した。

ア 石川県（羽咋市）への派遣調整

- ・令和6年1月11日：近畿ブロック府県・指定都市社協第1回連絡会議
- ・令和6年1月17日：近畿ブロック府県・指定都市社協第2回連絡会議
- ・令和6年1月19日：近畿ブロック府県・指定都市社協第3回連絡会議
- ・令和6年2月6日：近畿ブロック府県・指定都市社協第4回連絡会議
- ・令和6年3月13日：近畿ブロック府県・指定都市社協第5回連絡会議

イ 石川県羽咋市社協災害ボランティアセンターへのブロック派遣の状況

- ・和歌山県内社協からの派遣状況

クール	派遣期間	人数	派遣社協
第1	1月25日～1月30日	1	県社協
第2	1月28日～2月3日	1	県社協
第3	2月1日～2月7日	1	和歌山市
第4	2月5日～2月11日	1	湯浅町
第5	2月9日～2月15日	1	新宮市
第6	2月13日～2月19日	1	紀の川市
第7	2月17日～2月23日	1	県社協
第8	2月21日～2月27日	1	日高川町
第9	2月25日～3月2日	1	御坊市
第10	2月29日～3月6日	1	古座川町
第11	3月4日～3月10日	1	橋本市
第12	3月8日～3月14日	1	田辺市
第13	3月12日～3月18日	1	かつらぎ町
第14	3月16日～3月22日	1	すさみ町
第15	3月20日～3月26日	1	白浜町
第16	3月24日～3月30日	1	太地町
第17	3月28日～4月3日	1	広川町
		17	市町村社協（14）

## 2 法人運営基盤の強化

### （1）公費の安定的確保

県への翌年度予算要求に際し、県から事業費対前年度比▲15%の方針が示されたため、事業の見直し及び事務の省力化等により、事業の実施に必要な予算を確保した。

### （2）自主財源の確保促進

#### ① 収益事業の実施

区分	令和5年度収入金額
ア 飲料自動販売機の設置設営 和歌山県立医科大学	7,512,404円
イ 全国社会福祉協議会出版図書等の斡旋販売 社会福祉手帳の販売斡旋	49,080円

② 共同募金を中心とした民間財源の活用促進

赤い羽根共同募金の受配金により、下記の事業を実施した。(事業内容は別掲)

事業名称	配分額
広報誌「福祉わかやま」発行事業	2,600,000円
地域福祉推進フォーラム開催事業	230,000円

③ 基金等の運営

ア はまゆう基金

発足43年目を迎えた本基金、令和5年度は33,350円(5件)の寄附を得て、原資総額は277,514,535円となった。

a 原資内訳

種別	金額
県補助金	100,000,000円
寄附金	173,671,360円
利息繰入金	3,843,175円
合計	277,514,535円

b 活用事業

県ボランティア連絡協議会助成事業等に対し預金利子(106,816円)を活用した。

c 令和5年度寄附者一覧

日付	寄附者(敬称略)	金額
4月25日	収集ボランティア	9,000円
5月16日	収集ボランティア	9,000円
7月25日	収集ボランティア	3,000円
9月14日	収集ボランティア	350円
10月19日	収集ボランティア	12,000円
	合計	33,350円

イ 堤基金

a 原資内訳

種別	金額
寄附金	32,100,000円
利息繰入金	36,401,739円
合計	68,501,739円

b 活用事業

企画広報事業に対し預金利子(28,004円)を活用した。

## ウ いきいき事業基金

### a 原資内訳

種 別	金 額
寄附金	100,530,000 円
合 計	100,530,000 円

### b 活用事業

いきいき長寿社会センター事業に対し預金利子（19,714 円）を活用した。

## エ 福祉基金

本会の緊急に必要な経費及び災害救援活動経費に充てるために積み立てを行っているもので、本年度末の積立額は 55,720,487 円となった。

## ④ 寄附の受入れ

### ア 一般寄附

日 付	寄附者（敬称略）	金 額
5 月 25 日	メーデー和歌山県中央実行委員会	31,700 円
11 月 30 日	一般財団法人近畿陸運協会	250,000 円
12 月 27 日	(株) テレビ和歌山	51,212 円
合 計		332,912 円

令和 6 年度の本会事業費に充当予定。

## ⑤ 寄附の受入れ（物品）

車いす及び寄附物品等については、ボランティアセンター事業等において掲載。

## (3) 情報収集・情報提供機能の強化

第 6 次活動計画 6 つの重点目標（①社会的孤立への対応、②市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり、③相談支援・生活支援と権利擁護の充実、④多様な主体や社会資源がにつながる地域づくりの支援、⑤地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成、⑥自然災害への対応）に関する取組を広報誌「福祉わかやま」及び本会ホームページ、SNS にて随時紹介した。

また今般、県社協が実施する事業は多岐にわたっており、県社協のホームページにアクセスする人の属性や求める情報がさまざまである。そのため、必要な人が、求めている情報をいち早く取得できるようホームページの機能やデザインの充実を図り、ホームページのリニューアルを行った。

## (4) 本会広報誌「福祉わかやま」の発行

発行日	毎月 1 日、年 11 回発行
体裁	A 4 版、8 ページ、4 色カラー刷り
発行部数	10,000 部
配布先	市町村社協、民生委員児童委員、社会福祉施設・団体、行政関係機関、学校・教育関係機関、図書館、公民館、病院、その他

(5) ホームページによる情報提供 (随時更新)

名称	URL
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会	(旧) <a href="https://www.wakayamakenshakyō.or.jp">https://www.wakayamakenshakyō.or.jp</a> (新) <a href="https://www.wakayama-wel.jp">https://www.wakayama-wel.jp</a>
代表メールアドレス	washakyo@wakayamakenshakyō.or.jp

(6) 社会福祉関係助成事業の情報集約・提供・協力

関係機関の助成事業情報を集約し、ホームページや広報誌を用いて情報提供に努めるとともに、下記の推薦事務等を行った。

① 各種助成事業の情報提供・協力

ア 24時間テレビチャリティーキャンペーンへの協力

募集・選考に協力し、次のとおり県内の助成団体が決定された。

団体名	寄贈車種
社会福祉法人 日高川町社会福祉協議会	訪問入浴車
社会福祉法人 同仁会	リフト付きバス

(7) 職員育成・資質向上に向けた取組強化

① 職員研修の実施・参加

ア 内部研修

研修名	期日	会場	参加
新規採用職員向け説明会	4/4	県社協内	4名
財政基盤の強化について	7/6	県社協内	45名
個人情報保護	12/14	県社協内	45名
人権同和研修	1/10、1/11	県社協内	42名

イ 全社協及び県社協研修センターをはじめとする関係外部機関等の研修への参加

研修名	期日	会場	参加
福祉サービス接遇マナー研修	4/18	ビッグ愛	1名
ファシリテーション研修	5/17	ビッグ愛	3名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 課程【初任者研修】	7/26、7/27	ビッグ愛	1名
社会福祉法人の会計研修 (初任者編)	8/3	ビッグ愛	4名
社会福祉法人の会計研修 (実務編)	8/8	ビッグ愛	3名
社会福祉協議会 新任職員研修会	9/12	和歌山県立 白崎青少年の家	4名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 課程【中堅職員】	10/25、10/26	ビッグ愛	2名
コーチング+ (プラス) 研修	10/31	ビッグ愛	2名
社会福祉援助技術の基礎研修	12/7	ビッグ愛	1名
社会福祉協議会管理職員研修会	12/6~12/8	中央福祉学院	2名

カスタマーハラスメント対策研修	1/18	ビッグ愛	1名
-----------------	------	------	----

## (8) 人事・労務管理の強化

### ① 事業の進行管理（目標管理）の遂行

県社協の事業が計画どおり進行するよう管理体制の確立を図るとともに、組織及び個人の目標を明確化することにより、職員一人ひとりの業務に対する意欲の向上、能力の開発を図り、人材の育成強化、組織の活性化・成果の向上に資することを目的として「目標管理制度」による目標管理を実施した。

### ② 職場説明会・体験会の実施（計2回）

福祉業界を取り巻く状況や福祉の魅力に対する理解を深めていただくとともに、職場説明会・体験会を通して社会福祉協議会の事業に興味をもっていただくことで、本会の職員採用試験受験者の増加に繋げることを目的に開催した。

実施日	参加者数	内 容
8月25日	5名	<b>【オリエンテーション・アイスブレイク】</b> <b>【説明①】</b> 県社協の概要 <b>【説明②】</b> 若手職員が就活・県社協の仕事内容を説明 <b>【まとめ】</b> 採用情報等説明
2月14日・19日	6名	第1日 <b>【オリエンテーション・アイスブレイク】</b> <b>【説明】</b> 県社協の概要 <b>【説明・ワーク】</b> 各事業担当者から事業説明・ワーク <b>【まとめ】</b> 1日の振り返り 第2日 <b>【見学】</b> 市町村社協役職員研修会 <b>【職場体験・見学】</b> 県地域福祉推進フォーラム <b>【まとめ】</b> 2日間のふりかえり、採用情報等説明

## (9) その他

第6次県社協活動計画の基本理念等の実現に向けて、県社協の「情報発信・広報力の強化」を目指し、月刊広報誌「福祉わかやま」及びホームページの内容充実をはじめ、福祉情報の収集・提供、本会事業のPR、地域福祉推進フォーラムの内容検討等、セクションの枠を超えた協議を柔軟に行うために、県社協企画広報ワーキングチームを設置した。

県社協企画広報ワーキングチーム

構成人数	開催回数	主な内容
11名	12回	①広報誌「福祉わかやま」の企画編集 ②ホームページの企画・効果的運用 ③その他、福祉情報の収集・提供



《総務企画部・総務経営班・社会福祉事業従事者福利厚生事業及び表彰事業関係》

1 社会福祉事業従事者の福利厚生事業等への取組

(1) 県民間社会福祉事業従事者共済の運営

① 給付事業、貸付事業、福利厚生事業の実施

ア 加入状況（令和6年3月31日現在）

施設・団体数 284 か所、会員 8,314 名

イ 給付事業

種別	人員	給付額
退職手当給付金	949 人	864,065,315 円
結婚祝金	108 人	2,160,000 円
出産祝金	175 人	3,500,000 円
傷病見舞金	98 人	3,320,000 円
災害見舞金	5 人	250,000 円
死亡弔慰金	3 人	300,000 円
合計	1,338 人	873,595,315 円

ウ 貸付事業

種別	人員	貸付額
生活資金	1 人	150,000 円
住宅資金	0 人	0 円
合計	1 人	150,000 円

エ 福利厚生事業

家庭常備薬の斡旋

- ・ 6月実施：195 事業所、1,601 人が利用
- ・ 10月実施：190 事業所、1,467 人が利用
- ・ 2月実施：202 事業所、1,524 人が利用

② 運用基本方針に基づいた資産運用の実施

ア 「民間社会福祉事業従事者共済運営委員会」の開催

期日	名称	場所	議事
4月21日	第1回 運営委員会	文書審議	・ 民間共済資金借入申込みについて
7月10日	第2回 運営委員会	ビッグ愛	・ 令和4年度事業報告について ・ 令和4年度決算報告について
10月18日	第3回 運営委員会	文書審議	・ 委員長、副委員長の選任について
3月25日	第4回 運営委員会	プラザ ホープ	・ 「資産の運用ガイドライン」の一部改正について ・ 資産運用外部委託の追加提出について ・ 令和5年度補正予算（案）について ・ 民間共済福利増進事業規約の一部改正について ・ 令和6年度事業計画（案）について ・ 令和6年度予算（案）について ・ 民間共済資金借入申込みについて

イ 資産運用に関する基本方針に基づいた運用  
基本方針に基づき、外部委託による資産運用の実施。

【外部委託資産運用状況（令和6年3月31日現在）】

金融機関名	信託元本	時価総額	時間加重収益率
三菱UFJ信託銀行	4,705,881,800円	6,079,220,646円	12.24%
りそな銀行	4,371,710,655円	5,118,099,735円	6.35%
みずほ信託銀行	2,074,415,333円	2,713,832,858円	12.46%
計	11,152,007,788円	13,911,153,239円	

③ 退職金充足率  
140.37%（令和6年3月31日現在の要支給額に基づく）

④ 加入施設・事業所及び会員への情報公開  
加入施設・事業所及び会員に対して文書にて報告を行った。

期 日	報告内容
8月9日	令和5年3月末現在の共済の現状
11月14日	令和5年9月末現在の資産運用状況

⑤ 共済制度の加入促進  
新規加入施設・事業所 1か所

⑥ 全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会及び他の共済実施団体との連携

会議名	期 日	場 所
令和5年度 全国民間社会福祉従事者共済 連絡協議会 全国会議	11月16日～11月17日	鹿児島県
令和5年度 東海・近畿ブロック会議	2月7日	京都府

## （2）独立行政法人福祉医療機構「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」の事務受託

① 受託事務の遂行  
共済契約法人・団体数 165法人・団体（令和6年3月31日現在）

② その他  
会議への参加

会議名	期 日	備 考
令和5年度社会福祉施設職員等退職手当共済 事業事務連絡会	2月26日	オンライン

## （3）福利厚生センターの地方事務局の受託

① 受託事務の遂行及び会員交流事業の企画・実施

ア 加入状況（令和6年3月31日現在）

加入法人・団体：52法人・団体（会員数：1,989名）

イ 会員交流事業の企画・実施

期 日	事業名	参加人数
4月1日～2月29日	ナガシマスパーランド及び 湯あみの島割引券	会員・家族 52名
6月1日～12月31日	海遊館入館割引券	会員・家族 61名

期 日	事業名	参加人数
7月1日～10月31日	ラフォーレ倶楽部宿泊プラン	会員・家族 43名
9月16日	よしもと新喜劇バスツアー	会員・家族 45名
12月1日～3月31日	ディナークーポン	会員・家族 446名
2月10日	宝塚歌劇観劇バスツアー	会員・家族 45名

② 未加入法人への加入勧奨

6 法人に福利厚生センター職員同行の個別訪問を実施

期 日	場 所	訪問数
9月13日	和歌山市、紀の川市、岩出市	4法人
9月14日	日高郡	2法人

③ その他

会議への参加

会議名	期 日	備 考
福利厚生センター全国会議	7月19日	オンライン

(4) 社会福祉関係功労者の顕彰

① 県社会福祉功労者表彰式の開催

ア 期 日 10月23日

イ 場 所 和歌山県民文化会館（和歌山市）

ウ 参加者 約160名

エ 内 容 ・和歌山県知事感謝 32名5団体  
 民生委員・児童委員功労者 25名  
 社会福祉事業従事功労者 7名  
 福祉ボランティア功労者 5団体  
 ・和歌山県社会福祉協議会会長表彰 142名3団体  
 民生委員・児童委員功労者 68名  
 社会福祉施設役員、職員功労者 41名  
 社会福祉関係団体役員、職員功労者 6名  
 社会福祉協議会役員、職員功労者 11名  
 ボランティア功労者 1名3団体  
 永年勤続功労者 15名

② 県社協会長表彰、感謝の授賞

ア 県社協会長表彰

10月23日に和歌山市で開催された令和5年度和歌山県社会福祉功労者表彰式において、社会福祉関係者の功労をたたえ、本会会長表彰を行った。

(被表彰者数は、前掲①県社会福祉功労者表彰式の開催のエ内容に記載)

イ 県社協会長表彰及び全社協会長表彰候補者推薦審査会の開催

期 日	場 所
7 月 21 日	和歌山県庁北別館

③ 各種表彰等への推薦

ア 全社協会長表彰候補者の推薦

全国社会福祉協議会会長表彰の推薦を行い、下記のとおり計 25 名が受賞された。

区 分	受賞者数
民生委員・児童委員功労者	5 名
社会福祉法人・福祉施設功労者	7 名
社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者	2 名
永年勤続功労者	11 名

《総務企画部・企画班・市町村社協活動支援事業関係》

1 市町村社会福祉協議会の活動支援、地域福祉の推進

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築を視野に入れ、人材の育成・資質向上を促進するとともに、各地域における事業展開を支援した。

(1) 包括的な相談支援に取り組める人材の育成・資質の向上

① 地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	<b>期 日</b> 令和5年7月5日 <b>場 所</b> 勤労福祉会館プラザホープ 3階 <b>参加者</b> 社協14名、 施設9名、行政5名 (計28名)	<b>【講義編】</b> (1) 「地域共生社会の実現に向けた県の取組について」 県福祉保健総務課 主任 則岡麻耶子 (2) 講 義 ① 「地域生活課題の捉え方」 ② 「地域共生社会とは何か」 ③ 「ソーシャルワークの基礎」 講師：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏
2	<b>期 日</b> 令和5年8月10日 <b>場 所</b> 和歌山ビッグ愛2階 <b>参加者</b> 社協8名、 施設6名、行政1名 (計15名)	<b>【演習編】</b> 事例報告「社会福祉施設/社協×地域生活課題」 (1) 和歌山市社会福祉協議会の相談支援 ～重層的支援体制整備事業の取組～ 和歌山市社会福祉協議会地域福祉推進室 生活支援班 主査 田中ひとみ氏 (2) 誰もが自分らしく生活できるまちづくりをめざして ～まごころランドの挑戦～ 社会福祉法人千翔会 まごころランド 施設長 高垣千恵 氏 就労継続支援B型 リーダー 松本恵子氏 ヘルパーステーション リーダー 平岡友美氏 助言者：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏
3	<b>期 日</b> 令和5年9月7日 <b>場 所</b> 和歌山ビッグ愛1階 <b>参加者</b> 社協8名、施設7名、 行政1名(計16名)	<b>【実践編】</b> 演習 地域生活課題の解決に向けた、アクション プラン作成 プレゼン：参加者 (事前学習によるアクションプラン) 助言者：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏
4	<b>期 日</b> 令和6年1月31日 <b>場 所</b> 和歌山ビッグ愛12階 <b>参加者</b> 社協7名、施設5名、 市町村1名(計13名)	<b>【フォローアップ編】</b> 演習 アクションプラン作成のその後 プレゼン：参加者 (事前学習によるアクションプラン) 助言者：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏

② 市町村社会福祉協議会初任者職員研修会

期日・参加者・場所	内容概要
<b>期 日</b> 令和5年9月12日 <b>場 所</b> 和歌山県立白崎青少年の家 (由良町) <b>参加者</b> 13社協26名	(1) 【講義①】「社会福祉協議会とは」 和歌山県社会福祉協議会 総務企画部 副部長 榎本幸治 (2) 【仲間づくり・昼食】 (3) 【講義②】「先輩職員から学ぶ」 講師：有田市社会福祉協議会 事務係長 石井秀明 氏 みなべ町社会福祉協議会 地域福祉主任 山下紗代 氏 (4) リフレクションとアクションプランづくり (5) 仲間に向けてメッセージ

(2) 地域福祉推進の中核を担う市町村社協活動の強化促進

① 市町村社協巡回訪問等による個別支援

期日	支援社協	内容
4月13日	有田地方社協	有田地方社協連絡協議会職員研修(講師派遣)
4月26日	紀南ブロック社協	紀南ブロック令和5年度総会
6月29日	有田地方社協	水害支援緊急講習会
8月28日	紀北ブロック社協	紀北ブロック第1回会議
2月2日	紀北ブロック社協	紀北ブロック社協職員研修会

② 和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援

ア 市町村社会福祉協議会 会長会議

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	<b>期 日</b> 令和5年12月15日 <b>場 所</b> 和歌山ビッグ愛1階 <b>参加者</b> 25社協、 会長・事務局長等52名	(1) 情勢報告 「社協をとりまく情勢と今後の社協事業・活動にむけて」 和歌山県社会福祉協議会 常務理事 南木芳亮 (2) 報告・協議① 「令和5年梅雨前線による大雨及び 台風第2号災害を振り返って」 紀美野町社会福祉協議会 会長 田淵晴民氏 事務局長 岡田庄平氏 かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長 山本幸則氏 和歌山県社会福祉協議会 総務企画部・地域福祉部 (3) 説明・協議② 「特例貸付借受人等生活困窮者への支援について」 和歌山県社会福祉協議会 地域福祉部生活資金班

イ 市町村地域福祉主管課長・市町村社会福祉協議会事務局長会議

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	<b>期 日</b> 令和5年10月13日 <b>場 所</b> 和歌山ビッグ愛12階 <b>参加者</b> 27社協、34名 行政24市町村、29名	(1) 行政説明 「包括的な支援体制について～DWA T整備に向けた取組を通して～」 県福祉保健総務課 主任 則岡麻耶子

	<p>(2) 県社協説明 「防災と地域福祉～災害ボランティアの活動を通して～」 県災害ボランティアセンター 所長 南出考</p> <p>(3) 活動報告 「6月2日豪雨災害を通じて～住民同士の助け合い・ 支え合い～」 海南市社会福祉協議会 事務局長 仲 恭伸氏</p> <p>(4) 厚生労働省全国キャラバン 「災害や危機にも強い地域共生社会の実現を目指して ～防災と福祉の連携～」 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室</p> <p>(5) 事務連絡 「令和5年度和歌山県市町村社協連絡協議会の取組 －業務課題検討会の進捗状況を中心に」</p>
--	---

ウ 業務課題検討会の開催

a 地域共生社会に向けた取組の具体化

回	期日・参加者・場所	内容概要						
1	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年5月30日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>勤労福祉会館プラザホープ4階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>20市町社協、34名</td> </tr> </table>	期日	令和5年5月30日	場所	勤労福祉会館プラザホープ4階	参加者	20市町社協、34名	<p>第2回広報のチカラを付ける研修会 ※第1回検討会として開催</p>
期日	令和5年5月30日							
場所	勤労福祉会館プラザホープ4階							
参加者	20市町社協、34名							
2	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年10月30日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 1階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>14市町社協、16名</td> </tr> </table>	期日	令和5年10月30日	場所	和歌山ビッグ愛 1階	参加者	14市町社協、16名	<p>(1) 前回（研修会）の振り返り (2) 各社協のSNS、広報の状況について (3) 今後の検討テーマについて</p>
期日	令和5年10月30日							
場所	和歌山ビッグ愛 1階							
参加者	14市町社協、16名							

b 人材確保、人材育成

回	期日・参加者・場所	内容概要						
1	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年7月14日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 7階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>6市町社協、8名</td> </tr> </table>	期日	令和5年7月14日	場所	和歌山ビッグ愛 7階	参加者	6市町社協、8名	<p>(1) 検討テーマの確認 (2) 社協版 職業体験事業 (3) 新任職員研修会について</p>
期日	令和5年7月14日							
場所	和歌山ビッグ愛 7階							
参加者	6市町社協、8名							
2	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年9月14日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 7階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>7市町社協、8名</td> </tr> </table>	期日	令和5年9月14日	場所	和歌山ビッグ愛 7階	参加者	7市町社協、8名	<p>(1) 各社協の人材育成・採用状況について (2) 人材確保・人材育成セミナーについて (3) 人材確保・人材育成にかかる企画について</p>
期日	令和5年9月14日							
場所	和歌山ビッグ愛 7階							
参加者	7市町社協、8名							
3	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年12月5日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 7階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>5市町社協、7名</td> </tr> </table>	期日	令和5年12月5日	場所	和歌山ビッグ愛 7階	参加者	5市町社協、7名	<p>(1) 「社会福祉現場での人材確保・人材育成を考 える」（セミナー報告） (2) 介護サービス部門の人材確保について (3) 社協説明会（オープンカンパニー）の企画に ついて (4) その他</p>
期日	令和5年12月5日							
場所	和歌山ビッグ愛 7階							
参加者	5市町社協、7名							

c 災害時の社協活動

回	期日・参加者・場所	内容概要						
1	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年7月31日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 12階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>23社協28名</td> </tr> </table>	期日	令和5年7月31日	場所	和歌山ビッグ愛 12階	参加者	23社協28名	(1) 梅雨前線及び台風2号の影響による大雨災害の対応状況 (2) 検討テーマの確認 ①介護サービス事業所のBCP策定について ②災害ボランティアセンターにおけるICT化の検討について (3) 災害派遣福祉チーム(DWAT)の構築に向けて(情報提供)
期日	令和5年7月31日							
場所	和歌山ビッグ愛 12階							
参加者	23社協28名							
2	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年11月20日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 8階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>17社協社協24名</td> </tr> </table>	期日	令和5年11月20日	場所	和歌山ビッグ愛 8階	参加者	17社協社協24名	(1) 導入説明「災害ボランティアセンター運営支援課題の共有」(県社協) (2) 講義「災害ボランティアセンターに求められる機能と役割～情報の発信・共有の重要性～」(「OfficeSONOZAKI」代表 園崎秀治氏) (3) グループディスカッション(講義を受けて)
期日	令和5年11月20日							
場所	和歌山ビッグ愛 8階							
参加者	17社協社協24名							
3	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和6年2月15日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>新宮市福祉センター (オンライン併用)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>26社協37名</td> </tr> </table>	期日	令和6年2月15日	場所	新宮市福祉センター (オンライン併用)	参加者	26社協37名	(1) 訓練の趣旨、経過等を共有 (2) 訓練からの学び(グループワーク)
期日	令和6年2月15日							
場所	新宮市福祉センター (オンライン併用)							
参加者	26社協37名							

d 生活課題への取組(特例貸付借受人等生活困窮者への支援)

回	期日・参加者・場所	内容概要						
1	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年5月19日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 2階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>15社協21名</td> </tr> </table>	期日	令和5年5月19日	場所	和歌山ビッグ愛 2階	参加者	15社協21名	(1) 状況確認と課題提起 (2) 検討会のゴール(目標)の設定に向けて課題の抽出と対応方法を選定【ワーカーとしての課題を整理】 ①特例貸付借受人等生活困窮者への支援にかかる社協ワーカーとして抱える課題を抽出。 ②課題への対応を言語化
期日	令和5年5月19日							
場所	和歌山ビッグ愛 2階							
参加者	15社協21名							
2	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年7月20日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 9階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>11社協社協16名</td> </tr> </table>	期日	令和5年7月20日	場所	和歌山ビッグ愛 9階	参加者	11社協社協16名	(1) 共通課題の確認と共有 入口支援および出口支援それぞれの課題について (2) 検討会のゴール(目標)の設定「相談支援力を高める」 (3) 相談者の困りごと、またそれを解決するための支援メニューについて検討
期日	令和5年7月20日							
場所	和歌山ビッグ愛 9階							
参加者	11社協社協16名							
3	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年8月30日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>印南町防災福祉センター</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>16社協24名</td> </tr> </table>	期日	令和5年8月30日	場所	印南町防災福祉センター	参加者	16社協24名	(1) 入口支援(初回相談地)～出口支援(対応策)の見立てについて、事例を用いて検討
期日	令和5年8月30日							
場所	印南町防災福祉センター							
参加者	16社協24名							
4	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年9月25日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 8階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>16社協23名</td> </tr> </table>	期日	令和5年9月25日	場所	和歌山ビッグ愛 8階	参加者	16社協23名	(1) 相談支援における課題への対応 チェックリストからのアクションプラン作成と共有 (2) 「生活困窮者への緊急支援活動助成」(中央共同募金会)の活用について
期日	令和5年9月25日							
場所	和歌山ビッグ愛 8階							
参加者	16社協23名							
5	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年11月27日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 12階</td> </tr> </table>	期日	令和5年11月27日	場所	和歌山ビッグ愛 12階	(1) 「生活支援メニューのレシピ集」(案)内容の検討		
期日	令和5年11月27日							
場所	和歌山ビッグ愛 12階							



	参加者	12社協14名	(2) 「初回相談聞き取りアセスメントシート」(案)作成 (3) まとめ
6	期日	令和6年1月19日	(1) 「生活支援メニューのレシピ集」作成 (2) 「初回相談聞き取りアセスメントシート」内容確認 (3) まとめ
	場所	和歌山ビッグ愛 2階	
	参加者	10社協12名	

エ 市町村社会福祉協議会役職員研修会

期日・参加者・場所		内容概要
期日	令和6年2月19日	和歌山県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会報告 (1) 地域共生社会の実現に向けた取組の具体化 和歌山県市町村社協連絡協議会 事務局 (2) 人材確保・人材育成 田辺市社会福祉協議会 在宅福祉課 課長 古本和也氏 (3) 災害時の社協活動 和歌山市社会福祉協議会 地域福祉班 班長 岩橋智秀氏 (4) 生活課題への取組（特例貸付借受人等生活困窮者への支援） かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長 山本幸則氏
場所	和歌山ビッグ8階	
参加者	26社協69名	

オ 過去の災害支援を踏まえた確認事項等への対応

a 令和5年度広域・同時多発災害対応訓練 【訓練当日は中止】

1) 事前打ち合わせ会議（県ボランティアセンター主催）

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期日 令和5年7月7日 場所 新宮市社協等（オンライン併用） 参加者 20名	訓練の日程・会場及びプログラムについて
2	期日 令和5年8月4日 場所 新宮市社協（オンライン併用） 参加者 19名	訓練の日程・会場及びプログラムについて
3	期日 令和5年9月11日 場所 新宮市社協（オンライン併用） 参加者 19名	(1) 目的の設定と共有 (2) 被害想定（状況付与） (3) 訓練内容の焦点化
4	期日 令和5年9月22日 場所 太地町地域福祉センター 参加者 9名	※開催地社協との打ち合わせ (1) 開催地(災害VC設置場所、参加者)について (2) 具体的な訓練内容等について (3) 応援社協(開催地以外の参加社協)について (4) 次回の打ち合わせ会議(第4回)について
5	期日 令和5年10月10日 場所 太地町地域福祉センター（オンライン併用） 参加者 22名	訓練プログラムについて (1) 発災から災害ボランティアセンター開設までの動きについて (2) 開催要項及び行程表の作成について
6	期日 令和5年11月13日 場所 新宮市役所（オンライン併用） 参加者 30名	(1) 訓練工程についての確認 (2) 役割分担について

期 日	令和5年12月3日	11/28 市町村社協へ被害状況報告依頼（メール・Google フォーム） 12/1 災害 VC 開設準備、対応協議（新宮市・太地町） ➡訓練の準備状況、対応協議状況を Zoom ミーティングでオンライン中継 12/2 災害 VC 設置 深夜 フィリピン付近で M7.7 の地震が発生 和歌山県沿岸部に津波注意報が発令 開催地社協及び運営支援中核者、県社協が対応協議 4：00 注意報が解除されていないため開設・参集を中止 参集予定者に連絡 ※当日されていた訓練内容は中止となったが来年度につながる課題等再検討。
場 所	新宮市福祉センター、 旧グリーンピア南紀 多目的ホール（那智勝浦町）	
参加者	—	

カ 業務課題別検討会にかかる企画の実行支援

a 社会福祉協議会職業体験

期日・参加者・場所	内容概要
期 日	令和5年8月 ～令和6年3月
場 所	各受入社協 (12社協)
参加者	1名
	○近畿府県の福祉系大学、短大、専門学校及び、県内の大学、短大、専門学校への PR ○各受入社協での職業体験（1～3日）

③ 県内市町村社協における地域福祉活動計画の策定・実行の状況把握

ア 新宮市社会福祉協議会

回	期日	内容概要
1	8月29日	(1) 第3次地域福祉活動計画の進捗状況について (2) 今後の策定スケジュールについて
2	10月5日	(1) 各地区における第3次計画の振り返りと今後の取組について
3	11月2日	(1) 各地区における第3次時計画の振り返りと今後の取組について
4	1月23日	(1) 第4次地域福祉活動計画案について

イ 紀美野町社会福祉協議会

回	期日	内容概要
1	8月7日	(1) 地域福祉活動計画の概要について (2) 地域福祉活動計画策定方針について (3) 地域福祉活動計画策定スケジュールについて
2	11月20日	(1) 第2次地域福祉活動計画の進捗状況について

④ 多様な地域福祉実践の情報収集と発信

民生委員児童委員活動、市町村社会福祉協議会等の地域福祉活動事例等の収集及びホームページや SNS による掲載に努めた。

### (3) 「相談・支援体制の強化」と「地域づくりのための活動基盤整備」の支援

#### ① コロナ禍における生活課題への取組

上記、(2) 地域福祉推進の中核を担う市町村社協活動の強化促進-②和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援-ウ 業務課題検討会の開催-d 生活課題への取組（特例貸付借受人等生活困窮者への支援）参照

#### ② 市町村社会福祉協議会活動支援事業（助成）

社協名	事業名	交付額
有田市	子どもたちを取り巻くネットワーク強化事業	500 千円
九度山町	地域の支え合い支援活動と活動の見える化	500 千円
有田川町	見守りネットワーク強化事業	90 千円
合 計	3 事業	1,090 千円

### (4) 市町村社協活動の情報収集及び“見える化”の支援

#### ① 第2回広報のチカラを付ける研修会

期日・参加者・場所	内容概要						
<table border="0"> <tr> <td>期 日</td> <td>令和5年5月30日</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>勤労福祉会館プラザ ザホープ4階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>20市町村社協、34名</td> </tr> </table>	期 日	令和5年5月30日	場 所	勤労福祉会館プラザ ザホープ4階	参加者	20市町村社協、34名	(1) レイアウト講座 講師：Print コーディネーター 代表兼チーフデザイナー 窄口真吾 氏 (2) 写真講座・演習 講師：フォトグラファー SUBAL（すばる）氏 (3) グループワーク (4) 質疑応答
期 日	令和5年5月30日						
場 所	勤労福祉会館プラザ ザホープ4階						
参加者	20市町村社協、34名						

### (5) 地域福祉活動推進のための関係機関との連携強化

#### ① 和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援

##### ア 総会

回	期日・参加者・場所	内容概要						
1	<table border="0"> <tr> <td>期 日</td> <td>令和5年4月20日</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>和歌山ビッグ愛 2階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>30社協(うち委任状による出席4社協)47名</td> </tr> </table>	期 日	令和5年4月20日	場 所	和歌山ビッグ愛 2階	参加者	30社協(うち委任状による出席4社協)47名	(1) 議 事 1) 令和4年度事業報告・決算について 2) 令和4年度事業報告・決算にかかる監事監査報告について 3) 令和5年度事業計画・予算(案)について 4) 社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会理事候補者の推薦について 5) その他
期 日	令和5年4月20日							
場 所	和歌山ビッグ愛 2階							
参加者	30社協(うち委任状による出席4社協)47名							

##### イ 理事会

回	期日・参加者・場所等	内容概要						
1	<table border="0"> <tr> <td>期 日</td> <td>令和5年4月20日</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>和歌山ビッグ愛 2階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>理事9名、監事2名</td> </tr> </table>	期 日	令和5年4月20日	場 所	和歌山ビッグ愛 2階	参加者	理事9名、監事2名	(1) 役員(理事)の補欠について (2) 令和4年度事業報告・決算について (3) 令和4年度事業報告・決算にかかる監事監査報告について
期 日	令和5年4月20日							
場 所	和歌山ビッグ愛 2階							
参加者	理事9名、監事2名							

		(4) 令和5年度事業計画・予算（案）について (5) 総会議事の確認及び進行について (6) その他
2	期 日 令和5年5月19日 開催方法 書面 参加者 理事8名	(1) 和歌山県市町村社協連絡協議会理事(紀南ブロック選出)の補欠について
3	期 日 令和5年9月27日 場 所 和歌山ビッグ愛7階 参加者 理事9名、監事2名	(1) 6月2日梅雨前線・台風2号の影響による大雨災害への対応について ①災害ボランティアセンター関係（報告） ②海南市災害ボランティアセンター運営支援のための職員派遣に要した費用について (2) 市町村地域福祉主管課長・社会福祉協議会事務局長会議について (3) わかやま市民生協からの商品寄贈について (4) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会委員等の推薦について（報告）
4	期 日 令和6年3月14日 場 所 和歌山ビッグ愛7階 参加者 理事9名、監事1名	(1) 令和6年能登半島地震災害への対応状況について (2) 令和5年度事業報告（案）・決算（見込み）について (3) 令和6年度事業計画（案）・予算（案）について (4) 役員改選について (5) 令和6年度総会の開催について (6) その他

ウ 監事会

期日・場所	参加者	内容概要
期 日 令和5年4月14日 場 所 御坊市社協 かつらぎ町社協	監事2名	令和4年度事業および財産状況の監査

② 全国・近畿ブロック会議等への参加

ア 子ども食堂支援関連

期日	場所	名称
7月7日	オンライン	第2回社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会
5月10日 8月3日 10月23日 1月11日 2月9日	オンライン	社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会 実行委員会（オブザーバー出席）
1月29日	和歌山市	和歌山県子供食堂トップセミナー

イ 生活支援コーディネーター関連

期日	場所	名称
5月11日	オンライン	生活支援コーディネーター実践研修会（第1回）
9月28日 10月2日	御坊市 紀美野町	生活支援コーディネーター実践研修会（第2回）
2月27日	和歌山市	生活支援コーディネーター実践研修会（第3回）

ウ 全国社会福祉協議会、近畿ブロック府県社協等関連

期日	場所	名称
5月15日、 16日	東京都	都道府県指定都市社協 部・課・所長会議（地域福祉、生活福祉資金、ボランティア・市民活動センター担当）
5月18日	東京都	地域福祉推進委員会令和5年度総会
7月10日	オンライン	「市区町村社協 中期経営計画策定の手引き」説明会
9月6日	オンライン	中期経営セミナー
10月24日	大阪市	近畿ブロック府県・指定都市社協地域福祉・ボランティア担当部・課・所長会議
10月31日	オンライン	地域福祉推進委員会市区町村社協介護サービス経営研究会オンラインサロン（第1回）
11月7日、 8日	東京都	社会福祉協議会全国会議
12月7日	京都市	近畿ブロック府県・指定都市社協地域福祉・ボランティア担当者会議
3月19日	オンライン	地域福祉推進委員会市区町村社協介護サービス経営研究会オンラインサロン（第3回）

エ 近畿地域福祉学会

期日	場所	名称
8月17日	神戸市	第1回役員会・実行委員会
12月16日	神戸市	第35回近畿地域福祉学会 兵庫大会 第2回役員会・実行委員会 令和5年度 総会
3月26日	オンライン	日本地域福祉学会（地方懇談会）

③ 災害対応

「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」に基づき、市町村社協職員による応援派遣を実施した。

ア 令和5年6月梅雨前線・台風2号の影響による大雨災害

海南市災害ボランティアセンターへ、県内社協職員派遣を行った（令和5年6月3日～7月22日、12クール延べ179人）。

イ 令和6年能登半島地震災害

羽咋市災害ボランティアセンター（石川県）へ、県内社協職員派遣を行った（令和

6年1月23日～4月3日、17クール17名) ※令和6年4月以降、七尾市災害ボランティアセンター(石川県)へ、職員派遣継続中(4月末現在で合計25クール、24名)。

④ 関係機関との連絡調整

ア (株)セブン-イレブン・ジャパン「商品寄贈による社会福祉貢献活動 寄贈品に関する協定書」に基づく連携

セブン-イレブン、県、県社協の三者で締結された協定に基づき寄贈された商品について、地域で支援を必要とする世帯・個人(生活に困難を抱える方)、社会福祉施設等への配分に協力した。

期日・参加者・場所		内容概要
期 日	令和5年4月27日	第12回商品寄贈 [配分先]子ども食堂、児童養護施設、生活困窮者支援等 [分量等]加工食品・飲料、雑貨等 計1,101点
参加者	紀北ブロック6社協	
場 所	和歌山市あいあいセンター福祉交流館	
期 日	令和5年6月5日	第13回商品寄贈 [配分先]子ども食堂、児童養護施設、生活困窮者支援等 [分量等]加工食品・飲料、雑貨等 計213点
参加者	紀中ブロック7社協	
場 所	御坊市福祉センター	
期 日	令和5年7月18日	第14回商品寄贈 [配分先]学童保育所、デイサービスセンター、生活困窮者[分量等]加工食品・飲料、雑貨等 計712点
参加者	紀中ブロック6社協	
場 所	太地町地域福祉センター柳	

イ (株)オークワ「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」に基づく連携

オークワと県社協で締結された協定に基づき寄贈された商品(精米)について、地域で支援を必要とする世帯・個人(生活に困難を抱える方)、社会福祉施設等への配分に協力した。

寄贈日	配分先ブロック	分量	活用方法等
4月19日	紀北	77.0 kg	配食サービス、子ども食堂、生活困窮世帯への配分。
5月9日	紀中	79.0 kg	こども食堂、生活困窮者への配分。
5月18日	紀南	57.5 kg	フードバンク、生活困窮者へ配分。
5月31日	紀北	65.5 kg	生活困窮者へ配布、社協備蓄(歳末助け合い時配分、緊急時支援品として)。
6月7日	紀中	77.5 kg	生活困窮者(世帯)、社協配食サービス、給食ボランティアグループ、保育園に配布。

6月22日	紀南	75.0 kg	子ども食堂、生活困窮者、レスキューネットワークへの配布。
7月5日	紀北	100.0 kg	歳末助け合い配分、配食サービス、生活困窮者へ配布。
7月20日	紀中	48.5 kg	生活困窮者支援品として、子育て支援ボランティア団体、配食サービスに配布。
8月9日	紀南	75.25 kg	生活困窮者、障がい者グループホーム、特別養護老人ホームに配布。
8月10日	紀北	71.5 kg	生活困窮者支援、食事サービス事業、フードバンク使用の為備蓄。
8月26日	紀中	73.0 kg	子育て支援ボランティア団体、生活困窮者支援、子ども食堂へ配分。
9月2日	紀南	93.5 kg	就労継続支援A型、B型施設、保育所、生活困窮者へ配布。
9月22日	紀北	72.4 kg	子ども食堂、生活困窮者へ配布。
10月10日	紀中	74.0 kg	子育て支援ボランティア団体、子ども食堂、給食ボランティアグループ、生活困窮者へ配布。
10月25日	紀南	71.0 kg	多機能型事業所、障がい児・者支援施設、生活困窮者支援へ配布。
11月15日	紀北	96.25 kg	こども食堂、フードパントリー、生活困窮世帯へ配布。
11月20日	紀中	60.0 kg	給食ボランティアグループ、こども防災クラブ、生活困窮者へ配布。
11月27日	紀南	80.0 kg	生活困窮者宅、保育園へ配布。
12月21日	紀北	55.0 kg	生活困窮者、食事サービスボランティアの会、子ども食堂へ配布。
12月25日	紀中	86.0 kg	保育所、こども食堂、生活困窮者宅へ配布。
1月5日	紀南	65.0 kg	給食グループ、老人ホーム 生活困窮者へ配布。
1月19日	紀北	72.0 kg	こども食堂、生活困窮者へ配布。
2月6日	紀中	76.0 kg	こども食堂、子育て支援ボランティア団体、給食ボランティアグループ、生活困窮者へ配布。
2月15日	紀南	60.0 kg	給食サービス、生活困窮者、子ども食堂へ配布。
3月26日	紀北	79.65 kg	配分中（令和6年3月31日現在）
令和5年度合計	25回	1,840 kg	

ウ 生命保険協会 和歌山県協会からの福祉巡回車寄贈

期日・参加者・場所		内容概要
期 日	12月1日	「生命保険協会和歌山県協会」福祉巡回車寄贈式 寄贈先：すさみ町社会福祉協議会
場 所	和歌山市	

エ 保険等の取扱い(本会受付分)

保険種別	加入件数
福祉サービス総合補償	10件
送迎サービス補償	なし

## 2 和歌山県民生委員児童委員協議会との連携、民生委員・児童委員活動の支援

### (1) 民生委員・児童委員の活動状況把握と情報発信

民生委員・児童委員が行う地域での実践活動（相談支援・生活支援等）や、民生委員自身の思い・やりがい等を広く啓発し、関係者へ理解を促進するため、本会広報紙及びホームページで活動紹介を実施した。

広報誌・発行月	内 容
福祉わかやま 5月号	【特集】あなたのまちの民生委員・児童委員 ～支え合う住みよい社会 地域から～
福祉わかやま 10月号	できるだけ前向きに取り組む！ (紀の川市桃山民生委員児童委員協議会)
福祉わかやま 1月号	日頃の何気ない会話からの“気づき”を大切に (有田川町民生委員児童委員協議会)

### (2) 社会福祉協議会活動との連携強化

「新任民生委員・児童委員研修会」において、担当職員を派遣し、生活福祉資金貸付制度、福祉サービス利用援助事業及び福祉サービス苦情解決事業の説明を行った。

また、単位民児協会長・副会長研修会の講義内容のオンデマンド動画配信について、本会サイトで掲載した。



《総務企画部・企画班・施設関係》

1 「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じ、地域を支える社会福祉法人の活動を支援

地域共生社会の実現に向けて、地域における公益的な取組を責務とする社会福祉法人がその一翼を担うことができるよう、「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じて社会福祉法人の公益的な取組を支援した。

(1) プロジェクトにおける多様な事業活動の開発、展開

① 関係会議・研修、個別訪問等によるプロジェクトへの参画促進

社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を促進・支援するため、下記モデル事業実施法人の取組を広報誌で紹介し、普及啓発に努めた。

掲載号	法人名	掲載事例（テーマ）
令和5年12月	白浜コスモス福祉会	家庭や職場・学校以外の“第3の居場所”をめざして

② 地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル（助成）事業の実施

地域共生社会の実現に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な福祉サービス提供体制の整備を目的とした改正社会福祉法が令和3年4月に一部施行された。

社会福祉法人・福祉施設には、社会福祉法人制度改革で求められてきた「地域における公益的な取組」の推進を図る中で、より一層、地域の様々な生活課題に積極的に対応し、地域共生社会の一翼を担うことが期待されている。こうした状況から、個々の社会福祉法人独自の取組を促進、支援するため、モデル（助成）事業を実施した。

【令和5年度指定法人：3法人 / 助成総額900千円】

寿敬会	和歌山市平尾	300千円
事業名	つながり大日カフェ（強化発展）	
従来の参集型の「大日カフェ」から、さらに「つながりを持つ」、将来的に「つながって良かった」と感じられる集まりを目標に、地域住民に困りごとが発生した時も法人として相談できる体制を確保。さらに、通信誌の発行やSNSの活用により声かけ、見守り体制を構築していく。		
白浜コスモス福祉会	西牟婁郡白浜町	300千円
事業名	緩やかなつながりと居場所づくりプロジェクト（新規）	
地域活動支援センターの取組を基盤に、ふと思いついたときに立ち寄れる「居場所づくり」と地域住民の「緩やかなつながり」をどう作っていくかという課題を設定。ニーズ多い土日・休日に、地域の子ども、障がい児・者、高齢者などが交流できる場をつくることで、社会的な孤立、孤独を防止する		
一麦会（紀の川生活支援センター）	紀の川市尾崎	300千円
事業名	障害や生きづらさを抱えた社会的孤立状態にある思春期世代の居場所事業（継続）	
令和4年度に引き続き、生きづらさや発達障害、メンタルヘルスの課題等を抱えた若者（思春期世代）が、気軽に相談できたり、立ち寄ることができる居場所づくりを行う（同センター機能を活用/月2回/1回あたり10～15名想定）。那賀圏域自立支援協議会活動と教育機関へのはたらきかけを強化し、制度で対応できないニーズを把握。教育機関ともケースを共有しながら支援へつなぐ。		

※モデル助成事業開始（平成28年度～）からの延べ助成件数 … 42事業（18法人）

## (2) 実践事例の収集・発信（見える化）と普及啓発

### ① 「ふくしフォトコンテスト2023」の開催

地域共生社会の実現に向け、誰も身近にある「福祉」「地域福祉」を県民及び関係者に向けて啓発する（福祉への理解をすすめる）とともに、「福祉職場」の素晴らしさ、福祉のイメージUPを目的とし、令和4年度に引き続き、県社協（協働プロジェクト）、県経営協、経営協青年会の3者共催による取組として「ふくしフォトコンテスト」実施した。

ア 応募総数 150作品（応募者73人）

イ 入賞 計10点

賞の名称	選定数	賞品
最優秀賞	1作品	商品券3万円
優秀賞	3作品	商品券2万円
入選	6作品	商品券1万円

ウ 参加賞 りさいくる手作りめも帳（製作：社会福祉法人やおき福祉会）

エ 審査委員会

	団体名	職名	氏名	備考
1	県経営協	会長	森田昌伸	審査委員長
2	県経営協青年会	会長	今西基之	
3		副会長	切士知憲	(企画実務担当)
4	県社会福祉協議会	常務理事	南木芳亮	
5	外部アドバイザー	写真家	諸永恒夫	アドバイザー

オ 取組経緯

期日	内容
令和5年7月19日～	募集案内通知、広報PR（プレスリリース）
令和5年7月18日～9月8日	作品募集期間（県社協ホームページ・応募専用フォーム）
令和5年9月28日	第1次審査（経営協青年会役員会）
令和5年10月16日	第2次審査（審査委員会・入賞作品決定）
令和5年11月6日	令和5年度第3回合同研修会（講演後） ・入賞作品披露（スライドショー） ・表彰式
令和5年11月6日	審査結果通知（応募者全員）、参加賞送付 審査結果を県社協ホームページ、SNSで公開
令和5年12月	県社協広報誌「福祉わかやま」12月号にて作品紹介
令和5年12月2日	那智勝浦町健康福祉まつり 展示
令和5年12月18日～12月25日	第1回パネル展示（スーパーセンターオークワ 南紀店）
令和6年1月15日～1月22日	第2回パネル展示 （スーパーセンターオークワ パームシティ 和歌山店）
令和6年1月23日～1月30日	第3回パネル展示（オークワ パビリオンシティ田辺店）

## (3) 推進委員会事務局の運営

### ① 幹事会の開催

期日	場所	参加者	内容
令和5年9月20日	書面審議	幹事10名	・地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業助成先の選定について

② 総会の開催

期日	場所	参加者	内容
令和6年3月15日	資料送付	参画43法人 あて	ア 令和5年度事業進捗状況について イ 令和6年度事業計画・予算(案)について ウ その他

## 2 社会福祉法人(社会福祉施設)をはじめとする関係団体との連携強化

### (1) 和歌山県社会福祉法人経営者協議会及び社会福祉施設協議会との連携による支援

#### ① 和歌山県社会福祉法人経営者協議会との連携による研修機会提供

期日	場所	内容
8月8日	和歌山市 オンライン	全国経営協共催 都道府県経営協セミナー(前期) (県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第2回合同研修会) 【講義】「どこもかしこも人がいなくなる! どうする社福」 講師: 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 専門委員 柏瀬 善彦 氏 【動画】「新体制発足! これからの全国青年会が目指すこと」 説明者: 和歌山県社会福祉法人経営青年会 会長 今西 基之 氏 【説明】「物価高騰、報酬改定を乗り越え、 持続可能な経営を支えるために~全国経営協の取組」 説明者: 全国社会福祉法人経営者協議会事務局
11月6日	和歌山市	社会福祉法人 広報力・人材確保セミナー(独自研修) (県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第3回合同研修会) (県市町村社協連絡協議会 人材確保・人材育成検討会 研修会) 【特別講演】『社会福祉現場での人材確保・人材育成を考える』 ~人と組織が生み出すやりがいと生産性 /リーダーの役割とは~ 講師: 株式会社 people first 代表取締役 八木 洋介 氏 【ふくしフォトコンテスト2023 入賞作品披露・表彰式】
2月21日	和歌山市	全国経営協共催 都道府県経営協セミナー(後期) (県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第4回合同研修会) 【講義】「どうする報酬改定とこども未来戦略」 講師: 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 委員長 宮田 裕司 氏 【講義】「経営協ドックを活用した経営分析の実際」 講師: 全国社会福祉法人経営者協議会事務局 【動画】全国青年会入会促進PR/動画 「タテとヨコ、つながり目指す構築を ~経営協 磯会長と青年会 村木会長の緊急対談」 【説明】「令和6年度 報酬改定 こうなる処遇改善」 説明: 全国社会福祉法人経営者協議会事務局

② 和歌山県保育連合会との連携による研修機会提供

期日	場所	内 容
5月13日	和歌山市	県保育連合会 総会・研修会 テーマ：「保育業務の効率化と質の向上につながる ICT」 【実践報告】和歌山市（民間）支部 新堀こども園 園長 大林 弘嗣 先生
11月15日	田辺市 オンデマンド配信併用	県保育士部会研修会 【基調報告】和歌山県保育連合会 会長 森田 昌伸 氏 【研修Ⅰ】「私たちの仕事 ― 保育を考える」 ～乳児期からの関わりと環境設定～ 講師：関西福祉大学 教育学部 教授 中道 美鶴 氏 【研修Ⅱ】「子どもたちと笑いあえる歌あそびいっぱい」 講師：あそび歌作家 鈴木 翼 氏
2月10日	田辺市	第62回県保育研究会 【研究発表】 ①「新たな時代の保育実践～すべての子どもに向けて～」 共感遊びと安全能力向上 遊びでたくましい心と体を育もう 発表：(社福) ようすい会 ようすい子ども園 ②「つれもて繋がる しょらさんの輪」 ～郷土愛を育む取り組みを通して～ 発表：串本町立 くしもとこども園 【助言者】和歌山信愛大学教育学部 子ども教育学科 教授 森下順子 先生

③ 各施設協議会・福祉関係団体との連絡調整、情報収集と課題把握、助成

ア メールニュースの発行（県経営協31回/県保連63回）

社会福祉法人関連の情報を迅速に提供するため、県社会福祉法人経営者協議会及び県保育連合会との連携によりメールニュースを配信した。

イ 関係会議等への出席

期日	場所	名 称
5月13日	和歌山市	県保育連合会 総会・研修会
6月9日	和歌山市	県経営協 総会・研修会
7月3日	和歌山市	県児童福祉施設連絡協議会 総会・施設長・職員研修会
7月24日	和歌山市	県障害者社会参加推進協議会
8月22日	和歌山市	県経営協 県知事との懇談会
9月9日	和歌山市	第32回「三つわ祭り」
11月30日	和歌山市	第31回近畿地区身体障害者施設協議会研究大会
2月7日	白浜町	県児童福祉施設連絡協議会 研修会
2月10日	田辺市	県保育連合会 第62回県保育研究会

ウ 種別施設協議会・福祉関係団体への助成等

a 種別施設協議会への助成（種別組織育成事業助成金）

団体名	助成金額
和歌山県保育連合会	50,000円
一般社団法人和歌山県老人福祉施設協議会	50,000円
和歌山県児童福祉施設連絡協議会	50,000円
和歌山県母子生活支援施設協議会	50,000円
和歌山県知的障害者福祉協会	50,000円
計	250,000円

b 福祉団体への助成（社会福祉団体事業助成金）

団体名	助成金額
公益社団法人母子寡婦福祉連合会	150,000 円
社会福祉法人和歌山県身体障害者連盟	150,000 円
和歌山県里親会	50,000 円
和歌山県障害児者父母の会連合会	50,000 円
計	400,000 円

④ 全国・近畿ブロック等の情報収集、整理、発信（全国会議、ブロック会議等への参加、派遣）

期日	場所	会議・研修会名等
4月18日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第1回役員会
4月20日	神戸市	近畿ブロック保育協議会 第1回正副会長会議
5月26日	京都市	全国経営協 近畿ブロック会議
6月13日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第2回役員会
6月14日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第2回役員会
7月12日～13日	神戸市	2023年度 近畿ブロック保育研究集会
7月18日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 総会・第3回役員会・研修会
8月3日	オンライン	災害福祉支援ネットワーク担当者 全国オンライン会議
9月21日～22日	神戸市	第42回全国社会福祉法人経営者大会
11月16日～17日	大分県	全国保育協議会 第66回全国保育研究大会
11月21日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第5回役員会
11月24日	大阪市	災害福祉支援ネットワーク中央センター 近畿ブロック会議
12月14日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第6回役員会
1月16日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第7回役員会
2月9日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 総会・第9回役員会 近畿社会福祉法人経営者協議会 ブロックセミナー（大阪大会）
3月8日	オンライン	全国経営協 第2回協議員総会

⑤ 団体事務局受任による支援

ア 和歌山県社会福祉法人経営者協議会事務局

県社会福祉法人経営者協議会及び県社会福祉法人経営青年会の活動推進、各種情報の提供、研修会の開催、全国及び近畿社会福祉法人経営者協議会との連携等を通じ、活動支援を行った。

イ 和歌山県保育連合会事務局

県保育連合会及び保育士部会・給食部会の総会・研修会の開催、近畿・全国保育協議会との連携、会議への派遣等の活動支援を行った。

ウ 和歌山県児童館連絡協議会事務局

県児童館連絡協議会総会、児童厚生員等研修会の開催、一般財団法人児童健全育成推進財団との連携、関係会議への派遣等を通じ、活動支援を行った。

エ 和歌山県訪問介護事業所協議会事務局

県訪問介護事業所協議会総会、訪問介護員等研修会の開催、近畿ブロックホームヘルプ業務推進に係る連携会議への出席等を通じ、活動支援を行った。

(2) 新たな生活課題への対応と協働の場づくり（協働プロジェクトに包含）

(3) 災害福祉支援ネットワーク及び災害派遣福祉チーム（DWA T）の構築

① 関係機関及び施設種別協議会関係会議等における説明

期日	場所	名称
6月9日	和歌山市	県経営協 総会・研修会
3月18日	和歌山市	県民間保育園連盟研修会

② 和歌山県災害福祉支援チームの派遣に関する基本協定書の締結

ネットワーク構成団体	協定締結日
和歌山県社会福祉法人経営者協議会	10月12日
和歌山県児童福祉施設連絡協議会	
一般社団法人和歌山県老人福祉施設協議会	
和歌山県訪問介護事業所協議会	
和歌山県知的障害者福祉協会	
和歌山県療護施設連絡協議会	
和歌山県保育連合会	11月22日
和歌山県	ネットワーク事務局
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会	

③ 全国会議等への出席

期日	会議名	場所
8月3日	災害福祉支援ネットワーク担当者 全国オンライン会議	オンライン
11月24日	厚労省主催：災害福祉支援ネットワーク中央センター（圏域） 近畿ブロック会議	大阪市

④ チーム員候補者の届出 129名（3月1日現在）

⑤ チーム員登録時研修会の開催（県と共催）

期日	場所	内容
3月9日	和歌山市	講義① 【行政説明】 災害派遣福祉チームについての基本事項 講義② 【事務局説明】 災害派遣福祉チームの活動 演習① ディスカッション ～避難所における福祉ニーズを考える～ 講師：華頂短期大学 武田 康晴 教授 演習② 一般避難所での災害派遣福祉チームの活動（事例報告含む） 講師：華頂短期大学 武田 康晴 教授 その他 和歌山 DWAT 登録説明

【受講者&チーム員登録証発行】計90名

⑥ 令和6年能登半島地震災害支援 和歌山 DWAT の派遣

国及び全社協（災害福祉支援ネットワーク中央センター）の調整に基づき、3月の第5クール以降の1.5次避難所運営支援（金沢市）を本県が担当。計12名を派遣した。

※1クールあたり3名。原則5泊6日（前後1日は移動日、現地活動日は4日間）

クール	日程	派遣者	協力団体
5 (1班)	3月16日 ～3月21日	(有限) ViVifala 島ゆかこ HS ホース (島) (社福) 中庸会 天美苑 (直高) (社福) 紀伊松風苑 紀伊松風苑 (田邊)	訪介協 老施協 老施協
6 (2班)	3月20日 ～3月25日	(社福) 寿敬会 大日山荘 (上原) (社福) 寿敬会 大日山荘 (高木) (社福) あおい会 太陽の丘 (武中)	老施協 老施協 障福協
7 (3班)	3月24日 ～3月29日	(NPO) 和歌山ケアマネジャーの会 HS カーム (市原) (社福) ゆたか会 リハビリ橋本Ⅱ (丹下) (社福) 和歌山つくし会 つくし医療福祉センター (小山)	訪介協 療施協 児福協

8 (4班)	3月28日 ～4月2日	(社福) ゆたか会 リハビリ橋本 (今西) (社福) ゆたか会 リハビリ橋本 (中山) (社福) 寿敬会 大日山荘 (安宅) ※8クール・県社協事務局1名同行	療施協 療施協 老施協
計12名			—

ア 活動場所 金沢市内の1.5次避難所 (いしかわ総合スポーツセンター)

イ 業務内容

- ・避難者の受付、受付時のアセスメント
- ・避難者の健康管理
- ・避難所なんでも相談、他チームと連携した対応

⑦ その他

広報・普及啓発用 パンフレットの作成 (2,500部)、活動に必要な資機材の整備

#### (4) 教員免許取得に係る「介護等体験」事業の実施

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成9年法律第90号）」に基づき、教員免許の取得を希望する者は社会福祉施設等での「介護等体験」が義務づけられていることから、本会が受入調整業務を実施している。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年2月28日付けで文部科学省から特例（代替）措置適用の通知が令和2年度～4年度に引き続き発出されたことを受け、令和5年度の介護等体験についても施設での受入れを実施せず、各大学等で代替措置を適用（所定科目履修による体験免除）いただいた。

#### (5) 障害者施設授産活動活性化資金融資事業の実施

県内の就労継続支援A型・B型事業所、就労移行支援事業所、地域活動支援センター及び小規模作業所で行われている授産活動を活性化させ、施設利用者等の工賃支給状況を改善し、もって障害者の社会参加と自立を図るため、授産活動の活性化を目的とする無利子融資事業を実施した。

① 新規融資（なし）

② 債権管理状況（令和6年3月31日現在）

融資中件数	融資中金額	原資残額
0件	0円	10,000,000円

※令和5年7月、融資中債権の償還が完了。

## 《総務企画部・企画班・企画調整関係》

### 1 新たな福祉課題（分野）への対応と地域福祉推進フォーラムの開催

#### (1) 第6次和歌山県社会福祉協議会活動計画の遂行並びに進行管理

活動計画2年目の進捗管理の実施（事務局内）

#### (2) 新たな福祉課題・生活課題への対応・事業企画の強化

- ① 「ふくしフォトコンテスト2023」の実施（再掲）
- ② 災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWA T）の構築（再掲）
- ③ 県社協活動の見える化・広報強化のためのSNS（Instagram、Facebook）活用
- ④ 「わかやま子供食堂応援ネットワーク」受託に向けた準備

#### (3) 組織的なワーキングチーム活動の強化

##### ① 中核・中堅職員層ワーキングの実施

第6次県社協活動計画の第4章-2組織基盤の強化に関し、基本理念・行動指針等を全職員が理解し、活動計画の実行に向けて同じベクトルを持ち、自ら考えて仕事ができるようにするためには、各部署のチームリーダー的立場にある（実務の中核を担う）職員が想いをともにし、リーダーシップ・フォロワーシップ・部署間連携を図りながら業務に取り組むことが大変重要である。

こうした場を組織的・意図的に設けるため、令和4年9月より実施している中核・中堅職員層ワーキングを計8回開催した。

#### (4) 地域福祉推進フォーラムの開催

- ① 日 時 令和6年2月19日
- ② 会 場 和歌山市（県民交流プラザ和歌山ビッグ愛1階 大ホール）
- ③ 共 催 縣市町村社協連絡協議会
- ④ 後 援 和歌山県、和歌山県ボランティア連絡協議会、和歌山県民生委員児童委員協議会、社会福祉法人和歌山県共同募金会、和歌山県社会福祉法人経営者協議会、和歌山県社会福祉法人経営青年会
- ⑤ 参加者 市町村社協、社会福祉施設、ボランティア、行政職員等 138名

### 令和5年度 和歌山県地域福祉推進フォーラム

令和5年6月梅雨前線による大雨及び台風2号災害を振り返って  
～多機関協働、それぞれの力を合わせて災害にも強い地域づくり～

#### (1) 開会・オリエンテーション

#### (2) キーノートスピーチ 「防災と地域福祉～災害ボランティアの活動を通して～」

和歌山県災害ボランティアセンター所長 南出 考

#### (3) リレートーク

それぞれの地域での災害ボランティアセンターの運営状況や災害対応をご報告いただき、その経験を学びながら、平時からそれぞれの機関がどのように力を出し合い、備え（防災）と災害にも強い地域づくりを進めていくかを考察。

#### 【活動報告】

- ① 県内応援社協（運営支援中核者） / 社会福祉法人海南市社会福祉協議会
- ② 自主防災組織（福祉防災ボランティア会） / 社会福祉法人紀の川市社会福祉協議会
- ③ 専門ボランティア / 社会福祉法人かつらぎ町社会福祉協議会実践報告

※フォーラムの内容は、広報誌福祉わかやま令和6年4月号に特集掲載。





～事項別報告～

## Ⅱ 地域福祉部



## ≪地域福祉部・地域福祉班・地域福祉権利擁護事業関係≫

### 1 日常生活自立支援事業の実施

#### (1) 福祉サービス利用援助事業の実施

- ① 福祉サービス利用援助事業の全市町村社会福祉協議会への委託実施

新規	解約	年度末実利用者数
128 件	120 件	716 件

- ② 生活保護受給者への利用料全額助成の実施

年度末対象者数	助成合計（円）
延べ 267 名	8,728,800 円

- ③ 住民税非課税者への利用料半額助成の実施

年度末対象者数	助成合計（円）
延べ 305 名	2,725,250 円

- ④ 福祉サービス利用援助システムの運営・改修

平成 17 年度から本会と市町村社協がネットワークを介した業務システムを運用しているが、平成 22 年 5 月には新システムへと移行し、平成 25 年度、平成 28 年度にはシステムの一部改修を行い、さらなる事務の効率化を図ってきた。

さらに、令和 5 年度は、事務処理の迅速化を図るため、依頼書の公印省略とシステム上での書類の共有化、新規・変更・更新等に係る契約及び計画書類等をシステム上で PDF にて送信できるようシステムの改修を行った。

#### (2) 事業従事者の資質向上

- ① 専門員研修会の開催（詳細 7 専門員・生活支援員の研修実施状況のとおり）

第 1 回	第 2 回（オンライン開催）	計 2 回
52 名	49 名	101 名

- ② 生活支援員研修会の開催（詳細 7 専門員・生活支援員の研修実施状況のとおり）

新任	継続	計 2 回
21 名	48 名	69 名

- (3) 契約締結審査会の開催 12 回（毎月 1 回）（詳細 6 契約締結審査会の開催状況のとおり）

#### (4) 委託先への支援

- ① 現地支援

・現地支援 10 か所

期 日	市町村社協名
8 月 8 日	高野町
8 月 10 日	日高町
8 月 24 日	由良町
9 月 1 日	みなべ町
9 月 7 日	那智勝浦町
9 月 8 日	太地町

9月21日	紀の川市
9月28日	紀美野町
9月29日	岩出市
10月4日	紀の川市

・現地支援への同行 4か所

期日	市町村社協名
10月5日	みなべ町
10月12日	岩出市
10月19日	紀の川市
10月31日	紀美野町

② 福祉サービス利用援助事業から成年後見制度への円滑な移行促進

・令和5年度移行者数 32人（実利用者数の約4%）

## 2 成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組促進への協力

### (1) 成年後見制度利用促進に関する研修会等の開催

#### ① 成年後見制度利用の促進

##### ア 社会福祉法人等への成年後見制度出前講座の開催

成年後見制度の利用促進を図るため社会福祉法人等へ出向き、制度概要の説明を行った。（実施件数3か所）

##### イ 和歌山県成年後見制度利用促進協議会の開催

成年後見制度の利用の促進に関する法律第12条第1項に規定する成年後見制度利用促進基本計画に基づき、成年後見制度の利用の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県内における取組成年後見制度の利用を促進するための取組方針並びに市町村及び市町村社会福祉協議会への支援を検討し、地域福祉の発展・向上を目指すことを目的として開催した。

期日	場所	参加者	内容
7月25日	和歌山ビッグ愛	27名	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌山県成年後見制度利用促進協議会について</li> <li>取組方針の策定について</li> </ul>
10月4日	和歌山県庁	2名	<p>（事前協議）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2回協議会の進め方について</li> <li>担い手育成方針の方向性について</li> <li>成年後見制度利用促進圏域別意見交換会について</li> </ul>
11月30日	和歌山ビッグ愛（オンライン）	48名	<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手育成方針について</li> <li>共通認識の確認</li> <li>養成に向けた今年度、来年度の実施案内について</li> <li>各圏域から課題等の報告</li> <li>圏域別意見交換会アンケート結果について</li> </ul>
2月1日	和歌山ビッグ愛（オンライン）	4名	<p>（事前協議）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2回協議会の結果をふまえ、担い手育成の方向性について再協議</li> </ul>

ウ 成年後見制度利用促進に向けた体制整備研修会の開催

期日	場所	参加者	内容
8月4日	和歌山ビッグ愛 (オンライン)	57名	講義「第2期成年後見制度利用促進基本計画の概要」 講師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進室 行政説明：「和歌山県における成年後見制度利用促進の現状」 説明：和歌山県福祉保健総務課 講義「家庭裁判所の役割と中核機関との関わりについて」 講師：和歌山家庭裁判所 裁判所書記官 中原 俊 氏

エ 成年後見制度市町村長申立て研修会の開催

期日	場所	参加者	内容
8月4日	和歌山ビッグ愛 (オンライン)	52名	講義「市町村長申立の意義と申立てに係る必要書類について」 講師：弁護士 太田 達也 氏（ふたば法律事務所） 講義「市町村長申立に係る留意事項について」 講師：和歌山家庭裁判所 裁判所書記官 大西 優美香 氏 講義「市町村長申立てにかかる実務について」 講師：白浜町 民生課 地域包括支援センター 社会福祉士 羽根 一誠 氏

オ 成年後見制度利用促進にかかるアドバイザー派遣事業への協力

成年後見制度利用促進にあたり、中核機関の立ち上げや圏域単位での仕組みづくりなど、管内市町村の体制整備に関するアドバイザー、市町村等からの支援困難事案や後見人等に関する苦情等の相談に対して権利擁護支援に関する総合的な助言を行う専門的支援アドバイザーを派遣する体制を整えたが、派遣実績はなし。

② 県成年後見センターの機能整理と運営

ア 相談支援 78件

イ 成年後見支援センター運営委員会の開催

期日	場所	参加者	内容
3月4日	和歌山ビッグ愛	太田 達也 弁護士 山本 美佐子 司法書士 星野 佳世子 社会福祉士	・委員長の選任 ・令和5年度事業報告 ・令和6年度事業計画（案）

ウ 法人後見実施の促進

令和5年8月、社協による法人後見の実施状況について調査を行い、成年後見制度の推進上の課題や問題点について報告を行うと共に、中核機関設置の動きと併せ、後方支援に努めた。

### 3 問題の深刻化の予防

#### (1) 福祉サービス利用援助事業に付随する困難課題対応の検討

浪費癖のケース（利用者がクレジットカードを契約し、カードや携帯決済で買い物を繰り返す等）への対応について、第1回福祉サービス利用援助事業専門員研修会にて、本会の素案を説明し、専門員と意見交換を図った。

意見交換の場	期日	参加者	内容
第1回 専門員研修	9月26・27 日	専門員 52名	意見交換 「困難課題（浪費癖のケース）」 利用者がクレジットカードを次々と契約し、生活費が足りなくなると社協へ臨時出金の依頼がある。社協以外の支援者なし。計画通りに支援できない事例の検討、好事例等の共有

#### 4 事業開始時期 平成11年10月1日

#### 5 本事業にかかる一部業務委託（担当専門員の経験年数は、令和6年1月1日現在）

対象市町村数(30市町村)		
委託先 ○担当専門員の職歴、経験年数等	事業対象 地域	事業内容
和歌山市社会福祉協議会 ○社会福祉士 ○専門員歴・1年～4年	和歌山市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員11名を配置
海南市社会福祉協議会 ○ヘルパー2級、介護支援専門員 ○専門員歴・2年～5年	海南市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員11名を配置
橋本市社会福祉協議会 ○社会福祉士 ○専門員歴・4年	橋本市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員1名を配置
有田市社会福祉協議会 ○社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1年～23年	有田市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員8名を配置 生活支援員3名を配置

御坊市社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・5年～11年	御坊市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員9名を配置
田辺市社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員 ○専門員歴・1年～21年	田辺市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員8名を配置 生活支援員22名を配置
新宮市社会福祉協議会 ○介護福祉士、保育士 ○専門員歴・1年～4年	新宮市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員3名を配置
紀の川市社会福祉協議会 ○社会福祉主事、保育士、幼稚園教諭 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士 ○専門員歴・1年～10年	紀の川市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員15名を配置
岩出市社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・19年	岩出市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員3名を配置
紀美野町社会福祉協議会 ○介護福祉士、ホームヘルパー1級、社会福祉主事 ○専門員歴・2年～18年	紀美野町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員2名を配置
かつらぎ町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・1年～4年	かつらぎ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員6名を配置
九度山町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護支援専門員 ○専門員歴・11年	九度山町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員1名を配置



高野町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・2年	高野町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置
湯浅町社会福祉協議会 ○介護支援専門員、社会福祉主事、 社会福祉士 ○専門員歴・5年～18年	湯浅町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員2名を配置
広川町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・10年～11年	広川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置
有田川町社会福祉協議会 ○介護福祉士、理学療法士、社会福 祉主事 ○専門員歴・1年～9年	有田川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員4名を配置
美浜町社会福祉協議会 ○社会福祉主事、介護福祉士 ○専門員歴・1年～4年	美浜町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置
日高町社会福祉協議会 ○介護福祉士 ○専門員歴・6年	日高町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置
由良町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・18年	由良町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員1名を配置
印南町社会福祉協議会 ○社会福祉主事、社会福祉士、介護 支援専門員 ○専門員歴・18年	印南町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置

みなべ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護支援専門員、ヘルパー2級、保育士、幼稚園教諭、社会福祉主事、防災士 ○専門員歴・1年～13年	みなべ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員4名を配置
日高川町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1年～18年	日高川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置
白浜町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1年～13年	白浜町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員5名を配置
上富田町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・3年	上富田町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置
すさみ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護福祉士 ○専門員歴・1～6年	すさみ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員2名を配置
那智勝浦町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、主任介護支援専門員 ○専門員歴・1年～18年	那智勝浦町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置
太地町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・4年～13年	太地町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置
古座川町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・6年	古座川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員3名を配置

北山村社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・1年	北山村	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員1名を配置
串本町社会福祉協議会 ○社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・2年～18年	串本町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置

## 6 契約締結審査会の開催状況

委員 (5名)	玉置・石倉法律特許事務所 石倉 誠也 氏 (弁護士) 医師 上西 禎一 氏 (医師) 和歌山県司法書士会理事 林 紀久夫 氏 (司法書士) 和歌山県社会福祉士会副会長 新野 佳世子 氏 (社会福祉士) 和歌山県福祉保健総務課副課長 岡本 雅樹 氏 (行政)
任期	令和5年10月1日～令和7年9月30日

回数	開催期日	開催場所	参加者	協議事項
第1回	4月21日	和歌山 ビッグ愛	委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規12件、解約2件) (3) 報告 (新規12件、解約8件)
第2回	5月24日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規12件、解約4件) (3) 報告 (新規1件、解約10件、その他7件)
第3回	6月21日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 審査 (解約1件) (3) 助言 (新規7件、解約1件、その他1件) (4) 報告 (新規8件、解約10件)
第4回	7月26日		委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規15件、解約6件、その他1件) (3) 報告 (新規13件、解約6件)
第5回	8月23日		委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規4件、解約3件、その他1件) (3) 報告 (新規6件、解約13件)
第6回	9月22日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 審査 (その他1件) (3) 助言 (新規20件、解約3件) (4) 報告 (新規13件、解約12件)
第7回	10月18日		委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規16件、解約2件) (3) 報告 (新規9件、解約8件)
第8回	11月29日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 審査 (その他1件) (3) 助言 (新規9件、解約2件) (4) 報告 (新規30件、解約13件)

第9回	12月20日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言(新規11件) (3) 報告(新規4件、解約6件)
第10回	1月24日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言(新規5件、解約4件、その他1件) (3) 報告(新規15件、解約9件)
第11回	2月21日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言(新規10件、解約4件、その他2件) (3) 報告(新規3件、解約11件)
第12回	3月25日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言(新規6件、解約1件、その他1件) (3) 報告(新規6件、解約7件)

## 7 専門員・生活支援員の研修実施状況

研修名	期日	開催場所	参加者	内容
生活支援員 新任研修会	6月14日 7月4日	6月14日 和歌山ビッグ愛 7月4日 田辺市民総合センター	生活支援員 21名 専門員 20名	(1) 「福祉サービス利用援助事業・生活支援員の業務について」 (2) 「先輩生活支援員に学ぶ」 講師 紀の川市社会福祉協議会生活支援員 飯高 厚子 氏 白浜町社会福祉協議会生活支援員 黒田 尚男 氏
生活支援員 継続研修会	1月23日 1月30日	1月23日 田辺市民総合センター 1月30日 和歌山ビッグ愛	生活支援員 48名 専門員 18名	【講義】 「利用者の意思決定支援～本人の気持ちを聞き取る工夫について～」 講師 社会福祉士 三林 達哉 氏
第1回 専門員 研修会	9月26日 9月27日	9月26日 和歌山ビッグ愛 9月27日 田辺市民総合センター	専門員 52名	【事例検討】 福祉サービス利用援助事業における支援困難ケースについての事例検討  【事業説明】 (1) 委託金について (2) 運営監視合議体現地調査について (3) ブロック別専門員研修会について (4) 不詳事故予防の徹底について (5) システム改修について (6) 成年後見制度への移行について (7) 成年後見制度利用促進について (8) その他
第2回 専門員 研修会	2月22日	和歌山ビッグ愛 (オンライン)	専門員 44名 担当職員 5名	【講義】 「利用者支援について」 講師 紀美野町社会福祉協議会 専門員 横出 明美 氏 紀の川市社会福祉協議会 専門員 武田 章友 氏  【事業説明】 (1) 預かり書類の返却について (2) システム改修について (3) R6 委託金について (4) 運営監視合議体現地調査について (5) 不詳事故予防の徹底について (6) その他

## 8 広報・啓発実施状況

### (1) 広報活動等

- ・事業周知のための広報活動として、『福祉わかやま』に記事を掲載した。
- ・本会ホームページに月次集計を掲載した。
- ・パンフレットを県の関係課・振興局、各市町村、各市町村社会福祉協議会、関係機関等に配布した。

### (2) 会議等での事業説明

期 日	会議名	場 所
2月28日	新任民生委員・児童委員研修会	和歌山市

### (3) その他会議等への参加

期 日	会議名	場 所
4月27日	第1回成年後見制度利用促進都道府県交流会	オンライン会議
5月19日	第1回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山市役所
5月24日	第1回成年後見専門職団体協議会	和歌山弁護士会館
6月13日	日常生活自立支援事業部・課・所長会議	オンライン会議
6月16日	第2回和歌山市成年後見制度利用促進会議	あいあいセンター
7月12日	第3回成年後見制度利用促進都道府県交流会	オンライン会議
8月23日	成年後見制度法人後見についての講習会	あいあいセンター
9月15日	第3回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山市役所
10月20日	第4回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
10月25日	きのくに21「地域で支え合う高齢社会」取材対応	和歌山ビッグ愛
11月8日	第7回成年後見制度利用促進都道府県交流会	オンライン会議
11月10日	和歌山県認知症疾患医療連携協議会	オンライン会議
11月16日	成年後見に係る意見交換会	和歌山県庁
11月17日	第5回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
12月6日	「持続可能な権利擁護支援モデル事業」研修	オンライン研修
12月15日	第6回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
1月10日	第8回成年後見制度利用促進都道府県交流会	オンライン会議
1月18日	「持続可能な権利擁護支援モデル事業」研修	オンライン研修
1月19日	第7回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
1月22日	家事関係機関との連絡協議会	オンライン会議
1月25日	三士会専門職会議	弁護士会館
2月2日	成年後見制度利用促進に係る近畿府県情報交流会	オンライン会議
2月5日	成年後見制度利用促進に係る意見交換会（中核機関未設置）	田辺商工会議所
2月6日	福祉サービス利用援助事業生活支援員養成講座	和歌山市社協
3月7日	法人後見等情報交換会	田辺市民総合センター
3月15日	第9回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
3月21日	日常生活自立支援事業・成年後見制度担当者会議	オンライン会議

表1 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和5年度)

(単位：人)

社協名	令和5年度新規契約者数								事業開始からの累計					実利用者数
	高齢者	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計	左の内訳			高齢者	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計	
						一般	利用料全免	利用料半額除						
和歌山市	15	4	9	2	30	2	22	6	230	69	97	15	411	131
海南市	4	1	2	0	7	3	3	1	98	25	47	9	179	55
橋本市	0	0	1	1	2	0	1	1	42	4	5	2	53	10
有田市	3	2	1	0	6	0	2	4	70	18	24	4	116	34
御坊市	2	0	1	0	3	0	0	3	41	21	24	0	86	29
田辺市	19	4	2	0	25	9	9	7	183	54	55	5	297	106
新宮市	4	0	0	0	4	1	1	2	72	22	8	5	107	19
紀の川市	6	3	5	0	14	2	4	8	57	46	20	7	130	51
岩出市	0	1	0	0	1	0	0	1	17	12	11	5	45	14
紀美野町	0	0	2	1	3	0	2	1	34	6	34	4	78	21
かつらぎ町	4	0	0	0	4	1	0	3	40	7	10	2	59	28
九度山町	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	3	0	17	2
高野町	1	0	1	0	2	1	0	1	4	0	1	0	5	3
湯浅町	2	0	0	0	2	0	0	2	21	5	13	1	40	16
広川町	2	1	0	0	3	1	1	1	24	5	9	2	40	19
有田川町	5	1	3	0	9	2	3	4	99	15	45	6	165	31
美浜町	2	0	0	0	2	1	0	1	12	1	4	0	17	8
日高町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	1
由良町	0	1	0	1	2	0	2	0	15	9	2	1	27	4
印南町	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	10	5
みなべ町	1	0	1	0	2	0	0	2	39	7	19	3	68	20
日高川町	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	3	1	17	4
白浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	64	16	24	7	111	29
上富田町	0	0	0	1	1	0	0	1	12	13	9	3	37	16
すさみ町	3	0	0	0	3	1	2	0	33	6	10	1	50	15
那智勝浦町	1	0	0	0	1	0	0	1	34	13	7	0	54	11
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	4	1
古座川町	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	3	0	12	5
北山村	1	0	0	0	1	0	0	1	10	0	0	0	10	3
串本町	1	0	0	0	1	0	0	1	81	16	24	4	125	25
合計	76	18	28	6	128	24	52	52	1,373	397	516	87	2,373	716
解約	74	19	23	4	120				解約者数内訳	1,124	177	302	54	1,657
増減	2	▲1	5	2	8				実利用者数内訳	249	220	214	33	716

表2 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和5年度)  
(相談対象者件数)

社協名	令和5年度累計				
	高齢者	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
和歌山市	46	11	21	15	93
海南市	11	1	3	0	15
橋本市	8	2	5	0	15
有田市	2	2	2	1	7
御坊市	1	0	1	0	2
田辺市	20	5	2	0	27
新宮市	7	0	0	0	7
紀の川市	4	4	2	0	10
岩出市	1	0	0	0	1
紀美野町	1	0	4	0	5
かつらぎ町	2	0	0	0	2
九度山町	3	1	0	0	4
高野町	1	0	1	0	2
湯浅町	3	0	2	0	5
広川町	3	0	0	0	3
有田川町	13	1	6	0	20
美浜町	3	0	3	0	6
日高町	2	1	0	0	3
由良町	0	1	0	1	2
印南町	0	0	0	0	0
みなべ町	2	0	2	0	4
日高川町	0	0	0	0	0
白浜町	1	0	0	0	1
上富田町	0	0	0	1	1
すさみ町	3	0	0	0	3
那智勝浦町	7	2	1	1	11
太地町	0	0	0	0	0
古座川町	0	0	0	0	0
北山村	1	0	0	0	1
串本町	4	0	0	0	4
合計	149	31	55	19	254

表3 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和5年度)  
(相談内容別件数)

社 協 名	令和5年度累計											
	サービス 利用 手続	手続 援助	金銭 管理	書類等 預かり	保健 手続き	医療	苦情	生活 設計	本事業 問合せ	成年 後見	その他	合計
和歌山市	66	67	95	62	0	1	0	0	1	0	0	292
海南市	11	11	14	11	1	1	0	0	1	0	0	50
橋本市	3	7	15	9	0	0	0	10	14	2	1	61
有田市	7	7	7	6	0	0	0	0	0	0	0	27
御坊市	2	2	2	2	0	0	0	2	2	0	0	12
田辺市	12	18	26	18	0	0	0	9	13	2	0	98
新宮市	1	2	6	1	0	0	0	2	6	0	0	18
紀の川市	1	4	10	3	0	0	0	3	6	2	0	29
岩出市	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
紀美野町	4	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	17
かつらぎ町	1	2	2	2	0	0	0	1	1	0	0	9
九度山町	0	0	3	0	0	0	0	3	4	1	0	11
高野町	2	2	2	2	0	0	0	0	1	0	0	9
湯浅町	4	4	5	4	0	0	0	0	2	0	0	19
広川町	2	3	2	2	0	0	0	1	0	0	0	10
有田川町	17	17	19	17	0	0	0	2	0	1	0	73
美浜町	4	1	1	1	0	0	0	3	5	0	0	15
日高町	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	0	5
由良町	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
印南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなべ町	1	2	4	2	0	0	0	2	2	0	1	14
日高川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白浜町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
上富田町	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
すさみ町	0	0	3	1	0	0	0	2	0	0	0	6
那智勝浦町	1	1	11	5	0	0	0	0	3	0	0	21
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古座川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北山村	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
串本町	3	4	4	3	0	0	0	2	2	0	0	18
合 計	147	162	244	161	1	2	0	42	64	8	2	833



《地域福祉部・生活資金班・生活福祉資金等貸付事業関係》

1 特例貸付借受世帯等に対する生活支援及び適正な債権管理

(1) 特例貸付の実施

① 特例貸付の実施

令和2年3月25日から申請受付を開始、当初は令和2年7月末までの受付期間であったが、受付期間の延長が繰り返され、令和4年9月末をもって終了した。

なお、延長貸付は令和3年6月末、再貸付は令和3年12月末で受付終了。

ア. 特例貸付状況（詳細は表2-2）

緊急小口資金 11,150 件 (2,021,961,000 円)  
総合支援資金 20,893 件 (10,985,028,500 円)

(2) 生活支援を含む適正な債権管理の実施

① 償還免除手続きの実施

借受人に対して償還免除手続きの案内を行い、市町村社協を通じて免除申請を受け付け、審査の結果を借受人に対して通知した。

ア. 年度別償還免除決定状況（詳細は表2-3）

	非課税免除 (※1)	任意免除 (※2)	計
令和4年度	9,527 件	485 件	10,012 件
令和5年度	3,751 件	457 件	4,208 件
計	13,278 件	942 件	14,220 件

(※1) 年度別判定免除、及び次年度非課税免除

(※2) 死亡、自己破産、生活保護受給、重度障害等

② 償還開始手続きの実施

10月27日に、償還免除とならなかった借受人に対して償還開始のお知らせを通知した。

緊急小口資金	総合支援資金	合計
380 件	3,120 件	3,500 件

③ 償還開始後の償還指導

ア. 償還猶予決定状況

随時、借受人からの申し出により、市町村社協を通じて猶予申請を受け付け、審査の結果を借受人に対して通知した。

緊急小口資金	総合支援資金	合計
460 件	642 件	1,102 件

イ. 償還督促通知状況

11月24日に、10月末時点で3か月連続滞納者あて通知した。

緊急小口資金	総合支援資金	合計
1,476 件	1,300 件	2,776 件

④ 特例貸付債権管理（体制強化）にかかる市町村社協への説明

- ・4月17日 田辺市社協、日高町社協
- ・4月21日 御坊市社協、由良町社協、印南町社協
- ・4月26日 紀の川市社協、高野町社協
- ・5月1日 新宮市社協、みなべ町社協

⑤ 会議への参加

期 日	場 所	内 容
4月20日	オンライン	「コロナ特例貸付にかかる償還猶予後の償還免除に関する部・課・所長会議」に2名が参加した。
5月15～16日	東京都	「都道府県・指定都市社協部・課・所長会議」に1名が参加した。
6月23日	オンライン	次年度以降非課税免除に関する説明会に1名が参加した。
7月24～25日	東京都	全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会に1名が参加した。
9月14日	オンライン	「第1回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に2名が参加した。
11月11日 12日、18日	オンライン	第10回生活困窮者自立支援全国研究交流大会に2名が参加した。
11月30日	オンライン	「都道府県社協生活福祉資金担当部・課・所長会議（11月臨時）償還猶予に関する説明」に2名が参加した。
1月22日	オンライン	第2回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に2名が参加した。
1月24日	オンライン	「近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に3名が参加した。（被災地支援の報告）
3月15日	京都府	第3回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議に1名が参加した。

⑥ その他

生活福祉資金アセスメントシートシステムの改修、運用を実施した。

2 生活福祉資金等貸付事業の効果的な運営（適正な貸付け・債権管理）

平成20年度第1回理事会（平成20年5月29日）で確認した次の方針による取組を継続しているが、新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付の債権管理業務が煩雑となっている。

(1) 貸付段階	(2) 償還指導	(3) 不良債権
貸付のみでなく、他の支援施策検討等、相談支援を行う。	声掛け、償還方法変更を含む償還強化。状況に応じ法的措置も実施。	不良債権を個々に精査交渉し、その整理を実施する。

(1) 貸付段階

① 貸付審査等運営委員会

生活福祉資金貸付審査等運営委員会（以下、「運営委員会」という。）（委員11名）を設置した。運営委員会は貸付けの決定等に関する審査を行い、本会会長に意見具申した。開催状況は、表1のとおり。

② 貸付申込みの審査

会長専決を含め、貸付決定は、表2-1のとおり141件（109,062,747円）。

③ 窓口対応にかかる市町村社協及び民生委員の支援

ア 相談窓口である市町村社協への支援

a 生活福祉資金貸付事業担当者会議の開催

	期 日	場 所	参加者数	内 容
第 1 回	5 月 12 日	オンライン	5 2 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特例貸付債権管理の現状報告と今年度の流れの確認等について</li> <li>・特例貸付債権管理事務費にかかる執行の考え方と体制強化等について</li> <li>・その他</li> </ul>
第 2 回	10 月 20 日	オンライン	4 9 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活福祉資金の債権管理の現状報告</li> <li>・債権管理における今後の流れの確認等</li> <li>・特例貸付債権管理事務費の活用並びに体制強化等</li> <li>・生活福祉資金貸付事業予算の動向等</li> </ul>

※11 月 15 日 欠席社協等への説明 田辺市社協、白浜町社協

b 生活困窮者への相談支援強化研修会の開催

	期 日	場 所	参加者数	内 容
第 1 回	5 月 19 日	和歌山市	29 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の変遷</li> <li>・サイレントプア(第 1~4 回)鑑賞・協議</li> </ul>
第 2 回	7 月 20 日	和歌山市	19 人	
第 3 回	8 月 30 日	印南町	12 人	
第 4 回	9 月 25 日	和歌山市	14 人	

※9 月 22 日 第 3 回の内容を 和歌山市社協向けに実施

c 「有田地方社協連絡協議会職員研修」への派遣

期 日	場 所	参加者数	内 容
4 月 13 日	有田市	2 5 人	・特例貸付債権管理等についての説明、意見交換

d 「生活福祉資金貸付事業研修」への派遣

期 日	場 所	参加者数	内 容
9 月 22 日	和歌山市	2 9 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者への相談支援強化研修会</li> <li>・特例貸付の借受人を含む生活困窮者への支援の進め方</li> </ul>

e 和歌山市社協主催の生活福祉資金貸付事業に関する会議等への参加

期 日	参加者数	内 容
1 月 9 日	13 人	生活福祉資金貸付事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>・特例貸付フォローアップ支援等の進捗状況の確認について</li> <li>・業務における共有事項 等</li> </ul>
1 月 29 日	12 人	
2 月 20 日	12 人	
3 月 11 日	10 人	

イ 民生委員定例会等への派遣

期 日	場 所	内 容
2 月 28 日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会」で制度の概要を説明

ウ 窓口対応の相談にかかる市町村社協及び民生委員支援パンフレットを、市町村社協等に対して配布した。

④ 住民及び関係機関への貸付事業周知・広報

ア 広報紙への掲載

市町村社協が実践する相談支援を周知するため、福祉わかやま (not alone) で4社協の取組を紹介するとともに、12月号では借受人への取材をもとに特集記事を掲載した。

not alone 及び特集記事については、全社協 news file にて紹介された。

イ リーフレットの配布

教育支援資金のチラシを、県教育委員会を通じ県内の中学校、高校等へ配布した。

⑤ 生活困窮者自立支援法に関する対応

ア 会議・研修等への参加

期 日	場 所	内 容
5月30日	和歌山市	「県自立相談支援員（郡部）勉強会・意見交換会」に3名が参加

⑥ 関係機関との連携

ア 会議等への参加

期 日	場 所	内 容
7月6日	和歌山市	第二次和歌山県再犯防止推進計画検討会、懇話会に1名が参加した。
7月27日	和歌山市	令和5年度和歌山県居住支援協議会（第3回）に1名が参加した。
9月29日	和歌山市	第2回第二次和歌山県再犯防止推進計画検討会、懇話会に1名が参加した。
11月7日	和歌山市	和歌山市自立相談支援機関との協議に3名が参加した。
1月30日	和歌山市	「医療に関する協議会」に1名が参加した。
3月21日	和歌山市	「令和5年度和歌山県居住支援協議会総会」に2名が参加した。

(2) 償還指導

① 借受世帯の自立支援

ア 民生委員との連携

借受世帯の担当民生委員の「借受世帯支援記録票」の整備状況を取りまとめ、全国社会福祉協議会に報告した。

イ 滞納初期段階での状況確認

借受世帯の償還指導及び支援に活用するため、市町村社会福祉協議会に償還月次報告書等の帳票を送付した。

② 生活福祉資金債務世帯等の自立支援の強化の実施

令和2年度から継続して「生活福祉資金債務世帯等の自立支援の強化」を実施し、債務者等に対する相談支援の強化を行い、債務者等の生活の安定を目指し、ひいては、償還履行者率の向上を図ることを目的として、和歌山市社会福祉協議会、田辺市社会福祉協議会へ委託し実施した。

(3) 不良債権への対応

① 償還督促等の実施

ア 督促状の送付

償還計画から1か月以上または1回以上滞納している借受人、連帯借受人、連帯保証人等に、督促状（6月、12月の年2回）を送付した。

イ 滞納世帯への個別調査等の強化

計画に基づく償還がなかった借受世帯について、市町村社協に対し償還督促等を依頼し、その状況について、「償還督促状況連絡票」による報告を求めた。

ウ 個別督促の実施等

債務者や取扱い市町村社協、担当民生委員から償還についての相談を随時受け付け、督促等の個別協議、同行支援を行った。また、必要に応じ、就労支援、福祉サービス利用支援等を行った。

国会独自の指標として「e 償還履行者率」を設け、生活状況に応じた返済を促した。

※償還履行者率：償還対象件数に対して、金額に関係なく償還された件数の割合（不動産担保型生活資金除く）。

- a 県社協が現地に出向いての償還督促(生活支援)件数：6件
- b 債務確認件数：46件
- c 償還相談：1098件
- d 通常貸付の償還完了(償還免除を含む)：90件
- e 償還履行者率：通常貸付61.0%、特例貸付51.2%

エ 転居先追跡（住民票調査等）

届出なく転居された行方不明者について、当該市町村への住民票等の請求を行い、転居先の追跡を行った（通常127件、特例貸付971件）。

オ 自己破産・免責手続等への対応

弁護士等からの債権調査への回答を行った（計105人分、286件）。

② 精査交渉を重ねたうえで、次の不良債権を運営委員会に諮り整理した。

	件数	金額
① 元金（及び利子）の支払免除	25	4,973,927円（元金）

③ 不動産担保型生活資金の償還滞納債権への対応

- ・推定相続人が任意売却を行い償還完了となった。（要保護1件）
- ・相続財産清算人（弁護士）が、売却手続き中。（一般1件）

(4) その他

① 会議等への参加

期 日	場 所	内 容
6月21日	オンライン	「第1回生活福祉資金貸付事業オンライン情報交換会」に1名が参加した。
6月23日	オンライン	「次年度以降非課税免除に関する説明会」に1名が参加した。
8月21日	オンライン	「第2回生活福祉資金貸付事業オンライン情報交換会」に1名が参加した。
10月3日	オンライン	「2024年度以降の保守契約に関する説明会」に2名が参加した。
10月24日	東京都	「全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会」に2名が参加した。
10月30日	オンライン	「第3回生活福祉資金貸付事業オンライン情報交換会」に1名が参加した。

11月10日	オンライン	「猶予後免除の入力&市区町村社協連携システム3次導入に関する説明会」に1名が参加した。
2月15日	オンライン	「Infocage FileShell 導入説明会」に3名が参加した。
3月13日	オンライン	「第4回生活福祉資金貸付事業オンライン情報交換会」に1名が参加した。
3月19日	オンライン	「生活福祉資金業務システム運営委員会」に1名が参加した。

② 県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会（生活課題への取組）への参画

	期 日	場 所	参加者数	内 容
第1回	5月19日	和歌山市	21人 (15社協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座長決定</li> <li>・状況確認と課題提起</li> <li>・検討会のゴール（目標）設定</li> </ul>
第2回	7月20日	和歌山市	19人 (11社協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの振り返り</li> <li>・共有課題の確認と共有</li> <li>・検討会の目標設定</li> <li>・ワークを通じた検討</li> </ul>
第3回	8月30日	印南町	24人 (16社協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの振り返り</li> <li>・人口支援の課題への対応（事例検討）</li> <li>・第3回までのまとめ</li> </ul>
第4回	9月25日	和歌山市	23人 (16社協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの振り返り</li> <li>・相談支援における課題への対応</li> <li>・検討会 追加開催の提案</li> <li>・「生活困窮者への緊急支援活動助成（中央共同募金会）」の活用について</li> </ul>
第5回	11月27日	和歌山市	14人 (12社協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの振り返り</li> <li>・生活支援メニューのレシピ集の作成</li> <li>・初回相談聞き取りアセスメントシートの作成</li> </ul>
第6回	1月19日	和歌山市	12人 (10社協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの振り返り</li> <li>・生活支援メニューのレシピ集の作成</li> <li>・まとめ</li> </ul>

### 3 臨時特例つなぎ資金貸付制度の運用

(1) 新規の貸付申請は1件。

(2) 債権管理を行った（詳細は別表14～15）。

(備考) 国の臨時特例つなぎ資金貸付制度要綱に基づき、住居のない離職者に対し、公的給付または公的貸付の交付を受けるまでの当面の生活費を貸し付けることにより、自立を支援する生活福祉資金貸付事業とは枠外の事業として、平成21年10月から実施している。

≪地域福祉部・生活資金班・福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業関係≫

1 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の広報啓発及び適正な貸付の実施

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業

返還免除付きの貸付を行うことで、介護人材の確保を図った。また、ホームページ、広報紙（福祉わかやま）への掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 介護福祉士修学資金

ア 貸付対象等

介護福祉士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：5年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和5年3月8日から4月24日まで（令和5年度入学予定者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
①介護福祉士修学資金 (令和5年度入学予定者)	修学資金	53	62,838,864
	入学準備金	53	10,420,000
	就職準備金	53	10,420,000
	国家試験対策費	53	4,240,000
	生活費加算	0	0
合計		53	87,918,864

※「件数」の合計は、人数

② 福祉系高校修学資金

ア 貸付対象等

福祉系高校に在学する方に、修学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：3年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和5年4月11日から5月31日まで（令和5年度在学者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
福祉系高校修学資金	修学準備金	6	180,000
	介護実習費	6	540,000
	国家試験対策費	6	720,000
	就職準備金	6	1,200,000
合計		6	2,640,000

※「件数」の合計は、人数

③ 福祉系高校修学資金返還充当資金

ア 貸付対象等

福祉系高校修学資金の借受人が、卒業後に県内において障害福祉分野等の業務に従事した場合、福祉系高校修学資金返還のための充当資金として貸し付ける。（免除要件：3年間障害福祉等の業務に従事すること）。

イ 貸付決定 0件

④ 介護福祉士実務者研修受講資金

ア 貸付対象等

介護福祉士実務者養成施設に在学する方に、実務者研修受講資金を貸し付ける（免除要件：2年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

- ・第1期 令和5年4月24日から5月31日まで
- ・第2期 令和5年7月3日から8月31日まで
- ・第3期 令和5年10月2日から11月30日まで
- ・第4期 令和6年1月4日から2月29日まで

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額 (円)
介護福祉士実務者研修受講資金	第1期	20	3,770,000
	第2期	51	8,293,085
	第3期	18	3,396,800
	第4期	9	1,477,000
計		98	16,936,885

⑤ 介護人材再就職準備金

ア 貸付対象等

離職している介護人材のうち一定の経験を有する方に、再就職のための準備金を貸し付ける（免除要件：2年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和5年4月24日から令和6年3月29日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額 (円)
介護人材再就職準備金	3	1,200,000

⑥ 介護分野就職支援金

ア 貸付対象等

他の業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、県内の介護施設・事業所に就職する際の費用を貸し付ける（免除要件：2年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和5年4月24日から令和6年3月29日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額 (円)
介護分野就職支援金	9	1,800,000

⑦ 障害福祉分野就職支援金

ア 貸付対象等

他の業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、県内の障害福祉サービスの業務に従事する際の費用を貸し付ける（免除要件：2年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和5年4月24日から令和6年3月29日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額 (円)
障害福祉分野就職支援金	1	200,000

⑧ 社会福祉士修学資金

ア 貸付対象等

社会福祉士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金、就職準備金及び生活費加算を貸し付ける（免除要件：5年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集



令和5年3月8日から4月24日まで (令和5年度入学予定者対象)

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額 (円)
① 社会福祉士修学資金 (令和5年度入学予定者)	修学資金	2	1,014,000
	入学準備金	1	200,000
	就職準備金	1	200,000
	生活費加算	0	0
合計		2	1,414,000

※「件数」の合計は、人数

(2) 保育士修学資金貸付等事業

返還免除付きの貸付を行うことで、保育人材の確保を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 保育士修学資金

ア 貸付対象等

保育士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金及び就職準備金等を貸し付ける(免除要件：5年間保育士として業務に従事すること)。

イ 募集

令和5年5月25日から7月20日まで (令和5年度在学者対象)

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額 (円)
保育士修学資金	修学資金	48	55,199,952
	入学準備金	39	7,650,000
	就職準備金	45	8,996,000
	生活費加算	0	0
合計		48	71,845,952

※「件数」の合計は、人数

② 保育補助者雇上費貸付

ア 貸付対象等

保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に、保育士資格を持たない保育補助者の雇上費用を貸し付ける(免除要件：貸付期間中に保育士資格を取得すること)。

イ 募集

令和5年5月25日から令和6年3月29日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額 (円)
保育補助者雇上費貸付	0	0

③ 未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付

ア 貸付対象等

未就学児を持つ潜在保育士で、新たに保育所等に勤務する方に、子どもの保育料の一部を貸し付ける(免除要件：2年間保育士として業務に従事すること)。

イ 募集

令和5年5月25日から令和6年3月29日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額 (円)
未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付	5	887,700

④ 保育士就職準備金

ア 貸付対象等

新たに保育所等に勤務する方に、就職のための準備金を貸し付ける（免除要件：2年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和5年5月25日から令和6年3月29日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
保育士就職準備金	3	1,200,000

⑤ 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金一部貸付

ア 貸付対象等

未就学児を持つ潜在保育士が、保育所等で勤務する際の子どもの預かり支援事業利用料金の一部を貸し付ける（免除要件：2年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和5年5月25日から令和6年3月29日まで

ウ 貸付決定 0件

**(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業**

高等職業訓練機関在学者に入学準備金及び就職準備金の返還免除付き貸付を行うことで、ひとり親家庭の親の自立促進を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

ア 貸付対象等

ひとり親家庭の親で、高等職業訓練促進給付金の支給対象である方に、高等職業訓練機関への入学に要する費用及び取得した資格を活かした就職に要する費用を貸し付ける（免除要件：5年間資格を活かした職に従事すること）。

イ 募集

令和5年5月1日から5月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	入学準備金	12	4,402,814
	就職準備金	1	189,834
合計		13	4,592,648

② ひとり親家庭住宅支援資金

ア 貸付対象等

原則、児童扶養手当の支給を受けており、母子・父子自立支援プログラムの策定を受け、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の方の家賃支援として貸し付ける（免除要件：貸付を受けた日から1年以内に就職、転職等して1年間就業を継続すること）。

イ 募集

令和5年6月1日から令和6年3月29日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
ひとり親家庭住宅支援資金	7	3,360,000

**(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業**

児童養護施設退所者等に生活費、家賃支援費及び資格取得費用の返還免除付き貸付を行うこ

とで、円滑な自立支援を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

ア 貸付対象等

- ・ 大学等への進学により児童養護施設等を退所した方で、安定した生活基盤の確保が困難である方（以下「進学者」という。）に、家賃相当額及び生活費を貸し付ける。（免除要件：5年間就業を継続すること）
- ・ 就職により児童養護施設等を退所した方で、安定した生活基盤の確保が困難である方（以下「就職者」という。）に、家賃相当額及び生活費（生活費は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける者のみ）を貸し付ける。（免除要件：5年間就業を継続すること）
- ・ 児童養護施設等入所者で、就職に必要な資格取得を希望する方（以下「資格取得希望者」という。）に、資格取得費用を貸し付ける。（免除要件：2年間就業を継続すること）

イ 募集

対 象	募集期限
進学者、就職者	3月20日
資格取得希望者	3月20日

ウ 貸付決定

資金種類			件数	金額（円）
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金	進学者	生活支援費	0	0
		家賃支援費	0	0
		小計	0	0
	就職者	家賃支援費	0	0
		小計	0	0
	資格取得希望者			11
合計			11	2,738,500

※「件数」の合計は、人数

## 2 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の適正な債権管理の実施

借受人からの申請に基づき、返還免除及び返還手続きを行った。

### (1) 介護福祉士修学資金等貸付事業

	免除決定				返還完了 件数
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	
ア 介護福祉士修学資金	5件	8,200,000円	-	-	2件
イ 福祉系高校修学資金	-	-	-	-	-
ウ 福祉系高校修学資金返還充当資金	-	-	-	-	-
エ 介護福祉士実務者研修受講資金	79件	13,131,317円	-	-	25件
オ 介護人材再就職準備金	8件	3,000,000円	-	-	2件
カ 介護分野就職支援金	1件	200,000円	-	-	1件
キ 障害福祉分野就職支援金	2件	400,000円	-	-	-
ク 社会福祉士修学資金	-	-	-	-	-

## (2) 保育士修学資金貸付等事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア 保育士修学資金	16 件	22,000,000 円	-	-	6 件
イ 保育補助者雇上費貸付	1 件	2,952,896 円	-	-	-
ウ 未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付	2 件	309,750 円	-	-	-
エ 保育士就職準備金	1 件	400,000 円	-	-	-
オ 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料一部貸付	-	-	-	-	-

## (3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	1 件	500,000 円	-	-	2 件
イ ひとり親家庭住宅支援資金	2 件	823,200 円	-	-	-

## (4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業	6 件	2,232,700 円	-	-	1 件

## 3 運営委員会の開催

それぞれの貸付事業に運営委員会（委員各5名）を設置した。運営委員会は貸付の決定等に関する審査を行い、本会会長に意見具申した。各運営委員会及び開催状況は、次のとおり。

### (1) 介護福祉士修学資金等貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	6 月 (書面表決)	61	61	41	41	・ 介護福祉士修学資金等貸付について（審査） （介護福祉士修学資金、社会福祉士修学資金、福祉系高校修学資金） ・ 貸付金の返還免除について（審査）
2	10 月	0	0	21	21	・ 貸付金の返還免除について（審査）
3	2 月 (書面表決)	0	0	33	33	・ 貸付金の返還免除について（審査）

### (2) 保育士修学資金等貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	6 月 (書面表決)	0	0	10	10	・ 貸付金の返還免除について（審査）
2	8 月 (書面表決)	48	48	6	6	・ 保育士修学資金貸付について（審査） ・ 貸付金の返還免除について（審査）
3	10 月	0	0	1	1	・ 貸付金の返還免除について（審査）
4	2 月 (書面表決)	0	0	3	3	・ 貸付金の返還免除について（審査）

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	6月 (書面表決)	0	0	1	1	・貸付金の返還免除について(審査)
2	10月	0	0	1	1	・貸付金の返還免除について(審査)
3	2月 (書面表決)	0	0	1	1	・貸付金の返還免除について(審査)

(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		貸付額変更件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	申込	決定	
1	6月 (書面表決)	0	0	0	0	4	4	・貸付金の返還免除について(審査)
2	10月	0	0	0	0	2	2	・貸付金の返還免除について(審査)

4 その他

(1) 会議への参加

期 日	場 所	内 容
12月7日	オンライン	「近畿ブロック介護福祉士修学資金担当の意見交換会」に3名が参加した。
1月24日	オンライン	「新たな貸付事業担当職員連絡会議(介護・保育)」に3名が参加した。
1月25日	オンライン	「新たな貸付事業担当職員連絡会議(ひとり親・児童養護)」に3名が参加した。

(2) 広報活動

期 日	場 所	内 容
7月3日	県子ども・女性・障害者相談センター	「県児童福祉施設連絡協議会 令和5年度総務・施設長・職員研修会」に1名が参加し児童養護施設退所者等への自立支援資金貸付事業の制度説明を行った。
10月12日	ビッグ愛	「潜在保育士再就職支援研修会」に1名が参加し保育士修学資金等貸付事業の周知を行った。
2月7～8日	ホテル シーモア	「児童福祉施設連絡協議会研修会」に1名が参加し児童養護施設退所者等への自立支援資金貸付事業の制度説明を行った。

表1 生活福祉資金貸付審査等運営委員会

回数	開催日	貸付件数		償還免除件数		償還猶予件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	申込	決定	
1	令和5年10月17日	1	1	10	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長・副委員長の選任について</li> <li>・小委員会委員の選任について</li> <li>・要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付けについて（審査）</li> <li>・生活福祉資金貸付金償還免除審査について（審査）</li> <li>・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について</li> <li>・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について</li> <li>・生活福祉資金特例貸付実施状況について</li> <li>・相談状況について</li> </ul>
2	令和6年3月14日	0	0	15	15	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について</li> <li>・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について</li> <li>・生活福祉資金貸付金償還免除審査について（審査）</li> <li>・要保護世帯向け不動産担保型生活資金の償還について</li> <li>・生活福祉資金特例貸付実施状況について</li> <li>・相談状況について</li> </ul>
合計		1	1	25	25	0	0	

※会長専決で決定を行ったものを除く。

表2-1 令和5年度 生活福祉資金貸付決定件数・金額

資金名 市町村	総合支援資金			福祉資金			教育支援資金			不動産担保型生活資金			合計							
	生活支援費	住宅入居費	一時生活再建費	福祉費	緊急小口資金		教育支援費	就学支度費	不動産担保型生活資金	要保護世帯向け不動産担保型生活資金										
	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)								
和歌山市	5	796,600	0	0	3	412,170	20	13,851,814	1	100,000	10	26,644,200	10	3,070,622	0	0	0	0	49	44,875,406
海南市	0	0	0	0	0	0	1	53,000	0	0	0	0	2	900,000	0	0	0	0	3	953,000
橋本市	5	2,037,000	0	0	0	0	3	798,000	1	35,900	2	6,480,000	2	1,000,000	0	0	0	0	13	10,350,900
有田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
御坊市	3	331,500	0	0	3	183,640	1	2,500,000	0	0	1	1,603,200	2	809,290	0	0	0	0	10	5,427,630
田辺市	7	2,751,000	0	0	0	0	3	421,000	1	100,000	6	18,420,000	4	1,375,000	0	0	0	0	21	23,067,000
新宮市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀の川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	360,000	0	0	0	0	1	360,000
岩出市	7	2,490,000	0	0	1	15,944	0	0	0	0	2	3,899,600	2	974,000	0	0	1	3,247,777	13	10,627,321
紀美野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かつらぎ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九度山町	1	282,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	282,000
高野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯浅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	727,190	0	0	0	0	2	727,190
広川町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000
有田川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美浜町	0	0	0	0	0	0	1	87,140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	87,140
日高町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
由良町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	1	500,000	0	0	0	0	2	600,000
印南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなべ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,260,000	1	339,100	0	0	0	0	2	1,599,100
日高川町	1	330,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	167,923	0	0	0	0	0	2	497,923
白浜町	3	483,500	0	0	0	0	3	180,589	4	247,000	0	0	0	0	0	0	0	0	10	911,089
上富田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
すさみ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那智勝浦町	0	0	0	0	0	0	1	91,410	1	65,000	0	0	1	400,638	0	0	0	0	3	557,048
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古座川町	0	0	0	0	0	0	1	500,000	0	0	1	3,120,000	1	500,000	0	0	0	0	3	4,120,000
北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串本町	0	0	0	0	0	0	1	510,000	0	0	1	3,120,000	2	290,000	0	0	0	0	4	3,920,000
県計	32	9,501,600	0	0	7	611,754	35	18,992,953	10	747,900	24	64,547,000	32	11,413,763	0	0	1	3,247,777	141	109,062,747

表2-2 生活福祉資金(コロナ特例貸付)決定状況

2020年3月25日～2022年11月4日

社協名	資金種類										内訳									
	全体の件数			市町村社協以外			全体の金額				KA 緊急小口資金		SX 総合支援資金							
	市町村社協 (c1)	市町村社協以外		現金 (c2)	郵便局 (c3)	Web (c8)	県社協 (c9)	全体の金額	件数	金額	件数	初回貸付	延長貸付	再貸付	初回貸付	延長貸付	再貸付			
		劣金 (c2)	郵便局 (c3)															Web (c8)	県社協 (c9)	
201和歌山市	16,549	16,339	210	92	36	18	64	6,813,595,000	5,583	1,050,107,000	10,966	5,330	2,729	2,907	2,814,121,000	1,422,229,000	1,527,138,000			
202海南市	392	388	4	1	1	1	1	130,044,000	195	34,980,000	197	127	36	34	63,880,000	14,884,000	16,300,000			
203橋本市	1,875	1,865	10	7	1	0	2	756,442,200	620	111,400,000	1,255	603	297	355	316,322,200	149,810,000	178,910,000			
204有田市	859	852	7	0	0	0	7	356,271,000	307	58,846,000	552	277	98	177	151,223,000	51,368,000	94,834,000			
205御坊市	840	834	6	2	2	2	0	346,546,000	270	49,796,000	570	272	149	149	140,810,000	76,900,000	79,040,000			
206田辺市	3,318	3,302	16	5	4	2	5	1,368,113,000	1,135	199,853,000	2,183	1,092	515	576	583,740,000	275,320,000	309,200,000			
207新宮市	731	725	6	3	2	0	1	256,221,000	270	44,710,000	461	248	91	122	115,126,000	38,975,000	57,410,000			
208紀の川市	1,278	1,266	12	5	1	0	6	528,475,000	438	72,900,000	840	447	195	198	245,410,000	103,395,000	106,770,000			
209岩出市	2,068	2,047	21	8	2	3	8	849,149,000	792	147,790,000	1,276	654	270	352	358,600,000	148,524,000	194,235,000			
304紀美野町	92	91	1	1	0	0	0	35,950,000	35	6,000,000	57	28	15	14	14,050,000	8,100,000	7,800,000			
341かつらぎ町	272	270	2	1	0	1	0	103,865,000	116	21,639,000	156	77	38	41	41,156,000	19,500,000	21,570,000			
343九度山町	40	40	0	0	0	0	0	11,890,000	15	2,170,000	25	14	5	6	9,720,000	1,890,000	2,220,000			
344高野町	89	88	1	0	1	0	0	34,320,000	33	5,700,000	56	27	14	15	28,620,000	7,020,000	7,500,000			
361湯浅町	126	122	4	1	2	0	1	45,470,000	59	9,650,000	67	43	12	12	22,860,000	6,750,000	6,210,000			
362広川町	111	109	2	0	0	0	2	44,100,000	46	8,750,000	65	35	13	17	35,350,000	7,350,000	9,150,000			
366有田川町	307	305	2	1	0	1	0	127,660,000	103	16,270,000	204	104	57	43	111,390,000	31,500,000	23,700,000			
381美浜町	151	150	1	1	0	0	0	63,100,000	53	9,700,000	98	47	24	27	53,400,000	13,350,000	14,550,000			
382日高町	117	115	2	2	0	0	0	46,650,000	40	6,600,000	77	38	20	19	40,050,000	10,500,000	9,750,000			
383由良町	94	94	0	0	0	0	0	39,350,000	33	5,900,000	61	30	16	15	33,450,000	8,700,000	8,100,000			
390印南町	144	144	0	0	0	0	0	56,983,000	47	6,496,000	97	46	22	29	50,487,000	11,445,000	15,120,000			
391みなべ町	170	169	1	1	0	0	0	65,974,000	66	10,524,000	104	53	26	25	55,450,000	13,860,000	13,440,000			
392日高川町	148	146	2	0	1	0	1	58,810,000	53	8,810,000	95	47	22	26	50,000,000	11,850,000	13,950,000			
401白浜町	739	735	4	1	2	1	0	270,915,000	268	33,805,000	471	244	100	127	237,110,000	49,910,000	64,190,000			
404上富田町	402	400	2	1	0	1	0	160,850,000	139	21,300,000	263	134	60	69	139,550,000	31,050,000	36,800,000			
406すさみ町	71	71	0	0	0	0	0	25,520,000	29	4,400,000	42	20	11	11	21,120,000	5,700,000	5,310,000			
421那智勝浦町	382	373	9	3	0	0	6	135,730,000	157	26,305,000	225	115	58	52	109,425,000	26,205,000	25,810,000			
422太地町	25	25	0	0	0	0	0	9,650,000	9	1,400,000	16	6	5	5	8,250,000	2,550,000	2,550,000			
424古座川町	48	47	1	1	0	0	0	17,790,000	21	3,900,000	27	15	6	6	13,890,000	2,820,000	3,150,000			
427北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
428串本町	605	601	4	3	1	0	0	247,556,300	218	42,260,000	387	215	87	85	115,616,300	44,940,000	44,740,000			
総計	32,043	31,713	330	140	56	30	104	13,006,989,500	11,150	2,021,961,000	20,893	10,388	4,991	5,514	5,489,186,500	2,596,395,000	2,899,447,000			



令和6年3月31日

表2-3 生活福祉資金(コロナ特例貸付)償還免除状況

取扱社協	R4判定免除(R3・4非課税)			R5判定免除(R5非課税)			次年度免除(R5から非課税)			任意免除(生保、障害者手帳、死亡、自己破産等)			合計					
	緊急小口資金		総合支援資金	緊急小口資金		総合支援資金	緊急小口資金		総合支援資金	緊急小口資金		総合支援資金	件	金額(円)				
	件	金額(円)	件	金額(円)	件	金額(円)	件	金額(円)	件	金額(円)	件	金額(円)	件	金額(円)				
201 和歌山市	2,547	478,144,990	2,485	1,309,769,750	161	32,091,670	1,314	690,646,250	116	14,061,450	112	54,649,000	168	29,709,910	304	149,974,750	7,207	2,759,047,770
202 海南市	74	13,050,000	60	29,610,820	5	975,010	14	6,524,000	5	450,240	2	720,080	6	912,580	3	741,250	169	52,983,980
203 橋本市	249	44,139,800	254	130,792,050	17	3,200,000	125	62,550,000	21	2,892,190	22	11,793,750	16	2,810,000	34	16,403,500	738	274,581,290
204 有田市	182	34,560,030	168	91,939,250	11	2,200,000	62	33,138,000	7	891,870	6	3,070,000	10	1,950,020	17	9,283,500	463	177,032,670
205 御坊市	143	26,012,720	150	77,145,000	10	2,000,000	87	44,277,250	7	760,230	6	3,190,000	8	1,391,670	10	5,250,000	421	160,026,870
206 田辺市	523	89,826,130	481	259,192,500	40	7,900,000	256	138,590,000	16	1,600,720	16	7,530,000	37	6,345,910	80	41,427,500	1,449	552,412,760
207 新宮市	110	19,315,840	141	66,012,250	18	3,160,000	70	31,175,000	3	250,160	3	1,304,080	11	1,828,370	13	5,875,000	369	128,920,700
208 紀の川市	190	31,640,030	200	109,354,250	28	5,200,000	94	50,120,000	9	800,480	10	4,785,000	12	1,667,891	26	12,610,000	569	216,177,651
209 岩出市	356	66,249,500	299	165,282,750	24	4,800,000	153	84,370,000	12	1,933,520	9	4,940,000	30	4,825,110	49	25,308,750	932	357,709,630
304 紀美野町	20	3,500,000	15	7,500,000	2	400,000	12	6,300,000	0	0	1	405,000	1	183,340	2	1,042,500	53	19,330,840
341 かつらぎ町	55	10,270,870	39	19,906,250	2	400,000	20	9,570,000	3	300,120	4	1,890,000	4	600,000	6	3,450,000	133	46,387,240
343 九度山町	2	300,000	1	270,000	2	300,000	2	840,000	0	0	0	0	0	0	2	600,000	9	2,310,000
344 高野町	20	3,500,000	18	9,900,000	0	0	4	2,070,000	0	0	0	0	0	0	0	0	42	15,470,000
361 湯淺町	26	3,991,760	23	12,023,500	5	750,000	6	3,600,000	1	100,040	1	405,000	2	300,000	4	2,400,000	68	23,570,300
362 広川町	23	4,160,000	20	10,750,000	5	1,000,000	13	6,900,000	1	175,010	1	438,750	1	200,000	0	0	64	23,623,760
366 有田川町	52	8,518,370	61	33,690,000	5	500,000	38	20,400,000	1	91,680	3	1,410,000	2	391,670	2	746,250	164	65,747,970
381 美浜町	21	3,800,000	20	10,800,000	3	450,000	14	7,650,000	4	350,080	4	1,755,000	2	400,000	5	2,700,000	73	27,905,080
382 日高町	21	3,300,000	17	9,000,000	1	200,000	13	7,050,000	0	0	0	0	0	0	0	0	52	19,550,000
383 由良町	18	2,900,000	19	10,500,000	2	400,000	8	4,350,000	0	0	0	0	1	200,000	1	600,000	49	18,950,000
390 印南町	30	4,096,000	30	16,230,000	2	300,000	13	7,350,000	1	100,040	1	405,000	1	200,000	1	600,000	79	29,281,040
391 みなべ町	25	3,998,000	25	13,150,000	3	600,000	14	7,260,000	2	200,080	1	405,000	2	400,000	5	3,000,000	77	29,013,080
392 日高川町	32	5,201,680	31	16,090,000	4	800,000	14	7,650,000	1	100,040	1	405,000	2	300,000	6	3,450,000	91	33,996,720
401 白浜町	102	14,040,020	110	55,821,250	6	840,000	39	19,292,500	7	783,580	6	2,880,000	8	895,840	6	3,296,250	284	97,849,440
404 上富田町	59	8,600,000	55	29,250,000	2	400,000	25	13,945,000	3	291,760	3	1,522,500	7	883,380	9	4,597,500	163	59,490,140
406 すさみ町	15	2,000,000	10	4,860,000	2	400,000	6	3,000,000	0	0	0	0	2	300,000	0	0	35	10,560,000
421 那智勝浦町	69	11,228,750	56	27,610,000	9	1,650,000	34	15,315,000	5	546,010	4	1,951,750	4	755,840	7	3,352,500	188	62,409,850
422 太地町	4	700,000	3	1,500,000	0	0	2	1,050,000	0	0	0	0	0	0	0	0	9	3,250,000
424 古座川町	10	2,000,000	11	5,591,250	3	600,000	5	2,370,000	0	0	0	0	0	0	1	270,000	30	10,831,250
427 北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
428 串本町	88	17,025,070	87	45,908,750	1	200,000	47	23,700,000	3	300,120	2	1,080,000	6	1,200,000	6	2,700,000	240	92,113,940
合計	5,066	916,069,560	4,889	2,579,449,620	373	71,716,680	2,504	1,311,053,000	228	26,979,420	218	106,934,910	343	58,651,531	599	299,679,250	14,220	5,370,533,971
																緊急小口資金	6,010	1,073,417,191
																総合支援資金	8,210	4,297,116,780

表3 令和5年度 全体（福祉・教育・離職・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	1,325,387,795	201,840,375	15.2	90,200,096	14,549,702	16.1	1,415,587,891	216,390,077	15.3
海南市	28,331,504	10,518,724	37.1	7,759,410	739,910	9.5	36,090,914	11,258,634	31.2
橋本市	137,223,470	28,582,630	20.8	20,140,311	3,019,612	15.0	157,363,781	31,602,242	20.1
有田市	59,243,160	8,982,190	15.2	1,488,860	294,100	19.8	60,732,020	9,276,290	15.3
御坊市	69,600,555	9,570,255	13.8	3,554,680	369,270	10.4	73,155,235	9,939,525	13.6
田辺市	277,261,617	41,233,887	14.9	16,935,596	2,997,056	17.7	294,197,213	44,230,943	15.0
新宮市	53,464,480	7,738,970	14.5	3,553,532	638,050	18.0	57,018,012	8,377,020	14.7
紀の川市	96,026,320	15,648,439	16.3	8,137,308	1,175,150	14.4	104,163,628	16,823,589	16.2
岩出市	169,642,750	28,364,060	16.7	9,354,235	1,851,563	19.8	178,996,985	30,215,623	16.9
紀美野町	10,014,460	1,289,330	12.9	1,838,220	11,240	0.6	11,852,680	1,300,570	11.0
かつらぎ町	21,586,330	4,085,150	18.9	1,451,770	272,460	18.8	23,038,100	4,357,610	18.9
九度山町	2,314,710	657,390	28.4	123,040	12,070	9.8	2,437,750	669,460	27.5
高野町	3,335,370	1,052,570	31.6	463,629	8,330	1.8	3,798,999	1,060,900	27.9
湯浅町	10,284,990	2,276,140	22.1	957,682	191,623	20.0	11,242,672	2,467,763	21.9
広川町	11,729,730	1,479,180	12.6	463,220	119,730	25.8	12,192,950	1,598,910	13.1
有田川町	29,153,300	2,281,820	7.8	1,355,534	344,280	25.4	30,508,834	2,626,100	8.6
美浜町	15,336,130	1,741,100	11.4	1,022,630	183,750	18.0	16,358,760	1,924,850	11.8
日高町	9,690,820	907,854	9.4	720,580	159,140	22.1	10,411,400	1,066,994	10.2
由良町	8,347,390	1,438,080	17.2	216,620	94,140	43.5	8,564,010	1,532,220	17.9
印南町	10,109,670	859,160	8.5	2,676,075	128,330	4.8	12,785,745	987,490	7.7
みなべ町	12,507,250	2,828,770	22.6	246,340	111,800	45.4	12,753,590	2,940,570	23.1
日高川町	10,734,660	1,033,880	9.6	335,960	145,940	43.4	11,070,620	1,179,820	10.7
白浜町	42,929,490	9,047,960	21.1	2,091,190	625,320	29.9	45,020,680	9,673,280	21.5
上富田町	30,095,778	6,082,668	20.2	2,043,160	476,230	23.3	32,138,938	6,558,898	20.4
すさみ町	4,543,370	805,580	17.7	4,904,510	353,680	7.2	9,447,880	1,159,260	12.3
那智勝浦町	29,236,840	5,319,570	18.2	1,920,380	220,990	11.5	31,157,220	5,540,560	17.8
太地町	1,612,260	227,870	14.1	3,822,030	122,460	3.2	5,434,290	350,330	6.4
古座川町	4,422,520	492,580	11.1	118,270	38,290	32.4	4,540,790	530,870	11.7
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	46,169,870	10,140,540	22.0	4,951,710	845,490	17.1	51,121,580	10,986,030	21.5
償還免除債権	1,251,628	63,096	5.0	3,785,395	0	0.0	5,037,023	63,096	1.3
県計	2,531,588,217	406,589,818	16.1	196,631,973	30,099,706	15.3	2,728,220,190	436,689,524	16.0

表4 令和5年度 通常貸付（福祉・教育・離職・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	9,318,663	8,095,063	86.9	47,042,936	2,075,262	4.4	56,361,599	10,170,325	18.0
海南市	4,392,994	3,985,764	90.7	6,624,150	448,190	6.8	11,017,144	4,433,954	40.2
橋本市	4,872,000	4,082,110	83.8	14,856,581	1,187,172	8.0	19,728,581	5,269,282	26.7
有田市	201,100	40,550	20.2	0	0	-	201,100	40,550	20.2
御坊市	1,307,915	1,254,915	95.9	2,130,590	22,780	1.1	3,438,505	1,277,695	37.2
田辺市	5,097,787	4,310,657	84.6	8,947,356	356,756	4.0	14,045,143	4,667,413	33.2
新宮市	2,859,600	2,272,620	79.5	2,564,962	287,610	11.2	5,424,562	2,560,230	47.2
紀の川市	425,480	249,430	58.6	5,659,248	503,520	8.9	6,084,728	752,950	12.4
岩出市	1,750,680	1,366,660	78.1	4,843,085	455,023	9.4	6,593,765	1,821,683	27.6
紀美野町	430,680	59,280	13.8	1,826,980	0	0.0	2,257,660	59,280	2.6
かつらぎ町	0	0	-	830,720	5,040	0.6	830,720	5,040	0.6
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
高野町	0	0	-	404,909	0	0.0	404,909	0	0.0
湯浅町	868,100	868,100	100.0	506,192	99,163	19.6	1,374,292	967,263	70.4
広川町	657,210	486,510	74.0	244,940	95,150	38.8	902,150	581,660	64.5
有田川町	295,500	187,000	63.3	741,604	131,050	17.7	1,037,104	318,050	30.7
美浜町	216,960	96,960	44.7	509,820	64,200	12.6	726,780	161,160	22.2
日高町	39,960	0	0.0	384,000	0	0.0	423,960	0	0.0
由良町	180,200	141,630	78.6	21,240	21,240	100.0	201,440	162,870	80.9
印南町	0	0	-	2,544,065	70,860	2.8	2,544,065	70,860	2.8
みなべ町	492,400	492,400	100.0	3,910	3,910	100.0	496,310	496,310	100.0
日高川町	490,810	471,090	96.0	19,720	19,720	100.0	510,530	490,810	96.1
白浜町	572,990	372,050	64.9	565,630	0	0.0	1,138,620	372,050	32.7
上富田町	253,668	229,548	90.5	1,148,550	202,580	17.6	1,402,218	432,128	30.8
すさみ町	0	0	-	4,827,470	312,880	6.5	4,827,470	312,880	6.5
那智勝浦町	305,980	305,980	100.0	1,355,640	29,810	2.2	1,661,620	335,790	20.2
太地町	0	0	-	3,769,560	109,980	2.9	3,769,560	109,980	2.9
古座川町	69,400	69,400	100.0	0	0	-	69,400	69,400	100.0
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	602,660	433,820	72.0	2,850,480	170,260	6.0	3,453,140	604,080	17.5
償還免除債権	1,251,628	63,096	5.0	3,785,395	0	0.0	5,037,023	63,096	1.3
県計	36,954,365	29,934,633	81.0	119,009,733	6,672,156	5.6	155,964,098	36,606,789	23.5

表5 令和5年度 コロナ特例貸付（小口・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合計（A）+（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	1,316,069,132	193,745,312	14.7	43,157,160	12,474,440	28.9	1,359,226,292	206,219,752	15.2
海南市	23,938,510	6,532,960	27.3	1,135,260	291,720	25.7	25,073,770	6,824,680	27.2
橋本市	132,351,470	24,500,520	18.5	5,283,730	1,832,440	34.7	137,635,200	26,332,960	19.1
有田市	59,042,060	8,941,640	15.1	1,488,860	294,100	19.8	60,530,920	9,235,740	15.3
御坊市	68,292,640	8,315,340	12.2	1,424,090	346,490	24.3	69,716,730	8,661,830	12.4
田辺市	272,163,830	36,923,230	13.6	7,988,240	2,640,300	33.1	280,152,070	39,563,530	14.1
新宮市	50,604,880	5,466,350	10.8	988,570	350,440	35.4	51,593,450	5,816,790	11.3
紀の川市	95,600,840	15,399,009	16.1	2,478,060	671,630	27.1	98,078,900	16,070,639	16.4
岩出市	167,892,070	26,997,400	16.1	4,511,150	1,396,540	31.0	172,403,220	28,393,940	16.5
紀美野町	9,583,780	1,230,050	12.8	11,240	11,240	100.0	9,595,020	1,241,290	12.9
かつらぎ町	21,586,330	4,085,150	18.9	621,050	267,420	43.1	22,207,380	4,352,570	19.6
九度山町	2,314,710	657,390	28.4	123,040	12,070	9.8	2,437,750	669,460	27.5
高野町	3,335,370	1,052,570	31.6	58,720	8,330	14.2	3,394,090	1,060,900	31.3
湯浅町	9,416,890	1,408,040	15.0	451,490	92,460	20.5	9,868,380	1,500,500	15.2
広川町	11,072,520	992,670	9.0	218,280	24,580	11.3	11,290,800	1,017,250	9.0
有田川町	28,857,800	2,094,820	7.3	613,930	213,230	34.7	29,471,730	2,308,050	7.8
美浜町	15,119,170	1,644,140	10.9	512,810	119,550	23.3	15,631,980	1,763,690	11.3
日高町	9,650,860	907,854	9.4	336,580	159,140	47.3	9,987,440	1,066,994	10.7
由良町	8,167,190	1,296,450	15.9	195,380	72,900	37.3	8,362,570	1,369,350	16.4
印南町	10,109,670	859,160	8.5	132,010	57,470	43.5	10,241,680	916,630	8.9
みなべ町	12,014,850	2,336,370	19.4	242,430	107,890	44.5	12,257,280	2,444,260	19.9
日高川町	10,243,850	562,790	5.5	316,240	126,220	39.9	10,560,090	689,010	6.5
白浜町	42,356,500	8,675,910	20.5	1,525,560	625,320	41.0	43,882,060	9,301,230	21.2
上富田町	29,842,110	5,853,120	19.6	894,610	273,650	30.6	30,736,720	6,126,770	19.9
すさみ町	4,543,370	805,580	17.7	77,040	40,800	53.0	4,620,410	846,380	18.3
那智勝浦町	28,930,860	5,013,590	17.3	564,740	191,180	33.9	29,495,600	5,204,770	17.6
太地町	1,612,260	227,870	14.1	52,470	12,480	23.8	1,664,730	240,350	14.4
古座川町	4,353,120	423,180	9.7	118,270	38,290	32.4	4,471,390	461,470	10.3
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	45,567,210	9,706,720	21.3	2,101,230	675,230	32.1	47,668,440	10,381,950	21.8
県計	2,494,633,852	376,655,185	15.1	77,622,240	23,427,550	30.2	2,572,256,092	400,082,735	15.6

表6 令和5年度 福祉・教育資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	8,985,480	7,937,020	88.3	24,619,840	1,203,240	4.9	33,605,320	9,140,260	27.2
海南市	4,050,644	3,857,494	95.2	2,428,600	298,400	12.3	6,479,244	4,155,894	64.1
橋本市	4,454,850	3,890,260	87.3	7,613,839	616,380	8.1	12,068,689	4,506,640	37.3
有田市	81,100	40,550	50.0	0	0	-	81,100	40,550	50.0
御坊市	1,241,395	1,192,675	96.1	64,880	11,120	17.1	1,306,275	1,203,795	92.2
田辺市	4,542,887	4,133,327	91.0	5,052,190	268,020	5.3	9,595,077	4,401,347	45.9
新宮市	2,839,600	2,252,620	79.3	2,564,962	287,610	11.2	5,404,562	2,540,230	47.0
紀の川市	369,560	198,170	53.6	5,031,338	467,960	9.3	5,400,898	666,130	12.3
岩出市	1,126,060	1,085,960	96.4	2,912,387	233,220	8.0	4,038,447	1,319,180	32.7
紀美野町	430,680	59,280	13.8	1,826,980	0	0.0	2,257,660	59,280	2.6
かつらぎ町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
高野町	0	0	-	354,909	0	0.0	354,909	0	0.0
湯浅町	868,100	868,100	100.0	506,192	99,163	19.6	1,374,292	967,263	70.4
広川町	536,490	486,510	90.7	0	0	-	536,490	486,510	90.7
有田川町	199,500	187,000	93.7	401,590	81,050	20.2	601,090	268,050	44.6
美浜町	216,960	96,960	44.7	509,820	64,200	12.6	726,780	161,160	22.2
日高町	0	0	-	154,230	0	0.0	154,230	0	0.0
由良町	180,200	141,630	78.6	21,240	21,240	100.0	201,440	162,870	80.9
印南町	0	0	-	2,318,925	62,820	2.7	2,318,925	62,820	2.7
みなべ町	466,800	466,800	100.0	3,910	3,910	100.0	470,710	470,710	100.0
日高川町	472,560	452,840	95.8	19,720	19,720	100.0	492,280	472,560	96.0
白浜町	523,210	322,270	61.6	565,630	0	0.0	1,088,840	322,270	29.6
上富田町	229,548	229,548	100.0	1,036,820	103,460	10.0	1,266,368	333,008	26.3
すさみ町	0	0	-	4,827,470	312,880	6.5	4,827,470	312,880	6.5
那智勝浦町	305,980	305,980	100.0	1,355,640	29,810	2.2	1,661,620	335,790	20.2
太地町	0	0	-	3,769,560	109,980	2.9	3,769,560	109,980	2.9
古座川町	69,400	69,400	100.0	0	0	-	69,400	69,400	100.0
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	602,660	433,820	72.0	2,850,480	170,260	6.0	3,453,140	604,080	17.5
償還免除債権	430,628	44,246	10.3	2,063,296	0	0.0	2,493,924	44,246	1.8
県計	33,224,292	28,752,460	86.5	72,874,448	4,464,443	6.1	106,098,740	33,216,903	31.3

表7 令和5年度 離職者支援資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	11,126,807	313,200	2.8	11,126,807	313,200	2.8
海南市	0	0	-	3,411,240	65,940	1.9	3,411,240	65,940	1.9
橋本市	0	0	-	1,097,000	66,960	6.1	1,097,000	66,960	6.1
有田市	0	0	-	0	0	-	0	0	-
御坊市	0	0	-	1,949,050	0	0.0	1,949,050	0	0.0
田辺市	0	0	-	1,895,590	20,870	1.1	1,895,590	20,870	1.1
新宮市	0	0	-	0	0	-	0	0	-
紀の川市	0	0	-	0	0	-	0	0	-
岩出市	0	0	-	0	0	-	0	0	-
紀美野町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
かつらぎ町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
高野町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
湯浅町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
広川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
有田川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
美浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
日高町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
由良町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
印南町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
みなべ町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
日高川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
白浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
上富田町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
すさみ町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
那智勝浦町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
太地町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
古座川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
償還免除債権	0	0	-	0	0	-	0	0	-
県計	0	0	-	19,479,687	466,970	2.4	19,479,687	466,970	2.4

表8 令和5年度 緊急小口資金（通常貸付）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	345,941	20,000	5.8	345,941	20,000	5.8
海南市	0	0	-	100,000	0	0.0	100,000	0	0.0
橋本市	0	0	-	108,280	16,660	15.4	108,280	16,660	15.4
有田市	81,100	40,550	50.0	0	0	-	81,100	40,550	50.0
御坊市	0	0	-	56,760	3,000	5.3	56,760	3,000	5.3
田辺市	78,930	70,600	89.4	66,260	0	0.0	145,190	70,600	48.6
新宮市	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
紀の川市	0	0	-	17,828	0	0.0	17,828	0	0.0
岩出市	0	0	-	35,350	2,000	5.7	35,350	2,000	5.7
紀美野町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
かつらぎ町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
高野町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
湯浅町	0	0	-	45,762	14,863	32.5	45,762	14,863	32.5
広川町	74,970	24,990	33.3	0	0	-	74,970	24,990	33.3
有田川町	49,500	49,500	100.0	161,190	46,830	29.1	210,690	96,330	45.7
美浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
日高町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
由良町	33,320	24,990	75.0	0	0	-	33,320	24,990	75.0
印南町	0	0	-	99,000	0	0.0	99,000	0	0.0
みなべ町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
日高川町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
白浜町	104,000	88,000	84.6	75,010	0	0.0	179,010	88,000	49.2
上富田町	0	0	-	66,400	5,000	7.5	66,400	5,000	7.5
すさみ町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
那智勝浦町	32,800	32,800	100.0	0	0	-	32,800	32,800	100.0
太地町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
古座川町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串本町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
償還免除債権	0	0	-	55,000	0	0.0	55,000	0	0.0
県計	454,620	331,430	72.9	1,232,781	108,353	8.8	1,687,401	439,783	26.1

表9 令和5年度 緊急小口資金（コロナ特例貸付）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	291,901,100	113,604,420	38.9	29,144,740	8,258,870	28.3	321,045,840	121,863,290	38.0
海南市	9,817,210	4,419,230	45.0	920,030	228,570	24.8	10,737,240	4,647,800	43.3
橋本市	31,151,010	13,210,920	42.4	3,511,540	1,156,660	32.9	34,662,550	14,367,580	41.4
有田市	12,681,330	5,707,980	45.0	1,072,610	209,100	19.5	13,753,940	5,917,080	43.0
御坊市	11,541,300	4,240,880	36.7	997,620	233,240	23.4	12,538,920	4,474,120	35.7
田辺市	55,715,710	20,937,000	37.6	5,149,490	1,593,050	30.9	60,865,200	22,530,050	37.0
新宮市	9,095,540	3,123,100	34.3	609,310	214,900	35.3	9,704,850	3,338,000	34.4
紀の川市	21,734,310	8,447,899	38.9	1,544,080	431,380	27.9	23,278,390	8,879,279	38.1
岩出市	39,823,210	16,917,110	42.5	3,198,440	1,030,300	32.2	43,021,650	17,947,410	41.7
紀美野町	1,316,320	720,500	54.7	4,160	4,160	100.0	1,320,480	724,660	54.9
かつらぎ町	5,027,860	2,213,680	44.0	468,550	193,670	41.3	5,496,410	2,407,350	43.8
九度山町	1,046,960	409,640	39.1	83,290	8,320	10.0	1,130,250	417,960	37.0
高野町	870,370	778,820	89.5	37,470	8,330	22.2	907,840	787,150	86.7
湯浅町	3,467,890	866,290	25.0	328,990	62,460	19.0	3,796,880	928,750	24.5
広川町	2,646,270	802,670	30.3	139,530	14,580	10.4	2,785,800	817,250	29.3
有田川町	3,776,550	1,159,820	30.7	408,930	153,230	37.5	4,185,480	1,313,050	31.4
美浜町	3,224,170	1,032,890	32.0	335,310	83,300	24.8	3,559,480	1,116,190	31.4
日高町	1,603,360	495,390	30.9	216,580	106,640	49.2	1,819,940	602,030	33.1
由良町	1,934,690	781,450	40.4	121,630	41,650	34.2	2,056,320	823,100	40.0
印南町	999,360	391,350	39.2	70,760	24,970	35.3	1,070,120	416,320	38.9
みなべ町	3,014,850	1,352,620	44.9	174,930	66,640	38.1	3,189,780	1,419,260	44.5
日高川町	1,626,350	366,540	22.5	227,490	77,470	34.1	1,853,840	444,010	24.0
白浜町	9,923,530	4,588,100	46.2	976,780	369,250	37.8	10,900,310	4,957,350	45.5
上富田町	6,525,860	3,364,370	51.6	549,610	187,400	34.1	7,075,470	3,551,770	50.2
すさみ町	1,119,620	528,080	47.2	58,290	33,300	57.1	1,177,910	561,380	47.7
那智勝浦町	8,012,190	3,539,340	44.2	414,760	139,930	33.7	8,426,950	3,679,270	43.7
太地町	359,760	164,120	45.6	37,470	12,480	33.3	397,230	176,600	44.5
古座川町	1,283,120	383,180	29.9	83,270	33,290	40.0	1,366,390	416,470	30.5
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串本町	11,687,240	5,901,850	50.5	1,459,430	450,230	30.8	13,146,670	6,352,080	48.3
県計	552,927,040	220,449,239	39.9	52,345,090	15,427,370	29.5	605,272,130	235,876,609	39.0



表 10 令和5年度 総合支援資金（通常貸付）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	333,183	158,043	47.4	11,296,289	558,822	4.9	11,629,472	716,865	6.2
海南市	342,350	128,270	37.5	784,310	83,850	10.7	1,126,660	212,120	18.8
橋本市	417,150	191,850	46.0	6,145,742	503,832	8.2	6,562,892	695,682	10.6
有田市	120,000	0	0.0	0	0	-	120,000	0	0.0
御坊市	66,520	62,240	93.6	116,660	11,660	10.0	183,180	73,900	40.3
田辺市	554,900	177,330	32.0	1,999,576	67,866	3.4	2,554,476	245,196	9.6
新宮市	20,000	20,000	100.0	0	0	-	20,000	20,000	100.0
紀の川市	55,920	51,260	91.7	627,910	35,560	5.7	683,830	86,820	12.7
岩出市	624,620	280,700	44.9	1,930,698	221,803	11.5	2,555,318	502,503	19.7
紀美野町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
かつらぎ町	0	0	-	830,720	5,040	0.6	830,720	5,040	0.6
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
高野町	0	0	-	50,000	0	0.0	50,000	0	0.0
湯浅町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
広川町	120,720	0	0.0	244,940	95,150	38.8	365,660	95,150	26.0
有田川町	96,000	0	0.0	340,014	50,000	14.7	436,014	50,000	11.5
美浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
日高町	39,960	0	0.0	229,770	0	0.0	269,730	0	0.0
由良町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
印南町	0	0	-	225,140	8,040	3.6	225,140	8,040	3.6
みなべ町	25,600	25,600	100.0	0	0	-	25,600	25,600	100.0
日高川町	18,250	18,250	100.0	0	0	-	18,250	18,250	100.0
白浜町	49,780	49,780	100.0	0	0	-	49,780	49,780	100.0
上富田町	24,120	0	0.0	111,730	99,120	88.7	135,850	99,120	73.0
すさみ町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
那智勝浦町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
太地町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
古座川町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串本町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
償還免除債権	821,000	18,850	2.3	1,722,099	0	0.0	2,543,099	18,850	0.7
県 計	3,730,073	1,182,173	31.7	26,655,598	1,740,743	6.5	30,385,671	2,922,916	9.6

表 1 1 令和 5 年度 総合支援資金（コロナ特例貸付）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	1,024,168,032	80,140,892	7.8	14,012,420	4,215,570	30.1	1,038,180,452	84,356,462	8.1
海南市	14,121,300	2,113,730	15.0	215,230	63,150	29.3	14,336,530	2,176,880	15.2
橋本市	101,200,460	11,289,600	11.2	1,772,190	675,780	38.1	102,972,650	11,965,380	11.6
有田市	46,360,730	3,233,660	7.0	416,250	85,000	20.4	46,776,980	3,318,660	7.1
御坊市	56,751,340	4,074,460	7.2	426,470	113,250	26.6	57,177,810	4,187,710	7.3
田辺市	216,448,120	15,986,230	7.4	2,838,750	1,047,250	36.9	219,286,870	17,033,480	7.8
新宮市	41,509,340	2,343,250	5.6	379,260	135,540	35.7	41,888,600	2,478,790	5.9
紀の川市	73,866,530	6,951,110	9.4	933,980	240,250	25.7	74,800,510	7,191,360	9.6
岩出市	128,068,860	10,080,290	7.9	1,312,710	366,240	27.9	129,381,570	10,446,530	8.1
紀美野町	8,267,460	509,550	6.2	7,080	7,080	100.0	8,274,540	516,630	6.2
かつらぎ町	16,558,470	1,871,470	11.3	152,500	73,750	48.4	16,710,970	1,945,220	11.6
九度山町	1,267,750	247,750	19.5	39,750	3,750	9.4	1,307,500	251,500	19.2
高野町	2,465,000	273,750	11.1	21,250	0	0.0	2,486,250	273,750	11.0
湯浅町	5,949,000	541,750	9.1	122,500	30,000	24.5	6,071,500	571,750	9.4
広川町	8,426,250	190,000	2.3	78,750	10,000	12.7	8,505,000	200,000	2.4
有田川町	25,081,250	935,000	3.7	205,000	60,000	29.3	25,286,250	995,000	3.9
美浜町	11,895,000	611,250	5.1	177,500	36,250	20.4	12,072,500	647,500	5.4
日高町	8,047,500	412,464	5.1	120,000	52,500	43.8	8,167,500	464,964	5.7
由良町	6,232,500	515,000	8.3	73,750	31,250	42.4	6,306,250	546,250	8.7
印南町	9,110,310	467,810	5.1	61,250	32,500	53.1	9,171,560	500,310	5.5
みなべ町	9,000,000	983,750	10.9	67,500	41,250	61.1	9,067,500	1,025,000	11.3
日高川町	8,617,500	196,250	2.3	88,750	48,750	54.9	8,706,250	245,000	2.8
白浜町	32,432,970	4,087,810	12.6	548,780	256,070	46.7	32,981,750	4,343,880	13.2
上富田町	23,316,250	2,488,750	10.7	345,000	86,250	25.0	23,661,250	2,575,000	10.9
すさみ町	3,423,750	277,500	8.1	18,750	7,500	40.0	3,442,500	285,000	8.3
那智勝浦町	20,918,670	1,474,250	7.0	149,980	51,250	34.2	21,068,650	1,525,500	7.2
太地町	1,252,500	63,750	5.1	15,000	0	0.0	1,267,500	63,750	5.0
古座川町	3,070,000	40,000	1.3	35,000	5,000	14.3	3,105,000	45,000	1.4
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串本町	33,879,970	3,804,870	11.2	641,800	225,000	35.1	34,521,770	4,029,870	11.7
県 計	1,941,706,812	156,205,946	8.0	25,277,150	8,000,180	31.6	1,966,983,962	164,206,126	8.3

表 1 2 令和 5 年度 不動産担保型生活資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	14,922,136	0	0.0	14,922,136	0	0.0
県 計	0	0	-	14,922,136	0	0.0	14,922,136	0	0.0

表 1 3 令和 5 年度 不動産担保型生活資金（要保護世帯向け）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	3,073,500	0	0.0	3,073,500	0	0.0
橋本市	0	0	-	3,172,309	3,172,309	100.0	3,172,309	3,172,309	100.0
御坊市	0	0	-	4,806,400	0	0.0	4,806,400	0	0.0
有田川町	0	0	-	6,355,440	0	0.0	6,355,440	0	0.0
県 計	0	0	-	17,407,649	3,172,309	18.2	17,407,649	3,172,309	18.2

表 1 4 令和 5 年度 臨時特例つなぎ資金貸付決定件数・金額

つなぎ先 計	生活保護		住居確保給付金		そ の 他		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
県 計	0	0	0	0	1	80,000	1	80,000

表 1 5 令和 5 年度 臨時特例つなぎ資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
県 計	0	0	-	2,707,840	0	0.0	2,707,840	0	0.0

表 1 6 令和5年度生活福祉資金貸付中件数・金額（市町村別）

(金額単位:円)  
令和6年3月31日現在

資金名 市町村	総合支援資金						福祉資金				教育支援資金				離職者支援資金		不動産担保型生活資金				合計		償還履行 率率 (不動産除く) (令和6年3月)
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金		教育支援費		就学支度費				不動産担保型生活資金		要保護世帯向け不動産担保型生活資金		件数	金額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額			
和歌山市	6,820	3,447,547,601	17	2,388,474	21	2,779,457	79	37,474,939	2,557	331,407,991	97	133,044,610	87	31,328,941	10	10,813,607	3	26,022,136	8	35,065,517	9,699	4,057,873,273	50.1%
海南市	120	53,547,530	0	0	4	932,950	13	4,707,160	88	10,103,280	28	45,664,226	20	6,460,393	2	3,345,300	0	0	3	4,774,754	278	129,535,593	71.6%
橋本市	849	414,061,270	0	0	3	454,740	20	7,499,222	287	35,189,610	24	31,305,374	32	7,946,944	3	1,030,040	0	0	0	0	1,218	497,487,200	55.0%
有田市	300	155,760,090	0	0	0	0	0	0	98	11,880,450	1	1,153,800	1	500,000	0	0	0	0	2	9,800,000	402	179,094,340	56.0%
御坊市	319	161,107,700	0	0	3	180,100	3	3,320,660	96	13,356,510	10	8,629,980	6	1,670,750	1	1,949,050	0	0	1	4,806,400	439	195,021,150	51.0%
田辺市	1,381	703,944,640	4	499,510	6	1,287,032	16	3,432,552	521	64,993,530	32	37,302,420	18	5,692,390	2	1,874,720	0	0	1	2,120,000	1,981	821,146,794	54.9%
新宮市	236	103,789,850	0	0	0	0	10	5,004,052	70	7,386,890	14	20,459,000	10	3,657,082	0	0	0	0	0	0	340	140,296,874	51.9%
紀の川市	512	267,734,450	0	0	1	141,370	8	4,716,152	185	20,375,208	3	2,233,200	2	855,450	0	0	0	0	1	3,667,681	712	299,723,511	54.7%
岩出市	790	412,997,189	0	0	7	1,474,399	6	3,349,677	360	45,326,900	18	17,702,890	17	5,576,300	0	0	0	0	1	2,415,930	1,199	488,843,285	59.7%
紀美野町	27	14,074,210	0	0	0	0	2	3,998,610	9	638,090	1	1,243,750	0	0	0	0	0	0	0	0	39	19,954,660	80.8%
かつらぎ町	91	45,590,280	0	0	2	215,000	0	0	40	4,921,880	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133	50,727,160	58.5%
九度山町	21	7,890,250	0	0	0	0	0	0	10	1,014,210	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	8,904,460	56.5%
高野町	35	16,368,750	0	0	0	0	0	0	11	946,320	2	1,074,909	1	500,000	0	0	0	0	0	0	49	18,889,979	63.3%
湯浅町	33	16,696,000	0	0	0	0	2	376,130	25	3,397,979	8	10,343,560	5	2,012,270	0	0	0	0	0	0	73	32,825,939	46.4%
広川町	33	17,278,500	1	84,150	1	117,520	0	0	17	1,921,150	2	4,128,960	1	170,000	0	0	0	0	0	0	55	23,700,280	52.8%
有田川町	103	53,921,580	0	0	1	53,434	3	306,180	42	4,620,240	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6,355,440	150	65,256,874	42.5%
美浜町	58	29,732,500	0	0	0	0	3	295,620	26	3,321,340	2	3,066,000	4	1,247,680	0	0	0	0	0	0	93	37,663,140	48.5%
日高町	48	23,774,206	0	0	0	0	1	154,230	17	2,148,090	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	26,076,526	35.6%
由良町	33	17,353,750	0	0	0	0	1	16,299	12	1,258,630	1	783,000	1	500,000	0	0	0	0	0	0	48	19,911,679	65.6%
印南町	54	25,465,640	0	0	1	82,100	3	2,157,105	11	886,880	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69	28,591,725	42.5%
みなべ町	59	30,608,400	0	0	0	0	2	1,947,100	26	3,271,640	2	1,732,500	2	435,860	0	0	0	0	0	0	91	37,995,500	66.1%
日高川町	46	22,723,000	0	0	0	0	1	253,480	13	1,601,850	3	1,674,280	1	167,923	0	0	0	0	0	0	64	26,420,533	52.9%
白浜町	312	150,216,240	0	0	1	488,925	6	1,226,689	118	10,673,190	1	1,202,250	1	419,538	0	0	0	0	0	0	439	164,226,832	58.2%
上富田町	170	86,670,000	1	77,520	0	0	1	871,960	67	6,576,790	1	1,244,000	0	0	0	0	0	0	0	0	240	95,440,270	60.5%
すさみ町	26	12,930,000	0	0	0	0	3	3,962,590	9	1,021,160	2	1,632,000	1	300,000	0	0	0	0	0	0	41	19,845,750	46.4%
那智勝浦町	124	58,724,250	0	0	0	0	4	2,326,060	68	6,855,640	1	2,730,000	2	900,638	0	0	0	0	0	0	199	71,536,588	56.6%
太地町	11	5,610,000	0	0	0	0	1	3,659,580	5	470,930	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	9,740,510	33.3%
古座川町	10	5,505,000	0	0	0	0	1	430,600	7	791,960	1	390,000	1	500,000	0	0	0	0	0	0	20	7,617,560	70.0%
北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
串本町	244	125,052,820	0	0	0	0	7	4,735,640	116	14,935,500	11	13,377,300	9	3,379,212	0	0	0	0	0	0	387	161,480,472	49.6%
県計	12,865	6,486,675,696	23	3,049,654	51	8,207,027	196	96,222,287	4,911	611,293,838	266	342,118,009	222	74,221,371	18	19,012,717	3	26,022,136	18	69,005,722	18,573	7,735,828,457	52.8%
通常	159	34,380,062	23	3,049,654	51	8,207,027	196	96,222,287	30	1,736,198	266	342,118,009	222	74,221,371	18	19,012,717	3	26,022,136	18	69,005,722	986	673,975,183	
特例	12,706	6,452,295,634							4,881	609,557,640											17,587	7,061,853,274	

\*金額は元金。件数は貸付利息、延滞利息のみ残も含む。

表17 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業

令和6年3月31日現在

資金種類	人材確保												自立支援						
	介護福祉士							保育士					ひとり親家庭			児童養護施設退所者			
	介護福祉士 修学資金	福祉系高校 修学資金	実務者研修 受講資金	再就職準備金	介護分野 就職支援金	障害福祉分野 就職支援金	社会福祉士 修学資金	修学資金	補助者雇上費	保育料一部	就職準備金	利用料一部	預かり支援事	入学準備金	就職準備金	住宅支援資金	進学者	就職者	資格取得 支援費
貸付決定件数	平成28年度	12	—	147	0	—	—	0	69	1	2	2	—	12	3	—	2	0	1
	159							74					15			3			
	251																		
	平成29年度	5	—	121	3	—	—	0	99	0	3	1	0	15	3	—	0	2	7
	129							103					18			9			
	259																		
	平成30年度	26	—	115	2	—	—	4	88	2	15	3	0	20	0	0	3	1	7
	147							108					20			11			
286																			
令和元年度	36	—	139	5	—	—	0	80	0	6	1	0	19	5	—	1	2	6	
180							87					24			9				
300																			
令和2年度	25	—	116	12	—	—	1	64	0	3	1	0	13	4	—	0	1	5	
154							68					17			6				
245																			
令和3年度	45	7	162	11	18	4	2	54	1	7	2	0	9	1	2	1	1	4	
249							64					12			6				
331																			
令和4年度	54	3	122	13	12	4	2	52	1	15	8	0	7	1	2	6	0	6	
210							76					10			12				
308																			
令和5年度	53	6	98	3	9	1	2	48	0	5	3	0	12	1	7	0	0	11	
172							56					20			11				
259																			
計(A)	256	16	1020	49	39	9	11	554	5	56	21	0	107	18	11	13	7	47	
1,440							636					136			67				
2,239																			
B	辞退	2	0	17	1	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	当然免除	7	0	221	19	1	2	0	37	4	10	4	0	1	2	2	1	3	14
	償還完了	13	1	94	3	1	2	2	32	0	1	0	0	5	1	0	0	0	4
計	387							94					11			23			
515																			
貸付中件数	234	15	688	26	36	5	9	479	1	45	17	0	101	15	9	12	4	28	
(A-B)	1013							(485,665千円)					542			(660,953千円)			
(令和06年03月末貸付中金額)													1,724			(1,220,483千円)			

《地域福祉部(ボランティア振興班)》ボランティアセンター事業・災害ボランティアセンター事業関係》

1 広域におけるボランティア活動支援機能の強化

(1) ボランティア・市民活動団体の支援

① 情報集約・提供

ア ボランティア基礎情報

県内におけるボランティア活動者数（令和5年4月1日現在、照会先：市町村社会福祉協議会）

	社会福祉協議会に登録		社会福祉協議会が把握	
	個人ボランティア	1,429名		1,277名
ボランティアを目的としたグループ	547団体	15,208名	737団体	17,904名
合計	547団体	16,637名	737団体	19,181名
	1,284団体			35,818名

イ ボランティア活動体験機会提供

夏のボランティア体験月間を提唱し、ボランティア活動情報や体験機会の提供に取り組んだ。

期 日	内 容 (受入先数・プログラム数)	参 加
7月1日～ 8月31日	県内社会福祉施設等でのボランティア活動体験 (130カ所・137プログラム)	1,538名

ウ 広報啓発

県社協ホームページ「福祉活動ガイド」及び県ボランティアセンター「情報紙」「掲示板」「YouTube」等にボランティア活動やグループ紹介、参加募集、助成案内など随時、情報を掲載・配信・更新した。

a ボランティア情報紙「そよかぜ」（発行部数 180部/月）

発行号	内 容
第319～ 330号	体験、学習、交流活動等イベント開催案内・報告/参加者募集・ボランティア募集/助成事業/ボランティア保険/全国情報・県内情報/ボランティア団体・収集ボランティア紹介など

b 福祉わかやま（発行部数 10,000部/月）

掲載月	ボランティア関連掲載記事
4月	地域福祉活動紹介「和歌山大学災害ボランティアステーション むすぼら」
6月	地域福祉活動紹介「ボランティア団体 わかやま楽落会」
7月	夏のボランティア体験月間のご案内（企画&参加者募集）

c アンケート実施、その他、啓発冊子・ポスター等の配付

期日・発行日	内 容
5月	県内ボランティア活動者数調査（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

d 活動の見える化（SNSへの掲載）

掲載月	内 容
6月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「2023夏のボランティア体験月間について」
8月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「福祉教育推進員研修」
9月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「2023夏のボランティア体験プログラム★点字を体験してみよう」
9月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「2023夏のボランティア体験★災害ボランティア活動支援 資機材の整理」

掲載月	内 容
10月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「令和5年度第1回ボランティア活動情報交流会を開催いたしました」
12月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「令和5年度和歌山県ボランティアフォーラム開催のご案内」
1月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「令和5年度和歌山県ボランティアフォーラムを開催しました」

## ② 助成（ボランティア活動交流普及事業）の実施

社会福祉のためにと寄せられた善意の金員や関心を実際の活動へとつなげることを目的とし、市町村社会福祉協議会が企画・実施した活動に対して助成を行った。（5事業）

### ア 活動の企画、実施

団体名	活動名	活動内容
有田市 社会福祉協議会	有田市ボランティア連絡協議会会員交流会	通常の会議とは違う雰囲気づくりを行い、障害福祉事業所からデザートを取り寄せて、café風で開催。大学生の力も借り、会員と活動紹介パネルを作成。
	ユニスポ大会	市内2中学校の生徒で実行委員会を開いて企画・準備・運営を行い、地元福祉施設も参加した障がい特性に併せたユニバーサルスポーツ体験メニューを実施。
すさみ町 社会福祉協議会	くねあそ部	すさみ在住の未就学児のいる親子で構成され、食う・寝る・遊ぶを通じて豊かな自然や人のつながりを体感する、子育てママ同士のつながりづくりを目的とした活動を月1回の会議を経て、毎月実施。
紀美野町 社会福祉協議会	総合防災訓練及び豪雨災害に伴う災害ボランティア活動の振り返り	8月に総合防災訓練を地域の地区防災組織との共催により、学生や地域住民と協働で実施した。11月には県社協から講師として参加し、活動した地元ボランティア等と共に振り返り会を行った。
和歌山市 ボランティア 連絡協議会	視察研修	和歌山市とかつらぎ町のボランティア連絡協議会で活動内容の紹介や交流、ワークショップを行った。後継者の育成など悩みの意見交換も行った。

## ③ 相談・案内・活動支援及び活動保険の促進等

### ア 活動相談窓口、事故対策及び保険取扱い、活動資機材の貸出

#### a ボランティア活動・行食用保険

ボランティア活動保険及びボランティア行食用保険への加入手続き等を行い、ボランティア活動に関する相談・問合せに対応した。

保険種類	加入者・団体数
活動保険（基本プラン）	810名
活動保険（天災プラン）	279名
活動保険（特定感染症重点プラン）	34名
行食用保険	102件 18,110名（延べ人数）

#### b 関係機材等の貸出

高齢者や障がい者を取り巻く生活環境や必要とするコミュニケーションを理解するため、地域や学校、ボランティア団体、施設等における学習、研修等に機材を貸し出した。

貸出日	品名	個数	貸出先
4月4日～4月7日	高齢者疑似体験セット大人用	3	社会福祉法人紀三福祉会
4月12日～4月14日	高齢者疑似体験セット大人用	2	株式会社ワキタケアネット
5月26日～6月2日	高齢者疑似体験セット大人用	2	和歌山市立小倉小学校
	高齢者疑似体験セット子ども用	2	
6月1日～6月6日	高齢者疑似体験セット大人用	4	株式会社ウインドー
6月21日～6月30日	高齢者疑似体験セット子ども用	2	(福) 高野町社会福祉協議会
7月13日～7月18日	高齢者疑似体験セット大人用	4	和歌山高齢者生活協同組合
	高齢者疑似体験セット子ども用	2	
7月21日～7月24日	高齢者疑似体験セット大人用	4	
	高齢者疑似体験セット子ども用	2	
9月1日～9月11日	高齢者疑似体験セット大人用	2	和歌山東消防署河南出張所
	車椅子	3	
9月15日～9月19日	高齢者疑似体験セット大人用	4	有田市立病院
	高齢者疑似体験セット子ども用	2	
9月19日～9月28日	高齢者疑似体験セット大人用	2	県立紀北支援学校
9月20日～9月25日	高齢者疑似体験セット大人用	6	日高町立日高中学校
9月26日～9月28日	高齢者疑似体験セット大人用	3	県立紀北支援学校
10月4日～10月10日	車椅子	6	第2回和歌山県人会世界大会実行委員会
10月5日～10月19日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	(福) 高野町社会福祉協議会
10月11日～10月16日	高齢者疑似体験セット大人用	8	(福) 海南市社会福祉協議会
10月23日～10月23日	高齢者疑似体験セット大人用	8	(福) 和歌山市社会福祉協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
10月25日～10月27日	車椅子	6	和歌山市立河北中学校
	高齢者疑似体験セット大人用	5	
10月30日～11月2日	高齢者疑似体験セット大人用	8	紀美野町役場保健福祉課
	車椅子	2	
11月6日～11月7日	高齢者疑似体験セット大人用	8	和歌山市立西脇中学校
11月8日～11月13日	高齢者疑似体験セット大人用	8	学校法人宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科
11月27日～12月15日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	(福) 由良町社会福祉協議会
11月30日～12月4日	車椅子	1	和歌山市立有功東小学校
12月7日～12月14日	高齢者疑似体験セット大人用	5	日本ベーリンガーインゲルハイム(株)和歌山営業所
1月5日～1月11日	高齢者疑似体験セット大人用	8	IBW 理美容専門学校
1月11日～1月17日	車椅子	8	IBW 理美容専門学校
2月27日～3月4日	高齢者疑似体験セット大人用	5	県立紀伊コスモス支援学校
2月29日～3月7日	車椅子	4	IBW 理美容専門学校
3月1日～3月5日	高齢者疑似体験セット大人用	3	株式会社ウインドー
3月7日～3月15日	高齢者疑似体験セット大人用	2	花王株式会社
3月19日～3月19日	高齢者疑似体験セット大人用	4	NPO 法人日本理美容福祉協会 和歌山南紀センター
	車椅子	4	



貸出日	品名	個数	貸出先
3月22日～3月25日	高齢者疑似体験セット大人用	4	ありだ橋苑

c 物品の受託、調整等

任意預託（指定なし）		
受付日	預託者及び預託物品	払出先
4月1日～ 3月31日	収集ボランティア (使用済み切手・カード)	和歌山県切手同好会の協力を得て換金
換金日	換金額	受取社協
4月11日	9,000	本会（はまゆう基金）
	3,000	社会福祉法人白浜町社会福祉協議会
5月16日	9,000	本会（はまゆう基金）
7月13日	3,000	本会（はまゆう基金）
9月13日	350	本会（はまゆう基金）
10月19日	12,000	本会（はまゆう基金）

範囲指定		
受付日	預託者及び預託物品	寄贈先
5月16日	株式会社オーグス総研 リユースパソコン 21台	県内障害児者福祉施設（10施設）
8月1日	一般社団法人生命保険協会和歌山 県協会 タオル 2,000本	県内特別養護老人ホーム（20施設）
9月20日	株式会社ツルハホールディングス 車椅子 3台	県内グループホーム（3施設）
11月2日	関西遊技機商業協同組合 車椅子 5台	県内グループホーム（5施設）
11月17日	一般社団法人親切会 関西支部 現金 4万円	ほっとスペース 交流カフェ 亀川人形劇サークル「はちの巣」

イ 県ボランティア連絡協議会及び県ボランティアサロン運営支援

a 県ボランティア連絡協議会

期日	場所	内容	参加
4月13日 4月19日	ボランティアサロン 美浜町社会福祉協議会	監事会 令和4年度事業報告及び決算報告について（監査）	2名
4月21日	ビッグ愛9階 りいぶるC会議室	理事会 ・令和4年度事業報告及び決算報告について ・令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について ・役員改選について	14名
4月21日	ビッグ愛9階 りいぶるC会議室 オンライン併用	総会 ・令和4年度事業報告及び決算報告について ・令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について	47団体

4月21日	ビッグ愛9階 りいぶるC会議室 オンライン併用	交流会 NPO法人スペシャルオリンピックス日本・和歌山、お いし弁当の活動について	22名
11月21日	ボランティアサロン	第2回理事会 ・令和5年度事業経過報告について ・ボランティア全国フォーラムの参加助成について ・令和5年度和歌山県ボランティアフォーラムの開催 について	15名
3月15日	ボランティアサロン	第3回理事会 ・令和5年度事業経過報告及び収支計算見込みについ て ・令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について	12名

b 県ボランティアサロン

・ボランティア活動情報交流会

期 日		内 容	参加
9月19日	ボランティアサロン	自己紹介・近況報告等	7名
11月21日	ボランティアサロン	～紀美野町ボランティア連絡協議会～ 「もしも、トイレが使えなくなったら」 ①身近にある物で災害用トイレを作ってみよう ②ペットボトルの灯りとり	13名

・県ボランティアサロン利用状況

期 日		利 用
4月1日～3月31日	回 数	95回
	人 数	604名

(2) コーディネーション能力向上事業の実施

① ボランティアコーディネーター養成研修

期 日	場 所	内 容	参加
12月19日	和歌山市	市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議(26名)	4名

(3) 福祉教育推進事業の実施

① 全国福祉教育推進員研修受講促進

期 日	場 所	内 容	参加
8月10日	和歌山市	全国福祉教育推進員研修(6名)	2名
7月28日	オンライン	全国福祉教育推進員研修 演習ファシリテーター研修(3名)	2名

② 市町村社協における福祉教育実践の情報共有及び福祉教育推進支援・実践報告

期 日	場 所	内 容	参加
5月24日	オンライン	都道府県・指定都市社協 福祉教育担当者連絡会議	1名
9月11日	オンライン	全国福祉教育推進員研修 振り返り会(7名)	2名
12月19日	和歌山市	市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議 第2 部「和歌山県の福祉教育プラットフォームについて」(26名)	4名

期 日	場 所	内 容	参 加
3月28日	オンライン	福祉教育推進員オンラインサロン 県内向け報告会（9名）	3名

(4) その他、ボランティア関連事業への参加、協力、啓発（講義・評価・助言等）による支援の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
5月15～16日	東京都	都道府県・指定都市社協 部・課・所長会議	3名
5月30日	和歌山市	県知事表彰式	2名
9月20日	大阪府	第14回 Daigas グループ「はじまるくんパソコン寄贈プログラム」贈呈式	1名
12月7日	京都府	近畿ブロック府県・指定都市社協 地域福祉・ボランティア担当者会議	2名
1月29日	和歌山市	子ども食堂ネットワーク協議会設立記念フォーラム	3名

## 2 大規模災害における県災害VCの機能・体制を強化

### (1) 市町村災害ボランティアセンター支援事業

#### ① 広域・同時多発災害対応訓練の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
7月7日	新宮市・ オンライン	打ち合わせ会議（第1回・20名）	2名
8月4日	新宮市・ オンライン	打ち合わせ会議（第2回・19名）	4名
9月11日	新宮市・ オンライン	打ち合わせ会議（第3回・19名）	4名
9月22日	太地町	開催地との打ち合わせ（第1回・9名）	2名
10月10日	太地町・ オンライン	打ち合わせ会議（第4回・18名）	4名
10月27日	太地町	開催地との打ち合わせ（第2回・4名）	1名
11月13日	新宮市・ オンライン	打ち合わせ会議（最終・30名）	4名
12月1日	新宮市・ 太地町・ オンライン	広域・同時多発災害対応訓練 災害ボランティアセンター開設訓練（約30名）	4名
12月3日	新宮市・ 太地町	広域・同時多発災害対応訓練（津波注意報発令のため中止）	—
2月15日	新宮市・ オンライン	振り返り会 兼 県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会 「災害時の社協活動」第3回（37名）	4名

#### ② 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
—	—	災害時対応の為、次年度に延期	—

#### ③ 災害ボランティア活動支援にかかる訓練・研修への参画

期 日	場 所	内 容 (打ち合わせ会議を除く)	参 加
4月2日	和歌山市	NPO 法人和歌山保健科学センター 4月度例会 (12名)	1名
5月22日	紀美野町	紀美野町災害ボランティアの会 研修会 (15名)	2名
6月7日	全国・ オンライン	社協の災害支援体制と災害支援活動の強化に関する会議	2名
6月22日	有田市	有田市立保田中学校 防災学習【講義】(42名)	2名
7月13日	和歌山市	県立和歌山北高等学校「防災とボランティア」【講義】(22名)	2名
7月14日	那智勝浦町	新宮・東牟婁社協職員連絡協議会総会【講義】(17名)	1名
7月31日	和歌山市	県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会「災害時の社協活動」第1回(28名)	4名
8月8日	太地町	太地町社協「サマーボランティアスクール2023 避難所運営体験」【参加】(30名)	1名
8月20日	新宮市	新宮市高田区「災害にも強い地域づくり研修会」【講義】(30名)	1名
10月13日	和歌山市	市町村地域福祉主管課長・社会福祉協議会事務局長会議【説明】	1名
11月8日	和歌山市	災害ケースマネジメント研修 in 和歌山(紀北)(80名)	1名
11月8日	岩出市	岩出市地域福祉講座「防災活動」【講義】(30名)	1名
11月15日	かつらぎ町	一般社団法人伊都青年会議所例会【講演】(100人)	1名
11月15日	オンライン	内閣府「官民連携による被災者支援体制整備」モデル事業中間報告会【出席】	1名
11月20日	和歌山市	県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会「災害時の社協活動」第2回(24名)	6名
11月23日	和歌山市	和歌山県立和歌山商業高等学校「災害ボランティア活動について」【説明】(4名)	1名
11月25日	紀美野町	紀美野町社協・紀美野町災害ボランティアの会 防災学習「経験を学びに」【講演】(45名)	2名
11月26日	串本町	串本町社協「ゼロから始める災害ボランティア講座」【講義】(30名)	1名
12月9日	上富田町	上富田町社協災害ボランティアセンター訓練【参加】(25名)	2名
12月15日	和歌山市	市町村社会福祉協議会 会長会議【報告】	1名
1月12日	田辺市	ブロック別民生委員・児童委員研修会「御坊市・日高郡ブロック」【講演】(150名)	1名
1月14日	湯浅町	湯浅町「福祉防災ボランティア研修会」【講演】(80名)	1名
1月16日	那智勝浦町	ブロック別民生委員・児童委員研修会「新宮市・東牟婁郡ブロック」【講演】(120名)	1名
1月17日	和歌山市	シニアリーダーカレッジ「防災とボランティアの日」【講演】(60名)	1名
1月18日	かつらぎ町	ブロック別民生委員・児童委員研修会「橋本市・伊都郡ブロック」【講演】(100名)	1名
1月25日	有田市	ブロック別民生委員・児童委員研修会「有田市・有田郡ブロック」【講演】(120名)	1名
1月27日	田辺市	田辺西牟婁郡災害対応訓練事業【講演】(120名)	1名

期 日	場 所	内 容 (打ち合せ会議を除く)	参 加
1月31日	和歌山市	ブロック別民生委員・児童委員研修会「和歌山市ブロック」【講演】(150名)	1名
2月7日	岩出市	ブロック別民生委員・児童委員研修会「紀の川市・岩出市ブロック」【講演】(150名)	1名
2月15日	新宮市・オンライン	県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会「災害時の社協活動」第3回(37名)(再掲)	4名
2月19日	和歌山市	県地域福祉推進フォーラム【基調報告】	1名
3月13日	田辺市	ブロック別民生委員・児童委員研修会「田辺市・西牟婁郡ブロック」【講演】(180名)	1名
3月16日	紀の川市	住吉区社協と紀の川市福祉防災ボランティア会「防災交流会」【講演】	1名
3月21日	オンライン	内閣府「官民連携による被災者支援体制整備」モデル事業最終報告会【出席】	1名
3月25日	新宮市	新宮市民生委員児童委員協議会研修会【講義】(50名)	1名

## (2) 県災害ボランティアセンター運営・啓発事業

- ① 和歌山大学へ価値共創研究員として職員を派遣し、学生災害ボランティアセンターの運営、災害ボランティア教育及び災害対策への助言等の支援を行った。

期 日	場 所	内 容	参 加
4月1日～ 3月31日	和歌山市	学生災害ボランティアステーション「むすぼら」運営支援	1名
10月～11月 (計8回)	和歌山市	教養科目授業「災害ボランティア学」【講義】各270名	1名
12月8日	和歌山市	教養科目「自然災害と防災・減災」【講義】300名	1名

- ② 県災害ボランティアセンター協力団体との共同会議を実施したほか、連携強化及び協定締結の協議、県災害ボランティアセンターについて照会・相談等を行った。

期 日	場 所	内 容	参 加
8月31日、 9月12日、 12月12日	和歌山市	三者連携ミーティング「中間支援組織ネットワークについて」(県民生活課、わかやまNPOセンター、本会)	3名
5月8日、 12月21日	和歌山市	災害時相互支援協定の締結に向けて協議(和歌山弁護士会)	3名
10月30日	和歌山市	県災害ボランティアセンター協力団体共同会議(29名)	2名
1月11日	和歌山市	連合和歌山より被災者支援「携帯トイレ」寄贈の受領	4名
3月22日	和歌山市	県生活協同組合連合会との災害ボランティア活動支援に関する協定締結式	4名

- ③ スtockヤード(災害ボランティア活動支援資機材保管倉庫:「SY」と表記。)の配備・整備の実施

期 日	場 所	参 加
4月27日、7月24日、 3月7～8日、3月28日 (計4回)	資機材搬入・搬出作業及び整理、併せて2カ所に新規SYを設置。 (備考) 県内SY17カ所(和歌山市以外は社協) 和歌山市(加太、和歌山大学、わかやま市民生協支所、和歌山市立安原小学校)、紀の川市、橋本市、湯浅町、印南町、みなべ町(新設)、日高川町、田辺市(2カ所)、白浜町、上富田町(新設)、すさみ町、串本町、新宮市	4名
8月23日、8月29日 (計2回)	資機材の整理を通して、地域の備えや個人装備の点検機会と仲間づくりを目的に、災害ボランティア登録者や貴志川福祉防災ボランティア会、紀の川市社協の協力を得て実施(延べ21名)	4名
10月20日	新規SY設置に関する視察・協議(上富田町社協)(6名)	2名
12月20日	新規SY候補視察(和歌山市中松江自治会館)(7名)	2名
2月7日	新規SY設置に関する視察・協議(みなべ町社協)(6名)	1名

#### ④ 災害ボランティア登録の促進

期 日	場 所	内 容	新 規
4月1日 ～3月31日	和歌山県	災害ボランティア登録者(累計617名)	20名

#### ⑤ 情報発信、広報・啓発物の作成、活動の見える化

期 日	内 容
6月23日	県社協SNS(インスタグラム、フェイスブック)への掲載 「有田市立保田中学校 防災学習」
7月18日	県社協SNS(インスタグラム、フェイスブック)への掲載 「県立和歌山北高校 防災学習」
8月22日	NHK和歌山放送局「ラジオ防災講座・紀伊半島豪雨とボランティアについて」への出演
12月26日	WBS和歌山放送「ふるさと和歌山の防災」への出演
1月	県社協広報誌「福祉わかやま」(発行部数10,000部/月)への掲載 2024.1月号【特集】「防災とボランティア」
1月4日	県社協SNS(インスタグラム、フェイスブック)への掲載 令和6年能登半島地震「今、私たちにできること～ボランティア～」
2月21日	NHK和歌山放送局「ギュギュっと和歌山 守るプロジェクト」への出演
3月2日	県社協SNS(インスタグラム、フェイスブック)への掲載 「能登半島応援/ボランティアバス1便出発しました」
3月5日	県社協SNS(YouTube、インスタグラム、フェイスブック)への掲載 災害ボランティアさん手作りの災害ボランティア活動支援資機材の紹介
3月12日	県社協SNS(インスタグラム、フェイスブック)への掲載 みなべ町、上富田町に新ストックヤード完成!!

#### ⑥ その他(被災地支援活動の実施)

ア 「令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号災害」において、被災市町災害ボランティアセンターの設置・運営を支援した。また、災害ボランティア活動支援資機材・ストックヤードを活用した。

期 日	場 所	内 容	ボランティア
6月3日～7月31日	海 南 市	災害ボランティアセンター設置・運営及び ボランティア活動支援、住家での床上・床 下浸水等の被害への対応など	1,870名
6月5日～6月12日	橋 本 市		55名
6月3日～6月23日	紀の川市		148名
6月5日～7月20日	紀美野町		404名
6月5日～9月15日	かつらぎ町		634名

イ 「令和6年能登半島地震」の被災地支援として、和歌山県との合同によるバス運行で支援活動を行った。(災害ボランティアセンター運営にかかる応援職員派遣については総務企画部に別掲)

期 日	場 所	内 容	参加
3月1日～3月3日	石川県七尾市	【第1便】能登応援ボランティアバス運行	20名
3月19日～3月21日	石川県七尾市	【第2便】能登応援ボランティアバス運行	20名

## ≪地域福祉部・健康生きがい班・和歌山県いきいき長寿社会センター事業関係≫

### 1 地域活動を行うシニアリーダー養成

#### (1) いきいきシニアリーダーカレッジの実施

長年にわたり培った豊富な知識や経験を活用し、地域の見守り活動や日常生活支援、居場所づくり、サロンづくりなど地域のニーズに応じた活動を行うシニアリーダーとして、必要な知識を習得していただき、地域における高齢者等の日常的な支え合い活動を行う人材を養成し、高齢者の社会参加活動を促進することを目的に実施した。

校名	学科名	受講者数
①和歌山校	シニアの住みよいまちづくり実践学科	55名
②田辺校		70名
③橋本校		116名
計		241名

なお、各校のカリキュラムは、次のとおり。

#### 令和5年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [和歌山校] カリキュラム

回	期日	内容	講師名
1	5月10日	ちょっと心をゆるめて、大切なものを思い出してみませんか	いのちの講演家 岩崎 順子 氏
2	5月24日	楽しく食べて元気に生きる	栄養士グループ NAGA 栄養士 三國 和美 氏
3	6月14日	みんなで笑顔に ～レクリエーションを学ぼう～	レクリエーションコーディネーター 岩崎 哲 氏
4	6月28日	笑って学ぼう！～特殊詐欺防止落語～	落語家 ゴスペル亭パウロ 氏
5	7月 5日	地域活動実践！居場所づくり ～人生は2幕目が面白い～	社会福祉コミュニティ総合事務所 代表 市野 弘 氏
6	7月19日	コーチング～人の話を聴くことから～	OFFICE GRACE 代表 平野 未花 氏
7	8月 2日	終活のすすめ～相続・遺言について～	弁護士 森脇 大介 氏 法テラス和歌山
8	8月16日	自分の想いを大切に ～アンガーマネジメント&アサーション～	(一社)日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル 堀部 三智子 氏
9	9月 6日	お手玉・わらべ歌で遊ぼう	レクリエーションインストラクター 根来 葵 氏
10	9月20日	地域活動の実践発表～グループ紹介～	さくら会 代表 西端 久雄 氏 みんなのサロン 代表 西島レイ子 氏 雀の学校 代表 和関 勝男 氏 TMてん 代表 高月 清貴 氏
11	10月 4日	森で遊ぼう ～森を知ると和歌山が見えてくる～	森林インストラクター 岡田 和久 氏
12	10月18日	和歌山を知ろう～和歌浦・東照宮・天満宮～	和歌山市語り部クラブ 会長 丸毛 光明 氏 他3名
13	11月 1日	和歌山から世界を知ろう	和歌山県国際課



14	11月15日	和歌山を自慢しよう！～ふるさと再発見～	和歌山県社会福祉協議会地域福祉部 副部長 西川 隆博 氏
15	12月 6日	交通安全・防犯について	和歌山県警察本部 和歌山県県民生活課
16	12月20日	地域の魅力発見～和歌山の美術について～	和歌山県立近代美術館 学芸員 藤本 真名美 氏
17	1月17日	災害時にも心と力を分かち合おう ～防災とボランティアの灯～	和歌山県災害ボランティアセンター 所長 南出 考 氏
18	2月14日	みんながいきいきと暮らす地域のために	摂南大学現代社会学部 講師 上野山 裕士 氏

### 令和5年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [田辺校] カリキュラム

#### ●シニアの住みよいまちづくり実践学科

##### ①ささえあいコース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月 8日	マイナンバー制度について	田辺市情報政策課
2	6月12日	認知症予防ゲーム	認知症予防ネット・わかやま 藤島 壽子 氏
3	7月10日	減災教室 ～地震津波における基礎講座&家具固定講座～	和歌山県危機管理・消防課
4	8月 7日	救命講習	田辺消防署
5	9月 4日	成年後見制度について	田辺市社会福祉協議会 権利擁護センターたなべ
6	11月 6日	食事と健康について	南和歌山医療センター
7	12月 4日	電化製品の安全な使い方 電気に関するお話	関西電力株式会社 田辺営業所
8	1月22日	子どもを虐待から守るために	紀南児童相談所
9	2月 5日	NPO 法人南紀子どもステーションの取り組み について	NPO 法人南紀子どもステーション

##### ②紀南の魅力発見コース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月22日	南紀みらい株式会社のまちづくり事業について	南紀みらい株式会社
2	6月19日	みそ造りにチャレンジ ～紀南の食文化に触れる～	株式会社小山安吉醸造元
3	7月24日	紀州の伝統工芸品の魅力について	和歌山県教育委員会 文化遺産課
4	8月21日	森で遊ぼう ～森を知ると和歌山が見えてくる～	森林インストラクター 岡田 和久 氏
5	9月25日	田辺観光ボランティアガイドの会の取り組み &田辺の魅力について	田辺市観光ボランティアガイドの会

6	10月23日	南方熊楠記念館に行こう	南方熊楠記念館
7	11月20日	龍神村の紙漉き「山路紙」について ～その歴史と文化～	奥野 誠 氏
8	12月18日	世界遺産の景観条例 田辺市の文化財について	田辺市教育委員会 文化振興課
9	2月19日	和歌山県の棚田と段々畑について	和歌山県農林水産総務課 里地・里山振興室

### 令和5年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [橋本校] カリキュラム

#### ●シニアの住みよいまちづくり実践学科

##### ①ささえあいコース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月 9日	人生を楽しく生きるための地域づくり・仲間づくり	和歌山大学経済学部 教授 金川 めぐみ 氏
2	6月13日	笑って学ぼう！～特殊詐欺防止落語～	落語家 ゴスペル亭パウロ 氏
3	7月11日	遺言・相続登記の義務化について	和歌山地方方法務局橋本支部
4	8月 8日	元気の素は食事から ～健康寿命をのばそう～	和歌山県栄養士会 管理栄養士 紙谷 伸子 氏
5	9月12日	みんなで笑顔に ～レクリエーションを学ぼう～	レクリエーションコーディネーター 岩崎 哲 氏
6	10月10日	笑う門には福来る ～ラフターヨガと認知症ゲーム～	認知症予防ネット・わかやま 藤島 壽子 氏
7	11月14日	薬の基礎知識について	薬剤師 西前 多香哉 氏
8	12月12日	生き生きと暮らすために	和歌山県理学療法士会 吉岡 徹 氏
9	1月 9日	認知症サポーター養成講座	橋本市いきいき健康課
10	2月13日	地域活動実践！居場所づくり ～人生は二幕目が面白い～	和歌山福祉コミュニティ総合事務所 代表 市野 弘 氏

##### ②紀北の魅力発見コース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月23日	鎌倉時代後期の天野社・高野山	高野山大学 名誉教授 山蔭 加春夫 氏
2	6月27日	郷土について知ろう	和歌山県立博物館
3	7月25日	思い出の高野山町石道	高野山町石道研究 笹田 義美 氏
4	8月22日	木食応其と伊都郡	橋本市文化財保護審議会 委員 岩倉 哲夫 氏
5	9月26日	郷土の歴史を学ぼう	橋本市文化財保護審議会 委員 富加見 泰彦 氏

6	10月24日	橋本のいいところ	橋本観光ガイドの会 川名 ちず子 氏
7	11月28日	もうひとつの「柿の葉ずし」物語	和歌山大学客員教授 鈴木 裕範 氏
8	12月26日	橋本市の歴史再発見	橋本市文化財保護審議会 委員 宮本 佳典 氏
9	1月23日	和歌山を自慢しよう！～ふるさと再発見～	和歌山県社会福祉協議会地域福祉部 副部長 西川 隆博 氏
10	2月27日	交通の十字路口～紀北橋本をめぐる～	元あさもよし資料館館長 大岡 康之 氏

## (2) 高齢者サロン運営アドバイザー養成事業の実施(講座の開催)

高齢者が身近な場所で集まり、ふれあいを通じて仲間づくりを行い、認知症予防等の拠点ともなる地域サロン活動が重要となっているなか、地域のニーズに応じたサロン活動のアドバイス等を行う人材を養成することを目的に実施した。

開催場所	開催協力社協	受講者数
和歌山市あいあいセンター	和歌山市社会福祉協議会	33名
美浜町地域福祉センター	美浜町社会福祉協議会	33名

### 高齢者サロン運営アドバイザー養成講座 カリキュラム

#### ① 和歌山市社会福祉協議会

日 時	内 容
9月4日	1 開講式 2 講演 「和歌山県内の高齢者を取りまく状況」 講師 和歌山県長寿社会課
9月19日	講演 「認知症予防に資する社会参加の重要性」 講師 宝塚医療大学 教授 上城 憲司 氏
10月5日	講演 「何歳からでも始められるエクササイズ」 講師 医療法人龍神整形外科 在宅リハビリテーション推進部長 龍神 正導 氏
10月19日	1 講演 「居場所からはじめる地域づくり」 講師 摂南大学現代社会学部 講師 上野山 裕士 氏 2 修了式

#### ② 美浜町社会福祉協議会

日 時	内 容
1月18日	1 開講式 2 講演 「健康寿命は笑顔と感謝から～レクで心ほぐし・体ほぐし～」 講師 レクリエーションコーディネーター 岩崎 哲 氏
1月25日	講演 「居場所づくりを通じて地域社会の実現に取り組む」 講師 摂南大学現在社会学部 講師 上野山 裕士 氏
2月8日	講演 「サロンプギウギ～明日誰かに試したくなるレクリエーション」 講師 あそびの工房もくもく屋 事務局長、コミュニケーションアドバイザー 田川 雅規 氏
2月22日	1 講演 「人生を楽しく生きるための地域づくり・仲間づくり」 講師 和歌山大学 経済学部 学部長・教授 金川 めぐみ 氏 2 修了式

### (3) 仲間づくり支援事業の実施

高齢者が家に閉じこもることなく外に出て、生きがいを持って活動することができる環境をつくるため、同じ趣味や興味を持つ高齢者が集まり、自由に活動が行えるよう、情報提供やサークル活動等を援助するとともに、コーディネートする仲間づくり支援相談員（1名）を配置した。

また、いきいきシニアリーダーカレッジ・高齢者サロン運営アドバイザー養成講座の修了後、単独で地域活動を継続して行うことが難しいという課題解決のため、修了者等がグループを結成して活動を行うときに、本会からアドバイザーの派遣や消耗品を支給する支援事業を実施した。

令和5年度、5グループ結成。

アルゴノーツ(和歌山市)、シニアダンスリズム体操(田辺市)、社会福祉西脇のんびりカフェ(和歌山市)、サロンはるかぜ(和歌山市)、折り紙クラブ(田辺市)

## 2 高齢者の生きがいづくり・健康増進

### (1) 紀の国いきいき健康長寿祭の開催

高齢者に年間を通してスポーツに親しむ機会を持っていただき、健康づくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるとともに、「第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）」及び「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」出場選手の選考会を兼ねたスポーツ交流大会とすることを目的に開催した。

各競技種目の優勝～第4位までに賞品とメダルを授与、また、参加者の中から年齢が最も高い方を「最高齢者賞」として表彰した。

#### ① スポーツ交流大会の開催

ア 紀の国いきいき健康長寿祭 スポーツ交流大会〔兼：「第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）」出場選手選考会〕

a 期 日 令和5年5月23日  
場 所 和歌山市立河南総合体育館（和歌山市）  
種 目 卓球（ラージボール）  
参加者 21名

b 期 日 令和5年4月21日  
場 所 海南市民運動場（海南市）  
種 目 ペタンク  
参加者 161名

イ 紀の国いきいき健康長寿祭 スポーツ交流大会〔兼：「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」出場選手選考会〕

a 期 日 令和5年11月16日  
場 所 川辺ゲートボール場（日高川町）  
種 目 ゲートボール  
参加者 83名

b 期 日 令和5年11月29日  
場 所 海南市民運動場（海南市）  
種 目 グラウンド・ゴルフ①  
参加者 192名

c 期 日 令和5年12月14日  
場 所 南山スポーツ公園（日高川町）  
種 目 グラウンド・ゴルフ②

参加者 262名

- d 期 日 令和5年12月21日  
場 所 潮岬青少年の家(串本町)  
種 目 グラウンド・ゴルフ③  
参加者 135名

- ウ 紀の国いきいき健康長寿祭 パークゴルフ交流大会  
高齢者の健康増進と生きがいつくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、高齢者が生涯現役でいきいきと暮らせるまちづくりを進めることを目的に開催した。  
期 日 令和5年12月6日  
場 所 のかみふれあい公園パークゴルフ場(紀美野町)  
種 目 パークゴルフ  
参加者 163名  
内 容 競技種目の優勝～第4位までに賞品と盾を授与、また、参加者の中から年齢が最も高い方を「最高齢者賞」として表彰した。

○総参加人数 1,017名

- ② 紀の国いきいき健康長寿祭 囲碁大会・将棋大会〔兼：「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛顔のえひめ2023)」出場選手選考会〕  
高齢者が、囲碁・将棋を通じて脳を若く保つトレーニングに努め、健康づくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるとともに、「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛顔のえひめ2023)」出場選手選考会を兼ねた大会を開催した。

	期 日	開 催 場 所	参加者
囲 碁	令和5年5月31日(水)	和歌山ビッグ愛1階展示ホール	19名
将 棋	令和5年6月1日(木)	和歌山ビッグ愛1階展示ホール	45名

- ③ 紀の国いきいき健康長寿祭 健康マージャン大会〔兼：「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛顔のえひめ2023)」出場選手選考会〕

	期 日	開 催 場 所	参加者
健康マージャン	令和5年5月15日(月)	アミューズメントプレイス ま〜じゅん	24名
健康マージャン	令和5年5月19日(金)	アミューズメントプレイス ま〜じゅん	24名

- ④ 紀の国いきいき健康長寿祭 シルバー美術展〔兼：「第36回全国健康福祉祭とっとり大会(ねんりんピックはばたけ鳥取2024)」出品作品選考会〕

高齢者が創作した美術作品を展示する機会を設けることにより、高齢者の創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいつくりを推進することを目的に開催した。

期 日 令和6年2月29日～3月3日(4日間)  
場 所 和歌山県民文化会館 大展示室(和歌山市)  
出 品 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真  
出品申込点数 184点  
ねんりんピックはばたけ鳥取2024出品作品 10点

- ⑤ ふれあい作品展

老人福祉施設及び介護保険施設の利用者に作品を発表する場を提供することにより、創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいつくりを目的に開催した。

期 日 令和5年11月25日～28日(4日間)

場 所 和歌山ビッグ愛1階展示ホール（和歌山市）  
 内 容 出展法人（施設）数：38法人（58施設）  
 出品点数：821点  
 出品者のうち最高齢の方（108歳）を「最高齢者賞」、100歳を超える方22名（最高齢者賞受賞者を除く）を「高齢者賞」として表彰した。（来場者数532名）

**(2) 第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）参加者派遣事業について**

高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康福祉の総合的な祭典である「全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）」が令和5年10月28日～31日に愛媛県で開催され、142名の選手を派遣した。

第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）

期 日 令和5年10月28日（土）～10月31日（火）

テーマ ねんりんを 重ねた愛顔 伊予に咲く

場 所 愛媛県内 20市町で開催

**3 社会参加活動を希望する高齢者と企業や団体、学校等を結びつける取組を推進**

**(1) 「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」の実施**

平成29年度に和歌山県から委託を受け運営を開始した「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」については、高齢者の「生きがいづくり」と「健康づくり」を促進するため、これまでサークル活動実施団体や老人クラブを始めとする各種団体への訪問等を行い活動の場を広げてきたが、商工観光・芸術文化・スポーツ関係団体など新たな分野を開拓し活動の場を広げた。

また、ホームページを充実させ、バンク登録者の公開や、Web上で登録や活動依頼・活動報告など一連の作業がスムーズに行えるよう改良を行うとともに、幅広く利用していただけるようリーフレットやチラシ、各種団体との連携などで、幅広く広報を行った。

生きがいバンクへの登録については、個人・団体合わせて598件、またマッチングについては、329件となり様々な活動を行った。

令和5年度わかやま元気シニア生きがいバンク登録状況等

登録件数	598件（累計 6,039件）	
(内訳)	個人	594名（累計 5,840名）
	団体	4団体（累計 199団体）
マッチング件数	329件（累計 1,490件）	

※累計は平成29年7月1日から令和6年3月31日までの件数

**4 その他**

**(1) ボランティアスタッフ「いきいきSUN」の登録・活用事業の実施**

いきいき長寿社会センターが行う健康・生きがいづくり事業に関する事務作業、広報、準備および実施時の運営スタッフとして登録している「いきいきSUN」のボランティアスタッフに、各種事業への参加・協力を得た。

登録者の状況 57名

(内 訳) 和歌山市 47名、海南市 3名、紀の川市 2名、岩出市 4名、白浜町 1名

**(2) 全国・近畿ブロック推進機構会議等への参加**

会 議 名	期 日	参 加
全国健康福祉祭担当係長会議	5月17、18日	愛媛県松山市
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 令和5年度第1回総会	7月4日	東京都
全国オンライン講演会に開催に向けた検討会	8月23日	オンライン
第2回テーマ別会議 「社会教育(生涯学習)の理解と高齢者とのコミュニケーション」	1月17日	オンライン
令和5年度近畿ブロック推進機構連絡協議会	1月25日	大阪府
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 新幹事会	2月9日	オンライン
全国オンライン講演会説明会	2月15日	オンライン
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 令和5年度第2回総会	2月28日	東京都
健康ゲーム指導士養成研修会	3月6日	東京都
第3回テーマ別会議 「ねんりんピック選手派遣業務の実態と効率化について」	3月14日	東京都
第4回テーマ別会議 「高齢者の運動習慣について～どうすれば続くのか～」	3月25日	オンライン

～事項別報告～

**Ⅲ 福祉人材研修部**





## 《福祉人材研修部・福祉人材センター事業関係》

### 1 福祉人材の確保・定着支援、福祉の魅力発信

#### (1) 福祉人材センター事業（福祉人材無料職業紹介事業等）

##### ① 福祉人材の登録・紹介及び無料職業紹介にかかる窓口業務

年間を通じて、福祉分野への就業を希望する方等からの相談受付、求人情報の提供や、福祉の仕事にかかる求職登録・紹介を行った。

※福祉人材センター取扱地域：印南町以北 紀南福祉人材バンク取扱地域：みなべ町以南

##### ア 相談件数

	求人	求職	計
福祉人材センター	968	1,092	2,060
紀南福祉人材バンク	665	628	1,293
県全体	1,633	1,720	3,353

##### イ 求人求職登録及び紹介・就職状況

	新規求人数	新規求職数	紹介・応募者数	採用・内定数
福祉人材センター	1,705	408	60	45
紀南福祉人材バンク	1,493	281	42	34
県全体	3,198	689	102	79

##### ウ 福祉人材情報システム（COOLシステム）の運用

中央福祉人材センターが運営する福祉人材情報システム「福祉のお仕事」により求人情報を掲載し、求人・求職者への情報提供、全国統計等への情報送信を行った。

また、求人事業所からの申請に応じ、システムによる求職者への案内を実施した。

##### ② 求人・求職情報の提供、求人情報「わーく」の発行

求人情報紙を毎月作成し、求職登録者に送付、窓口相談者等にも配布。ホームページにも掲載した。

発行部数：1,300部×5か月（7、8、11、2、3月）、1,200部×7か月（その他の月）

##### ③ 紀南福祉人材バンク事業の実施（委託・運営支援）

ア 県内全域において円滑に事業を進めるため、紀南福祉人材バンクを設置し、職業紹介事業の窓口業務等を実施した。

##### イ 紀南福祉人材バンク運営協議会

期 日	3月22日
会 場	田辺市民総合センター
運営委員	7名
議 題	・令和5年度運営状況について ・令和6年度事業計画について

#### (2) 福祉・介護人材マッチング支援等

##### ① 福祉・介護職場就職相談会等の実施

##### ア 福祉・介護・保育の就職フェア

福祉・介護・保育職場への就職希望者等を対象に、求人（予定）事業所との個別面談会を実施した。

また、福祉の仕事や資格取得に関する様々な相談にも応じた。

	第1回 (紀北会場)	第2回 (紀北会場)	第3回 (紀北会場)
期 日	7月15日	11月3日	3月2日
会 場 (開催方法)	和歌山ビッグ愛 (対面・オンライン併用)	和歌山ビッグ愛 (対面・オンライン併用)	和歌山ビッグ愛 (対面・オンライン併用)
参加者	76名	55名	39名
参加事業所	40事業所	35事業所	34事業所
求人数	324名	277名	277名
採用・内定者	6名	5名	0名 (3月31日現在)

	第1回 (田辺会場)	第2回 (新宮会場)	第3回 (田辺会場)
期 日	8月12日	11月4日	2月3日
会 場 (開催方法)	ガーデンホテルハナヨ (対面・オンライン併用)	新宮市福祉センター (対面・オンライン併用)	ビッグ・ユー (対面・オンライン併用)
参加者	30名	6名	23名
参加事業所	28事業所	10事業所	25事業所
求人数	155名	72名	112名
採用・内定者	1名	0名	5名

イ 地域密着型就職説明会 (介護助手就職相談会) の開催

介護未経験の中高齢者等の入門的研修 (2日間) を和歌山県介護普及センターが行うのにあわせ、連携して就労までのマッチングを行った。

	和歌山市	田辺市	和歌山市
期 日	7月15日	2月3日	3月2日
会 場	和歌山ビッグ愛	ビッグ・ユー	和歌山ビッグ愛
来 場 者	9名	9名	7名
参加事業所	6事業所	4事業所	5事業所
求人数	14名	8名	9名
採用・内定者	3名	1名	1名
備 考	第1回就職フェアと 同時開催	第3回しごとフェアと 同時開催	第3回就職フェアと 同時開催

② 福祉の職場見学会 (バスツアー)

福祉職への新規参入及び就労意欲向上の支援を目的に介護未経験者の方、福祉の仕事に関心がある方を対象とした日帰りバスツアーを実施した。

	第1回 (紀南)	第2回 (紀北)
期 日	9月15日	9月27日
場 所	デイサービスセンター ぱる 特別養護老人ホーム 愛の園	あいの里デイサービスセンター 特別養護老人ホーム ほうらい苑
参加者	8名	6名
施設見学後就職者	1名	0名

③ 福祉・介護の仕事チャレンジ (職場体験事業)

ア 介護分野の仕事に関心のある学生・一般の方に対して、介護職場での体験の機会を提供。

- ・体験実施期間 4月17日 (月) ～ 3月29日 (金)
- ・申込受付期間 4月 3日 (月) ～ 3月15日 (金)

・受入事業所数

分野	事業所数
高齢者福祉・介護	147
高齢者福祉・障害者福祉	6
障害者福祉	53
児童福祉	18
児童福祉・障害者福祉	23
その他	0
計	247

・参加者数 93名（一般36名・学生57名）

・参加者の体験先施設

体験先種別	施設名	参加者数	延日数
特別養護老人ホーム	紀三井寺苑	1	1
	天美苑	2	2
	喜成会	1	3
	高陽園	2	2
	にしき園	1	1
	かぐのみ苑湯浅	1	2
	わかば	3	3
介護老人保健施設	光苑	6	10
	けんゆう苑	1	1
	松寿苑	2	2
サービス付き高齢者向け住宅	トータルケアサポートなだい	1	3
	生協にじ	5	5
養護老人ホーム	ときわ寮	1	1
小規模多機能型居宅介護	あすか苑	1	3
看護小規模多機能型居宅介護	生協中之島複合型サービス	6	6
	海南げんきデイサービス	1	1
通所介護	A c t i v a	1	5
	阪井カルフル・ド・ルポ	1	2
	ピース&ピース	1	1
	吉備苑デイサービスセンター	1	2
	デイサービス シルバーネスト	1	2
	デイサービス 太陽の家	1	1
	岩出あいあいデイサービスセンター	1	5
	さくらデイケアセンター	2	2
	生協中之島デイサービス	6	8
	デイサービスあおぞら夢	1	3
	紀伊てまり苑	1	3
	第二親和園デイサービスセンター	1	3
	デイサービスあいの里	1	2
	生協芦原診療所デイサービス	3	3
	おおみや診療所デイサービス	1	1
	海南げんきデイサービス	3	3
	和歌山生協病院デイケア	3	3
	生協よりあい	1	1
	河西診療所	1	1

体験先種別	施設名	参加者数	延日数
地域密着型通所介護	結デイサービス	1	1
認知症対応型通所介護	生協よりあい	1	1
認知症対応型共同生活介護	春風会わかのうら	1	3
	春風会かたおなみ	1	1
	春風会きし	1	1
	グループホーム第六親和園	1	2
	グループホーム天美苑Ⅰ・Ⅱ	1	1
	グループホームあいの里	2	3
訪問介護	ヘルパーステーション結	1	1
	湯浅町社会福祉協議会	1	1
	ヘルパーステーション協同	1	1
障害者入所施設・ 就労継続支援B型	綜成苑	1	1
就労継続支援B型	就労支援センター つつじヶ丘苑	1	3
授産施設	つわぶき授産工場	1	1
障害者支援施設	日置川みどり園	1	3
	綜成苑	1	3
児童発達支援センター	あおい学園	1	2
児童養護施設	こぼと学園	1	2
放課後等デイサービス	ほほえみ	1	3
	こどもサポート教室 きらり和歌山	1	3
	わんだふる	1	3
認定こども園	ようすい子ども園	2	6
	佐野こども園	1	3
企業主導型保育園	らいふきつず保育園	2	4
計	59事業所	93	150

- ・事業の広報周知等  
情報紙への掲載、学校へパンフレットの送付、就職フェア等により行った。

イ 体験終了後、福祉人材センターへの登録の案内等、介護分野への就労支援を行った。

- ・体験者の就労状況 (単位：人)

体験先に就職内定	9 (0)
体験先とは別な介護サービス等事業所に就職	1 (0)
福祉系大学・専門学校へ進学	1 (1)
次学年へ進級	54 (54)
介護分野以外に就職	0 (0)
体験後も体験前と同じ所に在職(介護)	0 (0)
体験後も体験前と同じ所に在職(介護以外)	3 (0)
模索中である・回答待ち	21 (1)

※ ( ) 内の数字は学生数

ウ 事業所への事前説明及び結果のフィードバック

- ・事業所への事前説明

受入依頼の時に、実施要項・受入申込要領等を送付し、事前説明とする。また併せて、実際の体験者受け入れ時には、受入決定通知を送付後、電話にて書類内容と体験の事前説明を行った。

- ・結果のフィードバック

受入事業所に体験者報告のまとめを送付した。

④ 学校訪問、出前講座による人材の参入促進

ア 中学校・高等学校・支援学校への訪問

期日	訪問先
5月23日	和歌山北高校
6月28日	和歌山東高校
7月5日	紀央館高校、箕島高校、紀北支援学校、きのくに青雲高校、和歌山北高校
7月6日	串本古座高校、新翔高校、みくまの支援学校
7月10日	貴志川高校、県立和歌山高校、和歌山北高校、市立和歌山高校
7月11日	田辺高校、熊野高校、はまゆう支援学校、田辺工業高校、南紀高校、神島高校、南部高校
9月7日	保田中学校
10月11日	きのくに青雲高校
11月17日	和歌山信愛高校、保田中学校
11月22日	和歌山北高校
1月5日	田辺高校、熊野高校、田辺工業高校、南紀高校、神島高校
1月10日	南部高校
1月23日	きのくに青雲高校
1月24日	美山中学校、日高中学校
2月2日	和歌山東高校

イ 大学・短期大学・専門学校への訪問（電話等含む）

期日	訪問先
6月5日	和歌山YMCA国際福祉専門学校
6月19日	南海福祉看護専門学校、羽衣国際大学、東大阪大学、東大阪短期大学、大阪城南女子短期大学、関西福祉科学大学
6月21日	大阪千代田短期大学、大阪大谷大学、大阪健康福祉短期大学、桃山学院大学、桃山学院教育大学
6月30日	和歌山信愛大学、大原学園
7月5日	和歌山信愛女子短期大学
7月7日	和歌山社会福祉専門学校
10月17日	東大阪大学、東大阪短期大学、羽衣国際大学、南海福祉看護専門学校、四天王寺大学、関西福祉科学大学
10月18日	和歌山信愛大学、
10月19日	和歌山大阪健康ほいく専門学校、大阪健康福祉短期大学、桃山学院教育大学
1月23日	和歌山YMCA国際福祉専門学校
1月30日	和歌山社会福祉専門学校
2月2日	和歌山大学、宝塚医療大学、和歌山コンピュータービジネス専門学校
2月13日	和歌山信愛大学
2月22日	大阪千代田短期大学、常磐会学園大学、常磐会短期大学、大阪教育福祉専門学校、大阪城南女子短期大学
2月28日	四天王寺大学、四天王寺短期大学
2月29日	大原学園

ウ 福祉のしごと出前講座

期日	訪問先	講師
5月13日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生14名）	和歌山県福祉人材センター

5月14日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生5名）	和歌山県福祉人材センター
5月20日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：有田市（高校生4名）	和歌山県福祉人材センター
5月25日	神島高校（高校生15名）	老人保健施設あきつの
5月31日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者8名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
6月13日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者8名）	和歌山県福祉人材センター
7月4日	和歌山北高校（高校生20名）	和歌山県福祉人材センター
7月11日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者6名）	和歌山県福祉人材センター
7月28日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者9名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
8月8日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者8名）	和歌山県福祉人材センター
8月23日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生11名）	和歌山県福祉人材センター
8月28日	安原福祉会（高校生4名）	和歌山県福祉人材センター
8月29日	よつ葉福祉会（職業訓練受講生4名）	和歌山県福祉人材センター
8月29日	新翔高校（高校生5名）	特別養護老人ホーム古座川園
9月12日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者7名）	和歌山県福祉人材センター
9月29日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者8名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
10月5日	ハローワーク橋本 介護の就職セミナー（求職者23名）	和歌山県福祉人材センター
10月7日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生7名）	和歌山県福祉人材センター
10月8日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生13名）	和歌山県福祉人材センター
10月10日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者8名）	和歌山県福祉人材センター
10月15日	マナビス田辺校（初任者研修受講生5名）	老人保健施設あきつの
10月19日	新庄小学校（6年生18名）	デイサービスセンター 自彊館
10月30日	介護労働安定センター（実務者研修受講者38名）	和歌山県福祉人材センター
11月7日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者13名）	和歌山県福祉人材センター
11月18日	パソコンスクールTAKumi（求職者4名）	和歌山県福祉人材センター
11月21日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者9名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
11月28日	ハローワーク橋本 介護の就職セミナー（求職者15名）	和歌山県福祉人材センター
11月30日	ハローワーク湯浅 介護の就職セミナー（求職者9名）	和歌山県福祉人材センター
12月12日	和歌山北高校西校舎（高校生109名）	和歌山県介護福祉士会 和歌山県福祉人材センター

12月12日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者7名）	和歌山県福祉人材センター
12月12日	南紀高校（高校生80名）	放課後等デイサービス くるみ
12月13日	保田中学校（中学生101名）	和歌山県介護福祉士会 和歌山県福祉人材センター
1月9日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者8名）	和歌山県福祉人材センター
1月26日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者8名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
2月7日	よつ葉福祉会（職業訓練受講生4名）	和歌山県福祉人材センター
2月13日	ハローワーク橋本 介護の就職セミナー（求職者9名）	和歌山県福祉人材センター
2月13日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者7名）	和歌山県福祉人材センター
2月19日	日高中学校（中学生80名）	和歌山県介護福祉士会 和歌山県福祉人材センター
2月21日	美山中学校（中学生7名）	和歌山県介護福祉士会 和歌山県福祉人材センター
2月26日	会津中学校（中学生85名）	デイサービスあいづ
2月29日	学生支援プロジェクト（中学生58名）	和歌山県福祉人材センター
3月5日	中芳養小学校（小学生23名）	サービス付き高齢者向け住宅 イクルみなべ
3月12日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者7名）	和歌山県福祉人材センター
3月15日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者6名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク

⑤ 求職者等への福祉の仕事 出張相談

福祉人材センターのブースを設置するなどし、求人・求職にかかる相談、資格取得方法等にかかる相談に応じるとともに、福祉の仕事の広報、資料等を配布することで、福祉人材センター及び紀南福祉人材バンクの周知に努めた。

ア 各種イベントへの出張相談

各団体が実施する合同説明会や介護職員初任者研修の場で、「福祉のしごと相談コーナー」を設け、福祉の職場への就労促進と福祉人材センター・バンクのPR等を行った。

期日	場所	相談件数
5月1日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	8
5月16日	看護職員就職説明会（紀の川市）	2
5月16日	看護職員就職説明会（新宮市）	2
7月1日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	9
7月21日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	7
8月11日	紀南合同企業説明会Uターンフェア（田辺市）	1
8月16日	第59回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	2
8月30日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	11
9月28日	女性の就職応援フェア2023（和歌山市）	4
10月29日	岩出・紀の川就職フェア（岩出市）	3
11月4日	橋本・伊都就職フェア（橋本市）	1



11月8日	介護の職場就職説明会（田辺市）	7
11月20日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	9
11月27日	ハローワークかいなん（海南市）	1
11月28日	ハローワークかいなん（海南市）	0
12月7日	わかやま就職フェア（和歌山市）	1
12月27日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	12
1月13日	合同企業説明会田辺就職フェア（田辺市）	2
2月17日	ふれあい文化祭（田辺市）	0
2月18日	ふれあい文化祭（田辺市）	0
2月13日	ハローワーク橋本（橋本市）	0
2月16日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	10
2月29日	看護職員就職説明会（紀の川市）	1
2月29日	学生支援プロジェクト（和歌山市）	3
3月11日	第60回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	3
3月12日	第60回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	2
3月13日	看護職員就職説明会（新宮市）	5
3月18日	介護保険施設就職相談フェア（橋本市）	1

イ ハローワーク等への出張相談

ハローワーク等で、福祉の仕事内容や資格・就職活動の方法などの情報提供をし、人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参入促進を図った。

出張先	実施日	実施回数	相談件数
ハローワーク和歌山	毎月 1回 ※10月はなし	11	23
ハローワーク御坊	奇数月の第3水曜日	6	8
ワークプラザ紀ノ川	奇数月の第2水曜日	6	9
ハローワーク田辺	奇数月 1回	6	13
ハローワーク新宮	奇数月の第3火曜日	6	4

⑥ 福祉の仕事イメージアップ事業

ア 介護職のイメージアップ冊子の作成

中学生・高校生やその保護者、教員等向けガイドブック『介護』という仕事』の作成

イ 県内中学校・高校等への情報提供

ウ 福祉関係DVDの貸出

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
貸出数	1	11	4	1	1	4	3	3	1	1	1	1	32
貸出人数	1	5	2	1	1	2	3	3	1	1	1	1	22

エ 各種広報媒体を活用した広報・啓発

・本会広報誌、ホームページ、SNS（Facebook、Instagram、LINE）への情報掲載

オ 福祉人材センターホームページのリニューアル

求職者や求人事業所などのページ閲覧者がより見やすく、わかりやすいホームページとするため全面的にリニューアルを行った。

⑦ 介護福祉士等の復職支援

ア 有資格者の届出システムの周知、届出システムによる情報提供

離職した介護福祉士の福祉人材センターへの届出（努力義務）とともに、現在就業中の方を含む介護福

社士、保育士、介護職員初任者研修修了者等有資格者の生涯にわたる復職についての支援を福祉人材センターが行うことを目的とした全国共通の届出システムの登録・利用方法を周知した。また、届出システムによる情報提供を行った。

届出者数 394名

イ 情報の提供

平成26年度及び27年度実施のアンケート調査への回答者のうち、情報提供希望者に職場体験や就職フェア、再就職支援研修会等の情報を提供。年3回実施。(希望者数70名 [内訳：送付21名、LINE49名])

⑧ 介護未経験の中高齢者等マッチングに関する求人情報の提供

介護未経験の中高齢者等の入門的研修及び介護助手就職相談会の広報を実施するとともに、マッチングに関する求人情報の提供を行った。

ア 就職情報の提供

研修会案内と事業所の求人情報を紹介する冊子を作成し、ハローワーク、シルバー人材センター、市町村等を通じ配付した。

イ 地方新聞・情報紙への広告掲載

⑨ 福祉施設等の経営相談及び専門アドバイザーの設置

ア 福祉施設等の経営相談

相談助言 0件

イ 専門アドバイザーによる専門相談

奥原 昇 氏 (社会保険労務士)

⑩ 事業所訪問、求人マッチングに係る調整

求人開拓等のため、事業所を訪問した。訪問先延べ107事業所。

⑪ 福祉施設等経営者セミナー

各事業所における福祉人材の確保と定着を支援するため、セミナーを開催した。

ア 第1回

期 日	7月28日
開催方法	オンライン
参加者	41名
内 容	「職員の働きやすい環境構築・人材定着の支援 ～入職待機者が多数いる介護施設の実践とアイデア～」 講師：社会福祉法人 あいの土山福祉会 エーデル土山 介護福祉士長 岩田 秀信 氏

イ 第2回

期 日	12月18日
開催方法	オンライン
参加者	29名
内 容	「介護事業所の『人材採用』成功の秘訣と、 業務改革で『人材定着』を目指す方法」 講師：ふくしえん社会保険労務士法人 代表社員 人材定着コンサルタント 後藤 功太 氏

ウ 第3回

期 日	2月15日
開催方法	対面・オンライン併用
参加者	59名
内 容	<p>「業務改善の取組事例の紹介」</p> <p>テーマ①『「えっ！知らなかった。」をなくすために」 講師：特別養護老人ホーム 紀三井寺苑 介護主任 木村 耕三 氏</p> <p>テーマ②「ショートステイ利用時の荷物チェックの簡素化」 講師：介護老人保健施設 光苑 介護主任 中筋 加奈子 氏</p> <p>テーマ③「外国人介護職員も含めた指示連絡リーダーの導入と定着化について」 講師：特別養護老人ホーム 美里園 介護職員 中井 正広 氏</p> <p>テーマ④「職員の企画・立案による業務改善の実施」 講師：介護老人保健施設 カルフール・ド・ルポ 事務次長 片山 智文 氏</p> <p>テーマ⑤「週休3日制にむけた取組」 講師：特別養護老人ホーム 天美苑 介護主任 柏木 忠幸 氏</p> <p>「取組事例に対する講評 及び 業務改善支援の実例紹介」 講師：介護生産性向上推進アドバイザー 大松 良司 氏</p>

⑫ 外国人介護人材受入支援事業

介護職の外国人材拡大について、研修会を開催し、受入事業所を支援した。  
指導者向け研修会

	第1回	第2回
期 日	11月21日	1月29日
開催方法	オンライン	オンライン
参加者	18名	28名
内 容	・講義「外国人介護人材に係る受入制度・特徴について」	・講義「外国人介護人材に対する日本語教育について」 ・講義「外国人介護人材への取組について」

⑬ 資格取得に係る受験対策講座等（「福祉のしごと塾」）の実施

福祉資格の取得を目指す方々を対象に受験対策講座を紀南福祉人材バンクで実施した。

介護支援専門員実務研修受講試験 受験対策講座	
期 日	7月21日～9月8日の間 計6回 午後7時～9時
会 場	田辺市民総合センター 機能訓練室
参加者	11名（受験番号届出5名、合格0名）

介護福祉士国家試験 受験対策講座	
期 日	11月8日～12月13日の間 計6回 午後7時～9時
会 場	よりみちサロンいおり
参加者	9名（受験番号届出8名、合格6名）

社会福祉士国家試験 受験対策講座	
期 日	11月30日～12月21日 計4回 午後7時～9時
会 場	よりみちサロンいおり
参加者合計	7名（受験番号届出6名、合格5名）

(3) 保育士人材確保事業

※（ ）内の数字は放課後児童クラブ人材確保事業実績数

① 潜在保育士の再就職に関する相談等

ア 相談件数

	新規就職	再就職	離職防止	その他	求人	計
紀北	24 (0)	94 (5)	0 (0)	0 (0)	122 (6)	240 (11)
紀中	13 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)	22 (0)
紀南	14 (0)	77 (3)	6 (0)	8 (1)	63 (3)	168 (7)
不明	15 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	6 (0)	25 (0)
計	66 (0)	173 (8)	6 (0)	11 (1)	199 (9)	455 (18)

※「(1) 福祉人材センター事業（福祉人材無料職業事業等）」に記載の①ア表の内数

イ 保育士にかかる求人求職登録及び紹介・就職状況

	新規求人数	新規求職数	紹介・応募者数	採用・内定数
県全体	396	141	16	12

※上表は、「(1) 福祉人材センター事業（福祉人材無料職業事業等）」に記載の①イ表の内数

※上表以外による保育士にかかる採用・内定者数2名

ウ 出張相談（相談件数）

場所	ハローワーク 御坊	ワークプラザ 紀ノ川	ハローワーク 新宮	
期日	5月11日	5月10日	5月16日	計
	7月13日	7月12日	7月18日	
	9月14日	9月13日	9月19日	
	11月9日	11月8日	11月21日	
	1月11日	1月10日	1月16日	
	3月14日	3月13日	3月19日	
計	2 (0)	2 (0)	1 (0)	5 (0)

エ 保育士サロンの開催

再就職に向けての不安や思い、保育現場の情報について等、意見交換及び情報交換

- ・“ふおすた～サロン”（和歌山ビッグ愛）

	第1回
期日	10月31日
参加者	0名（0名）

- ・“保育士応援カフェ”（よりみちサロンいおり）

	第1回	第2回
期日	6月28日	9月27日
参加者	1名（0名）	0名（0名）

オ 保育所見学

保育士として就職を考えている方が保育所等の雰囲気を知る機会として随時受付。

訪問先・日時を調整する。見学者の希望により保育士支援コーディネーターが同行する。

	件数	うち同行件数
紀北・紀中	24 (1)	6 (0)
紀南	6 (0)	4 (0)
計	30 (1)	10 (0)

カ 情報の提供

平成 26 年度及び平成 30 年度実施のアンケート調査への回答者のうち、情報提供希望者に職場体験や就職フェア、再就職支援研修会等の情報を提供した。(希望者数 55 名 [内訳：送付 9 名、LINE 46 名])

② 保育士の定着支援に係る相談等

ア 保育所訪問

保育所及び市町村における保育士不足等現状把握の調査等を行った。

	公立	私立	合計
紀北・紀中	36 (15)	110 (5)	146 (20)
紀南	11 (5)	24 (1)	35 (6)
計	47 (20)	134 (6)	181 (26)

③ 潜在保育士に対する再就職支援研修

ア 潜在保育士再就職支援研修会の開催

	紀北会場	紀南会場
期 日	10月11日、12日 ※紀南会場はサテライト会場として紀北会場の様子をライブ配信	
会 場	和歌山ビッグ愛	田辺市民総合センター
参加者	延べ40名	延べ9名
内 容	講義「子どもの発達と保育環境（0～2歳児の育ちと関わり方）」 「子どもの発達と保育環境（3～5歳児の育ちと関わり方）」 「子どもと共に楽しく遊びましょう（手遊びやペープサート等を使って子どもと関わる）」 講師：大原情報医療保育専門学校和歌山校 非常勤講師 芝本 和華 氏 講義「発達の気になる子どもへの関わり（発達の気になる子どもの言動を理解する）」 講師：和歌山市保育子ども園課 臨床心理士 中村 衣里 氏	

(4) 保育人材定着支援事業

保育士支援アドバイザー（社会保険労務士）を配置し、下記の業務を行った。

（社会保険労務士 雑賀 輝正 氏に委託）

- ・ 保育士の労働環境改善（職員の勤務時間の改善や子育て中の保育士が多様な働き方を選択できる環境づくり、ICT化の推進、書類作成の省力化、業務改善等）に係る保育所等への巡回訪問支援の実施
- ・ その他保育士の労働環境改善に資する事業の実施

① 保育士の労働環境改善に係る巡回訪問支援

ア モデル園（太陽保育園）への重点支援

a 太陽保育園（主任）との協議

期 日	場 所	内 容
令和5年4月27日	県社協	現状の聞き取り（新年度の職員の状況確認） 今後の展開について（保育支援者と ICT 機器導入等）

b 打ち合せ

期 日	場 所	内 容
令和5年5月23日	県社協	太陽保育園の現状について支援チームで共有 ICT 機器導入の流れを整理

c 太陽保育園（主任）との協議

期 日	場 所	内 容
令和5年6月1日	県社協	ICT 機器導入のための選定業者検討及び導入までの流れを提案

d 業者説明

期 日	場 所	内 容
令和5年6月8日	太陽保育園	ICT 機器導入に係るデモンストレーションの実施
令和5年6月13日		

e ICT 機器導入に係る説明会

- ・日 程 令和5年6月24日
- ・場 所 太陽保育園
- ・相 手 太陽保育園 職員13名（園長、主任含む）
- ・実施者 保育士支援アドバイザー（社会保険労務士）、  
保育士等支援コーディネーター（県社協）  
県子ども未来課
- ・協力者 NUKU 森の丘こども園 職員3名（理事長、副園長含む）  
業者1名
- ・内 容 ICT 機器導入に関する先進園（NUKU 森の丘こども園）との意見交換（オンライン）  
業者によるデモンストレーション

f 打ち合わせ

期 日	場 所	内 容
令和5年7月11日	県社協	説明会の振り返り（職員の意向に添った ICT 機器導入を検討）

g 太陽保育園（主任）との協議

期 日	場 所	内 容
令和5年7月25日	県社協	説明会の振り返り及び ICT 機器導入における環境整備について 行事見直し後の各行事実施状況について

h 太陽保育園（主任）との協議

期 日	場 所	内 容
令和5年10月20日	県社協	行事内容見直し（運動会）の状況及び ICT 機器導入の進捗について

i 太陽保育園（主任）との協議

期 日	場 所	内 容
令和5年11月29日	太陽保育園	行事内容見直し（作品展）の状況及び現状（職員の意向や園の運営等）について

j 太陽保育園（主任）との協議

期 日	場 所	内 容
令和5年12月26日	太陽保育園	巡回訪問支援の取組をまとめた事例集の掲載内容について

k 太陽保育園（主任）との協議

期 日	場 所	内 容
令和6年2月6日	県社協	事例集の掲載内容（再確認）及び現状の状況確認（行事内容見直し、ICT 機器導入、職員の意向等）

l 太陽保育園（園長・主任）への報告・協議

期 日	場 所	内 容
令和6年3月27日	太陽保育園	事例集を基に、巡回訪問支援で取組んだ内容の振り返り 今後の環境改善に資する取組について

## イ 巡回訪問支援

事業所名	相談内容（▶：対応内容）	訪問数
幼保連携型認定こども園 松江幼稚園（和歌山市）	①ボランティア活用方法について ②園の魅力を発信する方法等教えてほしい ▶先進的に取り組んでいる事例を調査し、報告	3
天満保育園 （東牟婁郡那智勝浦町）	①園の保育方針や内容の見直し方について ②ICT 機器導入の手順等について ▶当方で把握している情報を提供 ③人材確保の方法について ▶当方で取り扱っているシステムについて案内	3
岡崎保育園（和歌山市）	①記録作成負担軽減に資する ICT 機器導入について ②人材確保の方法について ▶当方で把握している情報を提供	2
計		8

## ② 事例集作成（保育士の労働環境改善に係る巡回訪問支援）

保育士が継続して働くことができる環境づくりにより、保育現場の人材定着を図るとともに、安定した運営により、幼児教育・保育の質の向上を図る取組を推進するため、事例集を作成し、県内保育施設及び関係機関等へ送付した。

### ア 事例集作成に係る先進取組園への聞き取り

期 日	事業所名	内 容
令和5年8月23日	NUKU 森の丘こども園 （田辺市）	①職員のコミュニケーションの取り方 ②ICT 機器導入 ③保育教諭の負担軽減のための職員配置
令和5年9月15日	やまこども園 （奈良県）	①園の魅力発信に資する広報誌作成 ②福利厚生・職員サポートの充実 ③理事長・園長業務を分化
令和5年11月13日	あやの台チルドレン センター（橋本市）	①産休・育休・介護休業から復職しやすい職場づくり ②保護者向けアンケートの活用 ③保育教諭の得意なことを活かした職場環境

## イ 事例集概要説明会の開催

期 日	開催方法	内 容	参加者数
令和6年3月21日	オンライン	①行政説明・令和6年度事業 ②事例集の概要について	24名

## ③ 保育の情報発信事業「HOIKUSHI・縁」(LINE) ※令和4年7月より運用

現在、和歌山県内の保育施設で保育士として在職している方、又は目指している方を対象に、保育士職に関する情報をLINEにより配信した。

登録者数：105名 ※うちブロック12名

## 2 福祉人材の育成と定着の促進

### (1) 研修ニーズの把握

#### ① 社会福祉事業従事者に対するアンケート調査

各社会福祉施設等における、研修の取り組み状況及び研修ニーズを把握し、今後の研修事業を展開する上での基礎資料とすることを目的に実施した。

実施期日：8月30日～9月29日

調査対象：生活保護施設、老人福祉保健施設、介護保険事業所、障害者福祉施設、児童福祉施設、

市町村社会福祉協議会

② 研修終了後の受講者に対するアンケート調査

各研修終了後、受講した研修科目の理解度、満足度等について把握し、今後ニーズにあった研修の企画・運営の参考とすることを目的に実施した。

実施期日：随時（各研修終了時）

3 社会福祉事業従事者を育成するため、階層別・課題別・資格取得支援研修の充実、強化

(1) 階層別研修の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容※（講師名敬称略）
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 （初任者）	7月26日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務する入職後3年未満の職員等	23名	【講義・演習】 ・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ・組織の一員としてのフォローシップの醸成 （講師）和歌山県社会福祉協議会 職員 ・対人関係マナーと言葉遣い （講師）マナークライス代表、フリーアナウンサー 羽山 京子
	7月27日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・初任者としての能力開発 ・業務を振り返り、問題解決の必要性を理解する ・福祉サービスとリスクマネジメント ・組織のなかでの多職種連携・協働 ・組織運営管理の基礎を知る ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）和歌山県社会福祉協議会 職員
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 （中堅職員）	11月8日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務する入職後概ね3～5年の職員等	29名	【講義・演習】 ・中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の理解を深める ・中堅職員としてのフォローシップの醸成 ・チームケアと問題解決一遭遇要因分析 （講師）オフィスカナン 代表 山田 奈津美 ・人権「性の多様性を考える」 （講師）NPO法人チーム紀伊水道 理事長 倉嶋 麻理奈
	11月9日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導 ・現在起きている問題を解決し、後輩職員をリードして取り組む ・利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント ・他組織や地域の専門職との連携・協働 ・組織運営管理の理解促進と参画 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）オフィスカナン 代表 山田 奈津美
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 （チームリーダー）	令和6年 1月24日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務し、現に主任・係長等に就いている職員 近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員	26名	【講義・演習】 ・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理を推進する ・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成 ・OJTの効果的推進 （講師）特定非営利活動法人ネオ 理事長 山下 眞史
	令和6年 1月25日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進 ・チームで問題解決に取り組み、その先頭に立つ ・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域協働の推進 ・組織運営管理への参画と協働 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）特定非営利活動法人ネオ 理事長 山下 眞史



(2) 課題別研修[専門技術研修(従事者の知識と技術の向上をめざす)]の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容※(講師名敬称略)
ファシリテーション研修	5月17日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	31名	【講義・実技】 【理論】ファシリテーションとは 【理論】ホワイトボード・ミーティング®の進め方 【実習】効果的な質問の方法 【実習】情報共有会議の進め方 【実習】課題解決会議の進め方 【実習】ケース会議の進め方 (講師)株式会社ひとまち代表取締役 ホワイトボード・ミーティング®開発者 特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会フェロー ちよん せいこ
発達障がい児・者(オンライン)研修	6月8日	社会福祉事業従事者、再就職希望者	32名	【講義】 ・発達障がいを知ってください ・問題行動のとりえ方を考える 【事例検討】 ・事例検討①、②(グループワーク) 【講義】 ・家族支援・まとめ (講師)和歌山県発達障害者支援センターポラリス 相談支援員 堀川 律子 相談支援員 栗山 嘉子
介護技術研修(基礎)	7月18日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	22名	【講義と実技】 ・基本的姿勢の必要性と介助方法 ・移動 ・食事 ・排泄 ・更衣 ・質疑応答 (講師)一般社団法人 和歌山県介護福祉士会 会長 下垣内 雅巳
児童虐待防止権利擁護研修	8月29日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	15名	【講義】 権利擁護と児童虐待防止 【演習】 子どもを尊重する支援 (講師)社会福祉法人桃林会 遊園園 障がい事業部長 油谷 佳典
認知症ケア研修(オンデマンド)	(配信期間) 9月4日～11月30日	社会福祉事業従事者、再就職希望者	6名	【講義】 1. 認知症ケアの理念と我が国の認知症施策 2. 認知症に関する基本的知識 3. 認知症ケアの基礎的技術に関する知識と実践上の留意点 (講師)社会福祉法人喜成会 高齢者総合ケアセンターみらい センター長 長森 秀尊
感染症予防対策研修	10月19日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	39名	【講義・演習】 感染対策 いろはのい ～平常時の対策と発生したときの対応等について～ (講師)和歌山県立医科大学附属病院 感染管理認定看護師 柳瀬 安芸
高齢者の権利擁護・虐待防止研修	10月26日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	24名	【講義】 ・権利擁護とは、虐待防止とは? ・意思決定支援とは? ・その他 【演習】 ・グループワーク等 事例等を通じて権利擁護・虐待防止を考察する (講師)一般社団法人和歌山県社会福祉士会、ばあとなあ和歌山 小長谷 恭史

介護技術研修 (応用)	11月16日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	28名	<b>【講義と実技】</b> ・重度障害者（全身麻痺の方等）の移動、ポジショニング ・二人介助による移乗 ・体位変換クッションの作り方、使用方法 ・現場経験からの質疑応答 （講師）一般社団法人 和歌山県介護福祉士会 会長 下垣内 雅巳
障がい者の権利擁護 ・虐待防止研修	11月22日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	35名	<b>【講義】</b> 障がい者の権利擁護と虐待防止 <b>【演習（グループワーク）】</b> 事例を通して考える ～利用者さんの気持ちと自分たちの行動～ （講師）一般社団法人 和歌山県社会福祉士会 副会長 河合 馨
社会福祉援助技術の 基礎研修	12月7日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	24名	<b>【アイスブレイク】</b> ・他己紹介 <b>【ミニセッション】</b> ・相談面接の基本の「き」 <b>【講義】</b> ・相談面接の価値と倫理 ・相談援助を行う職種の基本姿勢 <b>【演習】</b> ・（相談援助技術①）ペアワークによる導入演習 ・（相談援助技術②）短い事例を使った相談援助技術の基礎の理解 （講師）社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 施設長 崎山 賢士
福祉レクリエーション 研修	12月12日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	39名	<b>【講義・実技】</b> 「ごきげんな」福祉現場でのレクリエーション ・ごきげんなあそびその① <b>【実技】</b> （内容）全員で身体を動かしてあそびます ・笑顔の種まき～ご機嫌さんの地域の耕し方～ <b>【講義+あそび】</b> （内容）「ごきげんさんまみれ」の空間づくりのお話 ・「活かせる・使える」道具の実践と紹介 （内容）道具を活かし、「使える」道具に変える時間 ・アタマとココロを使うレクリエーション （内容）悩みながら答えを出して楽しむ時間 ・まとめ （講師）あそびの工房もくもく屋 事務局長 コミュニケーションデザイナー 田川 雅規
面接技法とアセスメント力の 向上研修	12月14日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	15名	<b>【ミニセッション】</b> ・他己紹介 <b>【講義】</b> ・相談援助面接の価値と倫理 ・家族システムの理解とジェノグラムの使い方 <b>【演習】</b> ・事例の写真を使ってアセスメントしてみよう ・ジェノグラムを使って家族アセスメントをやってみよう <b>【ふりかえり】</b> （講師）社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 施設長 崎山 賢士
医学・緊急時対応 研修	令和6年2月15日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	31名	<b>【講義】</b> ・急変とは、観察について ・一次救命処置 <b>【演習】</b> ・一次救命処置、窒息時の対応 <b>【講義】</b> ・症状の観察と対応 ・応急処置について （講師）和歌山県立医科大学 救急看護認定看護師 高野 裕子 和歌山市消防局職員

(3) 課題別研修[組織支援研修(組織全体の質を高める)]の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容※(講師名敬称略)
福祉サービス接遇マナー研修 (初任者向け)	4月18日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	34名	<p>【講義・ロールプレイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉施設・事業所職員としての基本の心得</li> <li>・接遇マナーの必要性</li> <li>・相手を思う気持ちをカタチに代えて伝える</li> <li>・伝えるとは</li> <li>・コミュニケーションにおける基本的欲求</li> <li>・接遇で築く利用者様との信頼関係</li> <li>・福祉サービスの五段階</li> <li>・視覚的要素・聴覚的要素・感覚的要素</li> <li>・5段階サービスの応用</li> <li>・ビジネス畑の「ほうれんそう」を再認識・再確認</li> <li>・電話のマナー</li> <li>・福祉現場での心配り10ポイント</li> </ul> <p>(講師) マナークライス代表、フリーアナウンサー 羽山 京子</p>
(モチベーション・マネジメント力向上) 職場定着支援研修	6月20日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務し、現に主任・係長等に就いている職員 近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員	36名	<p>【講義・グループワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場管理者に必要なマネジメントとリーダーシップ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) マネジメントとリーダーシップ</li> <li>2) 職場管理者に必要な条件とは?</li> <li>3) あなたのリーダーシップの特徴は?</li> </ol> </li> <li>2. 部下のモチベーションをアップさせるためには? <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 満足する仕事をさせるために必要な3要素</li> <li>2) 上手なマネジメントスキルで、部下職員教育を行う(キャリア形成支援、OJTなど)</li> </ol> </li> <li>3. 部下への具体的かつ効果的なアプローチ方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 質問や相談を活用する</li> <li>2) 褒め方、叱り方など率先垂範を活用する</li> <li>3) 部下職員の定着のためのポイント</li> </ol> </li> <li>4. リーダーに必要な報告・連絡・相談(報連相) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) グループワーク① 上司によって職場がわかる</li> <li>2) グループワーク② 相手のパーソナリティを把握する</li> <li>3) グループワーク③ 情報によるマネジメント</li> </ol> </li> </ol> <p>(講師) 株式会社紀の州コンサルティング 代表取締役 濱田 智司</p>
(会場・オンライン併用) 社会福祉法人の会計研修 (初任者編)	8月3日 和歌山ビッグ愛	社会福祉法人施設に勤務及び社会福祉法人会計に携わっている方	21名 (来場12名、オンライン9名)	<p>【講義】</p> <p>経営管理実践のための社会福祉法人会計(入門編)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人の有り様と会計</li> <li>・基本による貸借対照表をまず理解しよう</li> <li>・会計は”ダム”である</li> <li>・建物は老朽化する・・・</li> <li>・自法人の経理規程を見よう</li> <li>・フローの計算書はなぜ2種類あるのか?</li> <li>・実際の計算書類はどうなっているの?</li> </ul> <p>(講師) 光吉直也税理士事務所 税理士 社会福祉士 光吉 直也</p>
(会場・オンライン併用) 社会福祉法人の会計研修 (実務編)	8月8日 和歌山ビッグ愛	社会福祉法人施設に勤務及び社会福祉法人会計に携わっている方	18名 (来場12名、オンライン6名)	<p>【講義】</p> <p>経営管理実践のための社会福祉法人会計(初級編)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簿記・会計とは?</li> <li>・勘定科目</li> <li>・仕訳と転記</li> <li>・支払資金の取引</li> <li>・精算表</li> <li>・固定資産と減価償却</li> <li>・固定負債と引当金</li> <li>・フローの計算書はなぜ2種類あるのか?</li> <li>・実際の計算書類はどうなっているの?</li> <li>・基本金・国庫補助金等</li> <li>・決算</li> <li>・計算書類の種類と様式</li> <li>・復習とまとめ</li> </ul> <p>(講師) 光吉直也税理士事務所 税理士 社会福祉士 光吉 直也</p>
アンガーマネジメント研修	8月17日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	35名	<p>【講義・グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンガーマネジメントとは</li> <li>・アンガーマネジメントの実践</li> <li>・伝わる怒り方</li> </ul> <p>(講師) 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル 堀部 三智子</p>

人材確保支援研修	9月5日 和歌山ビッグ愛	現に社会福祉施設に勤務し、人材の採用・育成等の役割を担っている、又は、近い将来その役割を担うことが想定される者	中止	<p>【講義・グループワーク】</p> <p>○新しい時代の福祉人財の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉人財の現状</li> <li>・求職者からみる福祉業界のイメージ</li> </ul> <p>○自法人の強みを活かした人財の確保に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人財を確保するとは</li> <li>・自法人の強みや魅力を人財確保に繋げる</li> </ul> <p>○人財定着のために出来ることを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定着に向けて必要なこと</li> <li>・働き方改革に対応した実務</li> </ul> <p>(講師) シオナダワークサポート 代表 金子 雄一郎</p>
コーチング研修	10月31日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務し、現に主任・係長等に就いている職員	40名	<p>【講義・演習】</p> <p>人を育てるための様々な取り組みが実践されていますが、自分と相手の関係内だけではなかなか成果は現れません。</p> <p>職場全体で人を育てるために、また教える立場の自分が育つために必要な基礎知識と、職場全体での実践の方法のエッセンスを参加者全員で考えます</p> <p>(講師) オフィスカナン 代表 山田 奈津美</p>
メンタルヘルス研修	11月30日 ビッグ・ユウ	社会福祉事業従事者	27名	<p>【講義・演習】</p> <p>○ストレスマネジメントについて学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスの基礎知識を学ぶ</li> <li>・自分自身のストレス反応について知る</li> <li>・ストレス対処法を習得する、など</li> </ul> <p>○業務上のストレスを考え解決のヒントを探る</p> <p>(講師) フェリアン 副所長 津村 薫</p>
カスタマーハラスメント対策研修	令和6年1月18日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	25名	<p>【講義・グループワーク・個人ワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. カスタマーハラスメントとは</li> <li>3. ハラスメントの法的理解</li> <li>4. カスタマーハラスメントの判断基準</li> <li>5. カスタマーハラスメントとクレーマーの違い</li> <li>6. 事例から考えるカスタマーハラスメント</li> <li>7. 組織対策と管理上のポイント</li> </ol> <p>(講師) 株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美</p>
リスクマネジメント研修	令和6年2月20日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	36名	<p>【講義・ワーク】</p> <p>福祉介護の現場で起きる事故を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故事例のリストアップとカテゴリー分けによって、</li> <li>・事故によるリスクマネジメントを学ぶ</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>事故発生時の間違わない初動を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故対応は、迅速に・正しく・すべて ～</li> </ul> <p>【講義・ワーク】</p> <p>事故予防のためのリスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KYTを使ったリスクの想定</li> <li>・リスク・アセスメント (リスクの発見)</li> </ul> <p>(講師) 株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美</p>
福祉職場における労務管理研修	令和6年2月22日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等の施設長、事務長、人事、労務管理担当者	15名	<p>【講義】</p> <p>○労働に関する法律遵守の必要性</p> <p>○労務管理における諸手続きのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用から退職まで</li> <li>・労働保険、社会保険の給付等</li> </ul> <p>○労働時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間とは</li> <li>・労働時間の管理</li> <li>・様々な労働時間制度</li> </ul> <p>○賃金</p> <p>○安全衛生対策</p> <p>○労務トラブル対策</p> <p>○労働に関する相談窓口</p> <p>(講師) 多部社会保険労務士事務所 多部 美穂</p>

#### (4) 資格取得支援研修の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容※（講師名敬称略）
（会場・オンライン併用） 介護支援専門員試験対策 勉強会Ⅰ	7月13日 和歌山ビッグ愛	第26回（令和5年度）介護支援専門員実務研修受講試験 受験予定者	28名 （来場23名、オンライン5名）	出題傾向の分析と対策 ・介護支援分野 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 小長谷 恭史
（会場・オンライン併用） 介護支援専門員試験対策 勉強会Ⅱ	7月20日 和歌山ビッグ愛	第26回（令和5年度）介護支援専門員実務研修受講試験 受験予定者	27名 （来場22名、オンライン5名）	出題傾向の分析と対策 ・介護支援分野 ・保健医療福祉サービス分野 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 小長谷 恭史

#### 4 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験会場		申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数
紀北	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	418	36	382	78
紀南	情報交流センタービッグ・ユー	124	7	117	15
計		542	43	499	93

（試験事務の概要）

時期	内容
5月22日	受験の手引き配布開始
5月26日	申込受付開始
6月16日	申込受付終了
6月30日	会場下見、打ち合わせ（情報交流センタービッグ・ユー）
9月15日	受験票、身体障害者等試験特別措置決定通知書の発送
9月15日、21日	試験監督員等事前説明会（紀北）
9月22日	試験監督員等事前説明会（紀南）
10月8日	試験の実施
11月13日	採点・合否判定
12月4日	合格発表
随時	受験資格等、照会応答

#### 5 その他

##### (1) 研修に関する周知・広報

###### ① 研修パンフレットの作成

令和5年度実施予定の研修事業について、周知・広報を目的に「研修のご案内」パンフレットを作成し送付した。

##### (2) 関係機関・団体との連携

###### ① 全国・近畿ブロック会議等への参加

期 日	会 議 名	場 所 等
4月20日 ～3月29日	福祉人材情報システム研修会	オンライン
4月21日	福祉人材センター業務・法令研修会	オンライン
9月22日	福祉人材センター全国連絡会議	東京都
12月7日 ～8日	マッチング機能強化研修	東京都
1月19日	近畿ブロック福祉人材センター連絡会議	滋賀県
1月31日	保育士・保育所支援センター等実施福祉人材センター連絡会議	オンライン
2月 2日	社会福祉研修実施機関代表者連絡会議	オンライン
2月28日	近畿ブロック社会福祉研修実施機関連絡会議	オンライン

## 《福祉人材研修部・福祉介護サービス評価センター》

### 1 受審事業所数の拡大と評価の質の向上

#### (1) 福祉サービス第三者評価事業

評価機関として、福祉サービスを提供する施設を対象に、サービスの質の向上を目的とした第三者評価を実施し、本年度2件の訪問調査を行った。平成24年度より3年に1回の第三者評価の受審が義務付けられている社会的養護関係施設について、7件の第三者評価を行った。

受審後の施設に対し、第三者評価結果を効果的に活用する事を目的として、利用者アンケート等を提案し支援に努めた。

##### ① 実績

	施設名	種別	定員	評価結果公表日
社会的養護関係	わたちの家	自立援助ホーム	6名	4月25日
社会的養護関係	ハピネス・ハーク	母子生活支援施設	30世帯	7月11日
福祉サービス関係	木の川認定こども園	幼保連携型認定こども園	75名	8月23日
社会的養護関係	粉河むつみホーム	母子生活支援施設	20世帯	11月8日
福祉サービス関係	和歌山認定こども園	保育所型認定こども園	114名	12月1日
社会的養護関係	わかくさ	母子生活支援施設	20世帯	12月19日
社会的養護関係	和歌山県立仙溪学園	児童自立支援施設	50名	2月5日
社会的養護関係	和歌山乳児院	乳児院	40名	2月16日
社会的養護関係	六地学園	児童養護施設	40名	3月25日

##### ② 施設への支援

社会的養護関係施設においては、評価のガイドラインについて説明を行った。

##### ③ 評価調査者の登録状況及び質の向上

ア 評価調査者の登録数 評価調査者17名

##### イ 研修への参加

名称/主催	期日	場所	参加者	講師
令和5年度福祉サービス第三者評価調査者指導者研修会/社会福祉法人全国社会福祉協議会 主催	8月2日～3日	東京都	1名	-
令和5年度社会的養護関係施設第三者評価事業「評価調査者」養成研修会/社会福祉法人全国社会福祉協議会 主催	① 2月7日～3日6日 ② 2月21日	オンライン参加	2名	-
令和5年度福祉サービス第三者評価事業評価調査者継続研修会/県福祉サービス第三者評価事業推進委員会 主催	2月28日	和歌山市	8名	1名

#### (2) 地域密着型サービス外部評価事業

評価機関として、認知症対応型共同生活介護のサービスの質の向上の支援、利用者への情報提供に資することを目的に外部評価に努め、本年度は35件の外部評価を行った。

##### ① 実績

	事業所名	法人名	調査日
1	春風会わかのうらグループホーム	(株)春風会	4月12日
2	春風会かたおなみグループホーム	(株)春風会	4月19日
3	グループホームのぞみ	(福)皆楽園	5月9日

	事業所名	法人名	調査日
4	グループホーム山口葵園	(福) 山口葵会	5月23日
5	グループホームみんなの家	(株) 夢工房	6月15日
6	愛光園グループホーム	(福) 愛光園	6月28日
7	愛光園第2グループホーム	(福) 愛光園	6月29日
8	グループホームはまゆう園	(福) 真福会	7月14日
9	グループホームオアシス	(株) 介護ステーションオアシス	10月12日
10	松鶴野崎式番館	(株) 松鶴	10月13日
11	グループホームオアシスⅡ	(株) 介護ステーションオアシス	10月20日
12	グループホームなかはや	(株) 雄清	10月26日
13	グループホーム有田ささゆり	(有) ささゆり	11月9日
14	グループホーム風倶楽部	(福) 高陽会	11月14日
15	グループホーム風の里	(福) 高陽会	11月29日
16	竹の里園グループホーム	(福) 浩和会	12月5日
17	グループホーム下湯川苑	(福) 熊野福祉会	12月8日
18	グループホームふどきいひるず	(株) リバゾン	12月8日
19	グループホームパル白浜	(株) イクロス	12月14日
20	グループホーム鮎川 いばの里	(福) 真寿会	1月18日
21	あいの里	(福) 安原福祉会	1月18日
22	あいの里 悠々	(福) 安原福祉会	1月23日
23	松鶴松江壹番館	(株) 松鶴	1月24日
24	グループホームささゆり	(福) きしゅう福祉会 ささゆり	1月27日
25	認知症対応型老人共同生活援助事業所 わかやま苑	(福) すずらん会	2月6日
26	グループホームゆりのき苑	(有) メディカルサービス有田	2月15日
27	グループホーム海南ささゆり2	(有) ささゆり	2月16日
28	グループホームなごみ	(福) 皆楽園	2月21日
29	グループホームゆりのき苑やまち	(有) メディカルサービス有田	2月21日
30	グループホームなぎのやど	(株) リバゾン	3月5日
31	グループホーム栄寿の里	(福) 光栄会	3月5日
32	グループホームあきつの	(福) 上秋津福祉会	3月7日
33	グループホームという	(福) 皆楽園	3月12日
34	グループホーム喜成会	(福) 喜成会	3月19日
35	グループホームだんらん	(株) リバゾン	3月26日

② 評価調査者の登録状況及び質の向上

ア 評価調査者の登録数 評価調査者 14名

イ 研修会の開催

名称/主催	期 日	場 所	参加者
令和5年度 外部評価調査員フォローアップ研修会 /県社会福祉士会との共催 (講師 社会福祉法人寿敬会 グループホームハルジオン 主任 木下 一雄氏)	2月4日	和歌山市	9名





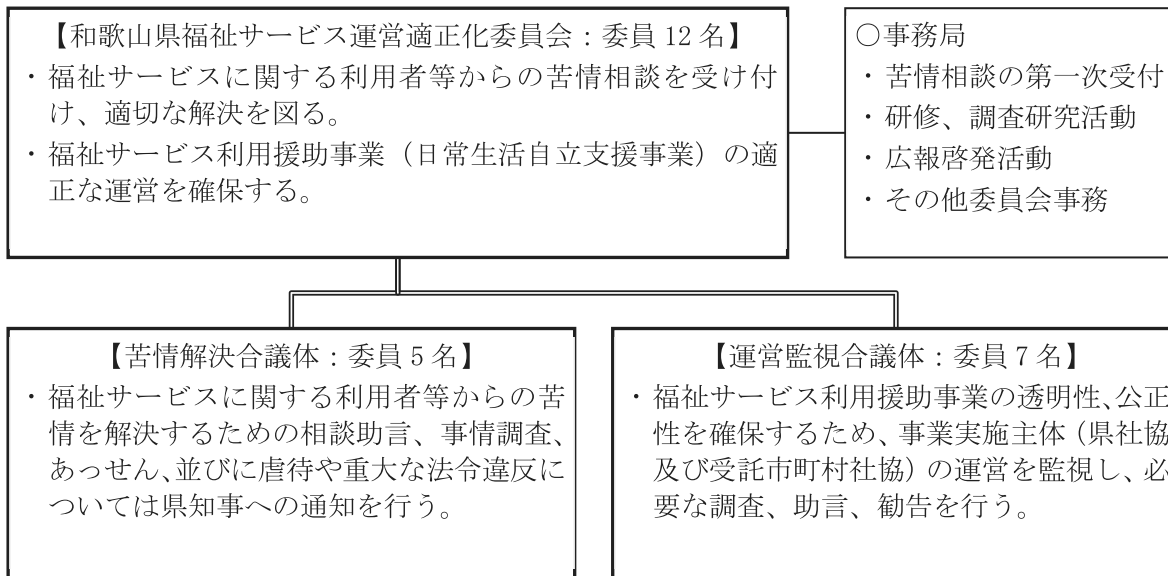
～事項別報告～

**IV 福祉サービス  
運営適正化委員会**



《和歌山県福祉サービス運営適正化委員会関係》

1 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等



【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会委員構成】（令和 6 年 3 月現在）

分野		委員長：◎ 副委員長：○		合議体		
		氏名	所属・役職	苦	運	
社会福祉に関する学識経験者	公益代表	◎ 栗山 隆 博	元 県社会福祉協議会 常務理事	◇		
			星野 佳 世子	社会福祉士・精神保健福祉士	◇	
			奥 村 里 枝 子	県民生委員児童委員協議会 副会長	◇	
			井 溪 芳 市	県民生委員児童委員協議会 理事		◇
	福祉サービス利用援助事業の対象者を支援する団体の代表		大 畠 信 雄	県精神保健福祉家族会連合会 副会長		◇
			林 千 恵 子	一般社団法人県認知症支援協会 代表理事		◇
福祉サービス提供者代表		米 川 徳 昭	県共同作業所連絡会 会長 (社福) ふたば福祉会 理事長		◇	
		竹 中 昭 美	県老人福祉施設協議会 会長 (社福) 特別養護老人ホーム天美苑施設長		◇	
法律に関する学識経験者			内 川 真 由 美	弁護士	◎	
	○		本 田 壽 秀	公認会計士・税理士		◎
医療に関する学識経験者			野 村 繁 雄	医師 南紀医療福祉センター		○
			東 直 子	和歌山県看護協会 会長	○	

《任期》令和 4 年 8 月 10 日～令和 6 年 8 月 9 日

苦：苦情解決合議体 運：運営監視合議体  
◎：合議体長 ○：職務代理者 ◇：委員

【県福祉サービス運営適正化委員会選考委員会】（令和6年3月現在）

委員長：◎ 副委員長：○

分野		氏名	所属・役職
公益代表	◎	岡本 美智子	県民生委員児童委員協議会 副会長
		高橋 博之	県福祉保健部福祉保健政策局長
福祉サービス利用者代表		瀧口 幹二	県老人クラブ連合会 会長
		西井 幸男	県身体障害者連盟 会長
社会福祉事業経営者代表		森田 昌伸	県社会福祉法人経営者協議会 会長
		林 保行	県市町村社協連絡協議会 会長

《任期》令和4年7月8日～令和6年7月7日

## 2 福祉サービス運営適正化委員会（全体会議）の開催

回	月日	出席委員	場所	内容
1	6月20日	10名	和歌山市	(1) 令和4年度事業報告を承認した。 (2) 令和5年度事業計画を確認した。

## 3 福祉サービスに関する苦情への対応

### (1) 苦情解決合議体の開催

苦情解決合議体を開催し、福祉サービスに関する苦情への対応協議等を行った。

#### ① 苦情解決合議体の開催

回	月日	出席委員	場所	内容
1	4月18日	4名	和歌山市	・令和4年度苦情相談受付状況（3月末現在）を確認した。 ・新規受付の苦情3件、継続1件の対応を確認した。
2	6月20日	5名	和歌山市	・令和5年度苦情相談受付状況（5月末現在）を確認した。
3	8月22日	4名	和歌山市	・令和5年度苦情相談受付状況（7月末現在） ・新規受付の苦情2件の対応を協議及び確認した。
4	9月19日	4名	和歌山市	・令和5年度苦情相談受付状況（8月末現在） ・継続2件の対応を協議及び確認した。
5	12月19日	5名	和歌山市	・令和5年度苦情相談受付状況（11月末現在） ・新規受付の苦情1件、継続1件の対応を確認した。
6	令和6年 2月20日	4名	和歌山市	・令和5年度苦情相談受付状況（1月末現在） ・新規受付の苦情3件の対応を協議及び確認した。 ・令和6年度年間日程（案）を承認した。

#### ② 苦情・相談の受付状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

ア 苦情・相談受付件数（単位：件）

	件数	高齢者	障害者	児童	その他
苦情	6	2	3	1	0
相談・問合せ	104	25	56	5	18

イ 月別苦情・相談受付件数（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
苦情	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	6
相談 問合せ	8	14	6	15	14	7	10	5	6	6	9	4	104

ウ 苦情・相談受付方法（単位：件）

	来所	電話	文書	FAX	Eメール	その他	合計
苦情/相談	6	84	1	0	19	0	110

エ 苦情・相談申出人の属性（単位：件）

	苦情／相談					合計
	利用者	家族	代理人	職員	その他	
高齢者	12	13	0	0	2	27
障害者	36	9	2	4	8	59
児童	0	5	0	0	1	6
その他	6	3	0	1	8	18
合計	54	30	2	5	19	110

オ 苦情内容・解決結果【苦情として受け付けた6件の内訳】（単位：件）

	相談 助言	紹介伝 達	あっ せん	県へ 通知	その他		継続中	意見要 望	合計
					調査・ 申入れ	中断・ 取下等			
職員の接遇	1	0	0	0	0	0	0	0	1
サービスの質や量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
説明・情報提供	1	0	0	0	0	0	0	0	1
被害・損害	1	0	0	0	0	0	0	0	1
権利侵害	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	2	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	6	0	0	0	0	0	0	0	6

カ 事情調査等の実施

苦情6件のうち、委員による事情調査実施 0件  
 事務局による事業者への面接調査実施 5件  
 事業者への聞き取り（電話のみ） 1件

キ 県福祉サービス運営適正化委員会 事業開始当初からの苦情相談受付状況（単位：件）

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
高齢者	5	6	10	12	21	32	28	23	21	12	24	9	9
障害者	1	3	6	7	13	4	15	20	10	22	13	16	13
児童	1	1	8	3	5	5	10	5	1	2	3	1	2
その他	0	1	0	0	1	3	2	0	1	5	3	0	0
合計	7	11	24	22	40	44	55	48	33	41	43	26	24

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
高齢者	15	5	13	8	8	3	9	0	0	2	2	277
障害者	15	15	17	19	15	22	22	3	5	7	3	286
児童	4	8	3	3	3	2	2	1	0	2	1	76
その他	1	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	22
合計	35	28	33	30	26	28	34	5	7	11	6	661

## (2) 広報・啓発活動

苦情解決事業について、利用者及び福祉サービス事業者等に対して幅広く周知を図るため、ポスター配布等を行った。

### ① 事業概要、事業報告のインターネット掲載

和歌山県社会福祉協議会ホームページ (<https://www.wakayamakenshakyō.or.jp/>) において、和歌山県福祉サービス運営適正化委員会のページを更新し、広報啓発・情報提供に努めた。

### ② 広報紙への掲載

和歌山県社会福祉協議会広報紙「福祉わかやま」（月 10,000 部発行）を活用し、「苦情解決のツボ」と題してコラム等を掲載した。

### ③ ポスターの配布

福祉サービス事業所内で苦情解決体制を掲示するためのポスターを希望事業所へ配布した。

## (3) 関係機関等との連携

### ① 和歌山県人権相談ネットワーク協議会（県人権政策課）への参加

月 日	場 所	内容概要
5 月 25 日	和歌山市	「相談対応の方法について」 講師 和歌山カウンセリングルーム 代表 田中 純子 氏
令和 6 年 2 月 13 日～3 月 12 日	動画配信	障害のある人の人権 一障害者差別解消法の考え方— 講師 弁護士 伊藤 あすみ 氏

### ② 県民生委員児童委員協議会での説明

月 日	場 所	出席者	内容概要
令和 6 年 2 月 28 日	和歌山市	事務局 1 名	令和 4 年の一斉改選以降に委嘱された新任民生委員・児童委員を対象に開催された研修会で和歌山県福祉サービス運営適正化委員会（福祉サービスの苦情解決）について説明を行うとともに協力を依頼した。

## 4 苦情解決システムの機能強化

### (1) 研修等の実施

社会福祉事業の経営者等に対して苦情解決体制が円滑に機能するように研修会の開催等を行った。

#### ① 福祉サービス苦情解決研修会の実施

令和 5 年度 福祉サービス苦情解決研修会「苦情対応力研修」

<事例発表者> 社会福祉法人白浜コスモス福祉会 理事長代行兼施設長 橋本 明彦 氏

<講師> 株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美 氏

月 日	場 所	参加人数	参加対象
11 月 10 日	和歌山市	86 名	社会福祉施設・社会福祉事業所で事業者から選任された第三者委員、苦情解決責任者、苦情受付担当者、管理者等

#### ② 出前講座の実施

福祉サービス事業所の職員や第三者委員が、苦情解決を適切に行えるよう、福祉サービス事業所等が主催

する研修会（職員研修等）に福祉サービス運営適正化委員会事務局の職員が出向き、苦情解決の仕組みなどのテーマに沿って、一緒に考え助言等を行った。

- ・実施 計 2 事業所

## (2) 巡回訪問の実施

福祉サービス事業者の自主的な苦情解決が適切に行われるよう、その体制整備についての相談・助言を目的に巡回訪問を実施した。

- ・実施 計 3 事業所（障害者施設 1 か所、高齢者施設 1 か所、児童施設 1 か所）

## 5 一資料一苦情解決体制整備のために（第三者委員の設置と結果の公表）を作成

関係先 10 団体に資料を送付し、和歌山県社会福祉協議会ホームページにおいて、和歌山県福祉サービス運営適正化委員会のページに資料を掲載した。

## 6 福祉サービス利用援助事業の運営監視

### (1) 運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、実施主体から福祉サービス利用援助事業について報告を受けるとともに、現地調査結果による助言等の協議を行った。

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
1	6 月 20 日	5 名	和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 4 年度運営監視合議体現地調査に基づく勧告・助言に対する回答を実施主体から聴取した。</li> <li>・令和 4 年度日常生活自立支援事業の実績報告を聴取した。</li> <li>・成年後見制度等について聴取した。</li> <li>・令和 5 年度運営監視合議体現地調査の実施について審議した。</li> </ul>
2	12 月 18 日	6 名	和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年度「現地調査」の調査結果及び助言等文書通知事項について審議した。</li> <li>・社会福祉法人岩出市社会福祉協議会からの要望について審議した。</li> <li>・令和 6 年度「運営監視合議体」事業計画を承認した。</li> </ul>

### (2) 現地調査及び助言等

福祉サービス利用援助事業全般の監視を行い、現地調査、勧告及び助言を行った。

#### ① 現地調査の実施

調 査 先	現地調査 月 日	出席 委員	予備調査 月 日	内 容
みなべ町社会福祉協議会	10 月 5 日	5 名	9 月 1 日	<b>【事前調査事項】</b> ・ 事業実施体制、広報活動等の状況、契約および相談の状況  <b>【現地調査事項】</b> ・ 相談状況や処理状況、課題、要望等の聞き取り ・ 利用者各ケースについて、契約書、ケース記録、書類等預かり書記載事項実物照合（貸金庫及び事務所金庫内）
岩出市社会福祉協議会	10 月 12 日	5 名	9 月 29 日	
紀の川市社会福祉協議会	10 月 19 日	5 名	9 月 21 日 10 月 4 日	
紀美野町社会福祉協議会	10 月 31 日	5 名	9 月 28 日	
那智勝浦町社会福祉協議会	中止	—	9 月 7 日	令和 4 年度に勧告した「実施主体である県社会福祉協議会によ



太地町社会福祉協議会	中止	—	9月8日	<p>る委託先に対する業務監督の実施」が履行され、これに併せて、事務局による予備調査を実施のうえ、委員による現地調査を実施した。</p> <p>なお、現地調査対象であった海南市社会福祉協議会は、6月2日の大雨災害での甚大な被害に対し、災害ボランティアセンターを立ち上げての支援活動を行っていた状況等を考慮し現地調査は次年度以降に延期した。</p> <p>また、現地調査対象のうち5町社会福祉協議会については、事務局による予備調査をもって、現地調査に代えることとした。</p>
高野町社会福祉協議会	—	—	8月8日	
日高町社会福祉協議会	—	—	8月10日	
由良町社会福祉協議会	—	—	8月24日	
海南市社会福祉協議会	—	—	延期	

② 現地調査を行った社協に対する勧告・助言

現地調査の結果を踏まえ、県社協に対し通知し、是正を求めた。

社協名	勧告	助言
委託先市町村社会福祉協議会	—	1件
和歌山県社会福祉協議会	—	6件

助言内容について

(1) 委託先市町村社会福祉協議会への助言

- ① 利用者の支払いにおいて、専門員等による立替はしないこと。利用者と法人の契約に基づくサービスであることを踏まえ対処されたい。

(2) 実施主体（社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会）への助言

- ① 「委託先に対する改善指摘事項（別紙1）」について、実施主体として改めて適切な取り扱い方法を明確にし、それを全委託先に対し、周知・徹底を図られたい。
- ② 「委託先に対する改善指摘事項（別紙1）」について、当該委託先社会福祉協議会それぞれの改善状況をとりまとめ報告されたい。
- ③ 委託先からの次の意見・要望を踏まえ、実施主体として、業務内容の明確化と事務簡素化を行うとともに、委託金の確保や本事業の方向性を明らかにされたい。
- ア. どこまでが業務なのか迷う。
- イ. ケースワーカーの役割とは何か、また、システムに入力しているので改めての報告は不要にしてほしい。
- ウ. 地域包括支援センターから支援を丸投げされて対応に苦慮している、また、本事業でいいのか成年後見か判断に迷う。
- エ. 成年後見相当と思われるケースでも、福祉サービス利用援助事業を契約してしまうと、町（行政）は、成年後見への事務をすすめない。
- オ. 利用者の生活支援についてもお金を預かっている社協でしてほしいと、相談支援事業所から丸投げされる。
- ④ 紀の川市社協の支援への取組及び記録を社会福祉協議会における支援の標準とされたい。また、そのための専門員等への研修を強化されたい。
- ⑤ 実施主体による委託先に対する「業務監督」を継続し、令和6年度実施計画を提示されたい。
- ⑥ 委託先ごとの利用者数について、人口比で比べると偏りがみられる。実施主体として、このことについて、どう取り組むのか示されたい。

前年度指摘	改善指摘事項	
	1	契約書第6条には、日常的金銭管理口座を明記すること。
	2	支援実施にあたっては、契約を締結すること。
○	3	利用者の支払いにおいて専門員による立替はしないこと。
○	4	日常的金銭管理にかかる現金保管にあたっては、現金出納帳を整備すること。
	5	日常的金銭管理通帳及び印鑑は、利用者毎に金庫で保管すること。
○	6	「書類等預かり書」には合算ではなく、それぞれ記載すること。
○	7	書類等預かり書の作成徹底及び項目に変更がある場合は、更新すること。
	8	貸金庫で預かる定期預金等の残高確認及び自動継続の記帳を行うこと。
	9	貸金庫内の保管物には封印を徹底すること。
	10	貸金庫を手配すること。 (貸金庫で預かるとの契約をしているが手配できていない。)
	11	「預かり書類等確認票Ⅱ」を作成すること。
○	12	返却先(氏名・住所)の記載を徹底すること。
○	13	生活支援員が交替しているので、支援計画書を変更すること。
	14	専門員が代筆したときは、立会者の署名・押印を得ること。代筆者は社協職員ではなく第三者であること。
	15	支援計画評価票は、6か月毎に作成すること。
	16	領収書の日付が、払戻依頼票依頼日より以前のものがあある。その経緯がわかるよう記載すること。
	17	受領日の日付が、払戻依頼票依頼日から2か月後のものがあある。直ちに渡せないものは戻入すること。
○	18	払戻・支払依頼書に領収書の添付もれがないこと。(本事業利用料の領収書等)
○	19	援助実施記録は、複数人でチェックすること。

## 7 福祉サービス運営適正化委員会全般にかかる事業の実施

### (1) 都道府県運営適正化委員会との連携

#### ① 都道府県運営適正化委員会事業研究協議会

月 日	場 所	参 加 者
7月12日	東京都	本会事務局1名

#### ② 都道府県運営適正化委員会相談員研修会

月 日	場 所	参 加 者
10月30日～10月31日	東京都	本会事務局1名

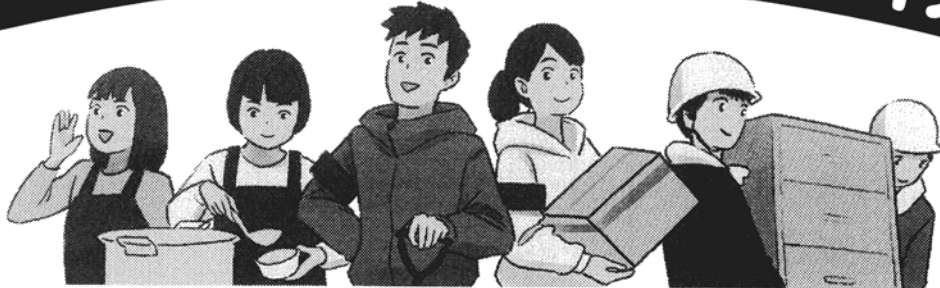
#### ③ 近畿ブロック運営適正化委員会事務局担当者会議

月 日	場 所	参 加 者
令和6年3月6日	京都府	本会事務局2名



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

**保険金額・年間保険料 (1名あたり)** 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償(*)		
地震・噴火・津波による死傷	×	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは  
こちらから



(ふくしの保険  
ホームページ)

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。  
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

## <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社  
 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)